

神戸市市民福祉調査委員会
令和4年度 第1回「介護保険専門分科会」次第（書面開催）

1 次 第

【審議事項】

- ・ 介護保険専門分科会の副分科会長の選任について
- ・ 第9期介護保険事業計画策定に向けての実態調査について

【報告事項】

- ・ 第8期介護保険事業計画の実施状況（令和4年3月末時点）
- ・ 令和3年度保険者機能強化推進交付金等
- ・ 総合事業サービスワーキンググループの報告

2 資 料

- (資料1) 神戸市市民福祉調査委員会「介護保険専門分科会」委員名簿
- (資料2) 神戸市市民福祉調査委員会運営要綱
神戸市市民福祉調査委員会介護保険専門分科会運営要綱
- (資料3) 介護保険専門分科会の副分科会長の選任について
- (資料4) 第9期介護保険事業計画策定に向けての実態調査について
- (資料5) 第8期介護保険事業計画の実施状況（令和4年3月末時点）について
- (資料6) 令和3年度における保険者機能強化推進交付金等について
- (資料7) 総合事業サービスワーキンググループの報告について

神戸市 市民福祉調査委員会 介護保険専門分科会 委員名簿 (敬称略)
(選出分野別 五十音順)

令和4年9月現在

1 学識経験者 (5名)	◎ 大和 三重	関西学院大学人間福祉学部教授
	澤田 有希子	関西学院大学人間福祉学部准教授
	前田 潔	神戸学院大学総合リハビリテーション学部教授
	松岡 健	神戸新聞社論説委員
	本澤 巳代子	筑波大学名誉教授
2 保健医療 関係者 (6名)	有本 雅子	神戸市介護老人保健施設協会会長
	池端 幸成	神戸市歯科医師会理事
	久次米 健市	神戸市医師会副会長
	小塚 ひとみ	神戸市薬剤師会常務理事
	西 昂	神戸市民間病院協会会長
	西口 久代	兵庫県看護協会専務理事
3 福祉関係者 (5名)	伊賀 浩樹	神戸市ケアマネジャー連絡会代表理事
	榎本 昌起	兵庫県社会福祉士会副会長
	河原 政幸	神戸市民生委員児童委員協議会副理事長
	出上 俊一	神戸市老人福祉施設連盟理事長
	町野 良治	神戸市シルバーサービス事業者連絡会会長
4 地域活動団体 (4名)	大竹 義仁	認知症の人と家族の会兵庫県支部世話人
	小野 三恵	神戸市婦人団体協議会理事
	鹿野 靖雄	神戸市老人クラブ連合会事務局長
	佐々木 利雄	神戸市自治会連絡協議会事務局長
5 被保険者 (2名)	酒卷 恵	市民代表
	武下 郁子	市民代表
6 市会議員 (6名)	植中 雅子	市会議員
	かじ 幸夫	市会議員
	門田 まゆみ	市会議員
	小林 るみ子	市会議員
	ながさわ 淳一	市会議員
	林 まさひと	市会議員

合計28名

◎分科会長 ○副分科会長

神戸市市民福祉調査委員会運営要綱

平成 12 年 4 月 18 日

委 員 会 決 定

(趣旨)

第 1 条 この要綱は、神戸市市民福祉調査委員会条例（平成 12 年 3 月条例第 101 号）第 8 条の規定に基づき、神戸市市民福祉調査委員会（以下「委員会」という。）の運営に関し必要な事項について定める。

(会議)

第 2 条 委員会に、次の会議を設置する。

- (1) 計画策定・検証会議 定数 15 名以内
- (2) 福祉政策会議 定数 15 名以内
- 2 前項に掲げる会議の所掌事務は、別表 1 に掲げるとおりとする。
- 3 会議に属すべき委員及び臨時委員は、委員長が指名する。ただし、委員長が互選されるまでの間、会議の運営上支障がある場合、会議に属すべき委員又は臨時委員の指名については、市長が行う。なお、その際は、委員長決定時に、改めてその承認をとるものとする。
- 4 会議に会長を置き、又必要があるときは副会長を置くことができる。
- 5 会長及び副会長は、会議に属する委員及び臨時委員の互選によって定める。
- 6 会長は、その会議の会務を総理する。
- 7 会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、副会長又はあらかじめ会長の指名する委員及び臨時委員が、その職務を代理する。
- 8 会議は、会長が招集する。ただし、会長が互選されるまでの間、福祉局長が招集する。
- 9 会議は、会議に属する委員及び臨時委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。
- 10 会議には、必要に応じて部会を置くことができる。
- 11 前項に定める部会の定数は、10 名以内とする。
- 12 第 3 項から第 9 項までの規定は、部会において準用する。この場合において、「会長」とあるのを「部会長」、「副会長」とあるのを「副部会長」とそれぞれ読み替える。

(専門分科会)

第 3 条 委員会に、次の専門分科会を設置する。

- | | |
|-------------------|-----------|
| (1) 民生委員審査専門分科会 | 定数 10 名以内 |
| (2) 身体障害者福祉専門分科会 | 定数 15 名以内 |
| (3) 児童福祉専門分科会 | 定数 30 名以内 |
| (4) 精神保健福祉専門分科会 | 定数 20 名以内 |
| (5) 市民福祉顕彰選考専門分科会 | 定数 15 名以内 |
| (6) 介護保険専門分科会 | 定数 35 名以内 |
| (7) 成年後見専門分科会 | 定数 10 名以内 |

2 第 2 条第 3 項から同条第 10 項までの規定の規定は、専門分科会について準用する。この場合において、「会議」とあるのを「専門分科会」と、「会長」とあるのを「分科会長」と、「副会長」とあるのを「副分科会長」とそれぞれ読み替える。

3 第 1 項の各号に掲げる専門分科会の委任事務は、別表 2 に掲げるとおりとする。

4 専門分科会の議事は、出席した委員及び臨時委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、分科会長の決するところによる。

5 専門分科会で決議された事項は、委員会の決議とみなす。

(会議等の公開)

第 4 条 会議は、これを公開する。ただし、委員会の決議により公開しないことができる。

2 前項の規定により会議を公開するときは、開催日時等を市民に事前周知するよう努めるものとする。

3 公開・非公開の会議に関わらず、会議終了後すみやかに会議録又は会議録要旨（以下「会議録等」という）を作成する。

4 会議で使用した資料及び前項の規定により作成された会議録等の写しは公開する。ただし、個人情報等公にしないことが適当と認められる内容が記録されているものについてはこの限りではない。

5 前 4 項の規定は、第 2 条に定める会議及び第 3 条に定める専門分科会に準用する。

(関係者の出席)

第 5 条 委員長は、必要があると認めるときは、委員会への関係者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

2 前項の規定は、会議及び専門分科会に準用する。この場合、「委員長」と

あるのを「会長」又は「分科会長」と読み替える。

(参与)

第6条 委員会に参与を置く。

2 参与は、市職員のうちから委員長が指名する。

3 参与は、会議に出席し、審議事項に関して意見を述べることができる。

(代表幹事及び幹事)

第7条 委員会に代表幹事及び幹事を置く。

2 代表幹事及び幹事は、市職員のうちから委員長が指名する。

3 代表幹事及び幹事は、委員会等の所掌事務について委員及び臨時委員を補佐する。

(庶務)

第8条 会議の庶務は、福祉局又は教育委員会事務局において処理する。

2 専門分科会の庶務は、福祉局、健康局又はこども家庭局において処理する。

(委任)

第9条 この要綱に定めるもののほか、会議及び専門分科会の運営に関し必要な事項は、会議及び専門分科会が定める。

附 則

この要綱は、平成12年4月1日より施行する。

附 則（平成13年1月9日委員会決定）

別表は、平成13年1月9日改正。但し、平成12年6月7日より施行する。

附 則（平成13年7月18日委員会決定）

別表は、平成13年7月18日改正。同日施行。

附 則（平成15年7月29日委員会決定）

別表は、平成15年7月29日改正。同日施行。

附 則（平成17年4月21日委員会決定）

別表は、平成17年4月21日改正。但し、平成17年4月1日より施行する。

附 則（平成18年10月20日委員会決定）

(施行期日)

1 別表は、平成18年10月20日改正。但し、別表2 ②及び3 ②は平成18年4月1日、その他は平成18年10月1日より施行する。

(経過措置)

2 障害者自立支援法附則第48条の規定による精神障害者社会復帰施設については、改正前の別表の4 ②の規定の適用があるものとする。

附 則（平成21年1月28日委員会決定）

別表は、平成21年1月28日改正。同日施行。

附 則（平成24年8月6日委員会決定）

この要綱は、平成24年8月6日より施行する。

附 則（平成26年2月7日委員会決定）

この要綱は、平成26年2月7日より施行する。

附 則（平成27年12月21日委員会決定）

この要綱は、平成27年12月21日より施行する。

附 則（平成31年1月16日委員会決定）

この要綱は、平成31年1月16日より施行する。

附 則（令和元年12月26日委員会決定）

この要綱は、令和元年12月26日より施行する。

附 則（令和2年11月6日委員会決定）

この要綱は、令和2年11月6日より施行する。

別 表 1（第 2 条 関 係）

会 議 の 所 掌 事 務

1 . 計 画 策 定 ・ 検 証 会 議

① 市 民 福 祉 総 合 計 画 の 策 定 に 関 す る 事 件 。

② 市 民 福 祉 総 合 計 画 の 進 行 及 び 成 果 の 検 証 ・ 評 価 に 関 す る 事 件 。

2 . 福 祉 政 策 会 議

① 市 民 福 祉 の 推 進 に 必 要 な 施 策 の 企 画 ・ 調 査 に 関 す る 事 件 。

別 表 2 (第 3 条 関係)

専門分科会への委任事務

1. 民生委員審査専門分科会

① 民生委員の適否の審査に関する事。

(社会福祉法第11条第1項)

2. 身体障害者福祉専門分科会 (社会福祉法第11条第1項)

① 身体障害者手帳の交付申請に必要な診断書を作成できる医師の指定の審議に関する事。

(身体障害者福祉法第15条第2項)

② 指定自立支援医療機関(育成医療・更生医療)の指定及び取消についての審議に関する事。

(障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第59条、第68条)

③ 身体障害者の障害程度の審査に関する事。

(身体障害者福祉法施行令第5条第1項)

3. 児童福祉専門分科会

① 児童の施設入所等の措置の決定及び解除についての審議に関する事。

(児童福祉法第27条第6項及び同法施行令第32条)

② 児童虐待事案の検討に関する事。

③ 映画、演劇、出版物、玩具等による児童福祉の増進又は児童に及ぼす悪影響の防止を目的に、映画等を審査のうえ、推薦又は勧告する事。

(児童福祉法第8条第7項)

④ 母子福祉資金貸付金の打ち切りの審議に関する事。

(母子及び父子並びに寡婦福祉法施行令第13条)

⑤ 里親の認定についての審議に関する事。

(児童福祉法施行令第29条)

⑥ 認可を受けない児童のための施設に係る事業の停止又は施設の閉鎖についての審議に関する事。

(児童福祉法第59条第5項)

⑦児童福祉施設に係る事業停止についての審議に関する事。

(児童福祉法第46条第4項)

⑧家庭的保育事業等及び保育所の認可についての審議に関する事。

(児童福祉法第34条の15第4項、第35条第6項)

4. 精神保健福祉専門分科会

①厚生労働大臣の定める基準に適合しなくなった、又はその運営方法がその目的遂行のために不適切であると認めた指定病院の取消についての審議に関する事。

(精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第19条の9第2項)

②指定自立支援医療機関(精神通院医療)の指定及び取消についての審議に関する事。

(障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第59条、第68条)

③精神保健福祉の調査審議に関する事。

5. 市民福祉顕彰選考専門分科会

①市民福祉顕彰の候補者の選考に関する事。

(神戸市民の福祉をまもる条例第56条)

6. 介護保険専門分科会

①介護保険事業計画の進捗状況等の把握・点検に関する事。

②介護保険事業計画の策定のための調査審議に関する事。

③高齢者保健福祉計画の策定のための調査審議に関する事。

7. 成年後見専門分科会

①成年後見制度の利用促進に関する事。

(成年後見制度の利用の促進に関する法律第14条第2項)

神戸市市民福祉調査委員会介護保険専門分科会運営要綱

平成12年7月11日

分科会決定

(趣旨)

第1条 この要綱は、神戸市市民福祉調査委員会運営要綱（平成12年4月18日決定）第9条の規定に基づき、神戸市市民福祉調査委員会介護保険専門分科会（以下「専門分科会」という。）の運営に関し必要な事項について定める。

(部会)

第2条 専門分科会に、次の部会を設置する。

- (1) 企画・調査部会 定数10名以内
- (2) サービス研究会 定数15名以内
- (3) 地域密着型サービス運営委員会 定数15名以内

2 第1項の各号に掲げる部会の所掌事務は、別表に掲げるとおりとする。

3 部会に属すべき委員及び臨時委員は、分科会長が指名する。

4 部会に部会長を置き、部会長は、部会に属する委員及び臨時委員の互選によって定める。

5 部会長は、その部会の会務を総理する。

6 部会長に事故があるとき又は部会長が欠けたときは、あらかじめ部会長の指名する委員及び臨時委員が、その職務を代理する。

7 部会は、部会長が招集する。

8 部会は、部会に属する委員及び臨時委員の過半数が出席しなければ会議を開催することができない。

9 部会の議事は、出席した委員及び臨時委員の過半数で決し、可否同数のときは、部会長の決するところによる。

10 部会に必要な応じてワーキンググループを置くことができる。

(関係者の出席)

第3条 部会長は、必要があると認めるときは、部会に関係者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(代表幹事及び幹事)

第4条 専門分科会及び部会に代表幹事及び幹事を置く。

2 代表幹事及び幹事は、市職員のうちから分科会長が指名する。

3 代表幹事及び幹事は、専門分科会及び部会の所掌事務について委員及び臨時委員を補佐する。

(庶務)

第5条 部会の庶務は、福祉局介護保険課において処理する。

(委任)

第6条 この要綱に定めるもののほか、部会の運営等に関し必要な事項は、部会が定める。

附 則

この要綱は、平成12年7月11日より施行する。

附 則

この要綱は、平成13年7月19日より施行する。

附 則

この要綱は、平成18年2月11日より施行する。

附 則

この要綱は、平成22年2月9日より施行する。

附 則

この要綱は、平成27年2月17日より施行する。

附 則

この要綱は、平成28年2月10日より施行する。

附 則

この要綱は、令和2年4月1日より施行する。

別表（第2条関係）

部会の所掌事務

1 企画・調査部会

- (1) 介護保険事業計画の点検及びそれに必要な調査の実施に関する事
- (2) 介護保険事業計画の策定に必要な調査の実施に関する事
- (3) 高齢者保健福祉計画の策定に必要な調査の実施に関する事
- (4) 新しい介護予防・日常生活支援総合事業の立ち上げ及び円滑な運営に関して必要な事

2 サービス研究会

介護サービスの質の向上に関する事

3 地域密着型サービス運営委員会

- (1) 地域密着型サービスの指定基準に関する事
- (2) 地域密着型サービスの指定、指定拒否及び指定取消に関する事
- (3) 地域密着型サービスの介護報酬に関する事
- (4) その他、地域密着型サービスの円滑な運営に関して必要と認められる事

審議事項

介護保険専門分科会の副分科会長の選任について

・事務局提案内容

副分科会長 久次米 健市 (神戸市医師会副会長)

神戸市市民福祉調査委員会介護保険専門分科会の分科会長及び副分科会長は、委員の互選により定めることとされております。

参考神戸市市民福祉調査委員会運営要綱 第2条4

会長及び副会長は、小委員会に属する委員の互選によって定める。

第 9 期神戸市介護保険事業計画策定に向けての実態調査概要 案 (R4.9 現在)

(1) 調査目的

第 9 期介護保険事業計画 (令和 6 年度～8 年度) 策定のための基礎資料とするとともに、神戸市の今後の高齢者施策の参考資料とするため、高齢者の実態調査を実施する。(3 年毎の調査)

(2) 調査種別

①要介護認定を受けていない 65 歳以上の方を対象とする「健康とくらしの調査」(高齢者一般調査)

※「健康とくらしの調査」は、日本老年学的評価研究 (JAGES) プロジェクトとの共同調査 (調査項目は全国統一項目と市独自項目で構成。なお、全国統一項目は調整中であり、今後変わる可能性あり)

②要介護認定を受けている 65 歳以上の方を対象とする「在宅高齢者実態調査」

③施設を対象とする「施設調査」 ※入所者調査については、施設の負担軽減のため廃止

調査名称	健康とくらしの調査 (高齢者一般調査)	在宅高齢者実態調査	施設調査				
			(特別養護老人ホーム)	(介護老人保健施設)	(介護療養型医療施設・ 介護医療院)	(特定施設・サービス付き 高齢者向け住宅)	(認知症対応型共同生活 介護)
調査対象	令和 4 年 10 月 1 日現在、 <u>要介護認定を受けていない</u> 神戸市内に居住する 65 歳以上の方々	令和 4 年 10 月 1 日現在、 <u>要介護認定を受けている</u> 神戸市内に居住する 65 歳以上の方々 (※令和 4 年 7 月に施設サービスの利用実績のある者を除く)	令和 4 年 9 月 1 日現在開設中の介護保険サービスの付いた施設				
調査件数	無作為抽出 約 16,000 件 (前回 15,902 件)	無作為抽出 約 7,800 件 (前回 7,354 件)	悉皆調査 約 122 施設 (前回 104 施設)	悉皆調査 約 64 施設 (前回 56 施設)	悉皆調査 約 6 施設 (前回 7 施設)	悉皆調査 特定施設等 約 134 施設 (前回 117 施設) サ付住宅 約 117 施設 (前回 104 施設)	悉皆調査 約 134 施設 (前回 124 施設)
調査方法	郵送 (本人宅送付) / 無記名回答 (督促状なし)		郵送 (事業所送付)				
調査期間	令和 4 年 12 月 5 日～ 令和 4 年 12 月 26 日	令和 4 年 12 月頃～					
前回の有効回答数	10,636 (有効回答率: 66.88%)	3,036 (有効回答率: 41.28%)	76 施設 (回収率: 73.08%)	35 施設 (回収率: 62.50%)	7 施設 (回収率: 100.00%)	特定施設等 90 施設 (回収率: 76.92%) サ高住 55 施設 (回収率: 52.88%)	94 施設 (回収率: 75.81%)

健康とくらしの調査

■ 調査にご回答いただく前におうかがいします ■

- 1) 本調査のご回答を、行政の施策立案のほか、学術研究に利用してもよろしいですか。
(個人情報は匿名化し、集計された平均値や分析結果のみが公表されます)

1. 同意する (研究利用してよい) 2. いいえ (回答のない場合はご同意とみなします)

- 2) ご回答いただく方はどなたですか。ご本人の調査協力に対する同意があるものの、ご記入が困難なために代筆される場合は、ご本人との続柄をお書きください。

1. 封筒の宛名のご本人 2. 家族 (宛名のご本人からみた続柄 _____) 3. その他

▶ 2. もしくは 3. と答えた方へ

調査には宛名の方の状況についてできるだけご本人と一緒にお答えください。

【問1】あなたの身体状況についておうかがいします。

- 1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。

1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない

- 2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

1. 介護・介助は必要ない 2. 何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない
3. 介護・介助が必要で、介護・介助を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

- 3) あなたは現在、健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか。

(たとえば起床・衣服着脱・食事・入浴などの日常生活動作、外出、仕事・学業、運動などについての影響です)

1. ある 2. ない

- 4) 現在治療中、または後遺症のある病気にあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. ない 2. 高血圧 3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) 4. 心臓病
5. 糖尿病 6. 高脂血症 (脂質異常) 7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)
8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 9. 腎臓・前立腺の病気
10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症・股関節症等) 11. 外傷 (転倒・骨折等)
12. がん (悪性新生物) 13. 血液・免疫の病気
14. うつ病 15. 認知症 (アルツハイマー病等) 16. パーキンソン病
17. 目の病気 18. 耳の病気 19. その他 (_____)

- 5) 現在ご自身の歯は何本残っていますか。さし歯や金属をかぶせた歯も自分の歯に含めます。
なお、成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。

1. 0本 2. 1～4本 3. 5～9本 4. 10～14本
5. 15～19本 6. 20～23本 7. 24～27本 8. 28～32本

- 6) 「入れ歯 (義歯)」などを使っていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 使っていない 2. 入れ歯 3. ブリッジ (取り外しできない入れ歯) 4. インプラント

- 7) あなたは今までに、職場や保健センター、医療機関などで、健診や人間ドックを受けましたか。

1. 1年以内に受けた 2. 1年～4年前に受けた 3. 4年以上前に受けた 4. 受けていない

【問2】食事・飲酒・喫煙状況に関することについておうかがいします。

- 1) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。 ————— 1. はい 2. いいえ
- 2) お茶や汁物などでむせることがありますか。 ————— 1. はい 2. いいえ
- 3) 口の渇きが気になりますか。 ————— 1. はい 2. いいえ
- 4) ここ1か月の間に、あなたは、**肉や魚**をどのくらいの頻度で食べていますか。
- | | | | |
|-----------|----------|-----------|----------|
| 1. 毎日2回以上 | 2. 毎日1回 | 3. 週4～6回 | 4. 週2～3回 |
| 5. 週1回 | 6. 週1回未満 | 7. 食べなかった | |
- 5) ここ1か月の間に、あなたは、**野菜や果物**をどのくらいの頻度で食べていますか。
- | | | | |
|-----------|----------|-----------|----------|
| 1. 毎日2回以上 | 2. 毎日1回 | 3. 週4～6回 | 4. 週2～3回 |
| 5. 週1回 | 6. 週1回未満 | 7. 食べなかった | |
- 6) お酒を飲みますか。
- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 現在飲んでいる | 2. 5年以内にやめて今は飲んでいない |
| 3. 5年以上前にやめて今は飲んでいない | 4. もともと飲まない |
- 7) タバコは吸いますか(加熱式タバコ、電子タバコ等を含みます)。
- | | | |
|----------------------|-------------|---------------------|
| 1. ほぼ毎日吸っている | 2. 時々吸っている | 3. 5年以内にやめて今は吸っていない |
| 4. 5年以上前にやめて今は吸っていない | 5. もともと吸わない | |
- 8) どなたかと一緒に食事をする機会はありますか。
- | | | | | |
|---------|------------|------------|------------|-----------|
| 1. 毎日ある | 2. 週に何度かある | 3. 月に何度かある | 4. 年に何度かある | 5. ほとんどない |
|---------|------------|------------|------------|-----------|

【問3】あなたの普段の外出や日常の行動についておうかがいします。

- 1) あなたが外出する頻度はどのくらいですか(畑や隣近所へ行く、買い物、通院などを含みます)。
- | | | | | | | |
|-----------|--------|----------|--------|----------|---------|----------|
| 1. 週に5回以上 | 2. 週4回 | 3. 週2～3回 | 4. 週1回 | 5. 月1～3回 | 6. 年に数回 | 7. していない |
|-----------|--------|----------|--------|----------|---------|----------|
- 2) 昨年と比べて外出の回数は減っていますか。
- | | | | |
|-------------|----------|--------------|-----------|
| 1. とても減っている | 2. 減っている | 3. あまり減っていない | 4. 減っていない |
|-------------|----------|--------------|-----------|
- 3) あなたが外出する時に利用している交通手段すべてに○をつけてください。
- | | | | | |
|----------------|----------|--------------|---------------|------------------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 | 3. バイク | 4. 自動車(自分で運転) | 5. 自動車(人に乗せてもらう) |
| 6. 電車 | 7. 路線バス | 8. 病院や施設のバス | 9. 車いす | 10. 電動車いす(カート) |
| 11. 歩行器・シルバーカー | 12. タクシー | 13. コミュニティバス | 14. その他() | |
- 4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。
- | | | |
|----------|---------|-------|
| 1. 何度もある | 2. 1度ある | 3. ない |
|----------|---------|-------|
- 5) 転倒に対する不安は大きいですか。
- | | | | |
|-------------|------------|-------------|----------|
| 1. とても不安である | 2. やや不安である | 3. あまり不安でない | 4. 不安でない |
|-------------|------------|-------------|----------|
- 6) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。
- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

7) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

8) 平均すると1日の合計で何分くらい歩きますか。

1. 30分未満 2. 30～59分 3. 60～89分 4. 90分以上

【問4】日常生活についておうかがいします。

1) バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）。	1. できるし、している 2. できるけど、していない 3. できない
2) 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。	1. できるし、している 2. できるけど、していない 3. できない
3) 自分で食事の用意をしていますか。	1. できるし、している 2. できるけど、していない 3. できない
4) 自分で請求書の支払いをしていますか。	1. できるし、している 2. できるけど、していない 3. できない
5) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。	1. できるし、している 2. できるけど、していない 3. できない
6) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。	1. はい 2. いいえ
7) 新聞を読んでいますか。	1. はい 2. いいえ
8) 本や雑誌を読んでいますか。	1. はい 2. いいえ
9) 健康についての記事や番組に関心がありますか。	1. はい 2. いいえ
10) 友達の家を訪ねることがありますか。	1. はい 2. いいえ
11) 家族や友だちの相談にのることがありますか。	1. はい 2. いいえ
12) 病人を見舞うことができますか。	1. はい 2. いいえ
13) 若い人に自分から話しかけることができますか。	1. はい 2. いいえ
14) 15分位続けて歩いていますか。	1. できるし、している 2. できるけど、していない 3. できない
15) 周りの人から「いつも同じ事を聞く」など物忘れがあるといわれますか。	1. はい 2. いいえ
16) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。	1. はい 2. いいえ
17) 今日が何月何日かわからない時がありますか。	1. はい 2. いいえ
18) 物忘れが多いと感じますか。	1. はい 2. いいえ
19) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。	1. はい 2. いいえ
20) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。	1. はい 2. いいえ

【問5】参加している会やグループ、仕事についておうかがいします。

1) あなたは下記のような会・グループにどのくらいの頻度で参加していますか。

(1) ボランティアのグループ

1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない

(2) スポーツ関係のグループやクラブ

1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない

(3) 趣味関係のグループ

1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない

(4) 老人クラブ

1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない

(5) 町内会・自治会

1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない

(6) 学習・教養サークル

1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない

(7) 健康体操やサロンなどの介護予防のための通いの場

1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない

(8) 特技や経験を他者に伝える活動

1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない

(9) 収入のある仕事

1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. していない

2) 上記の「収入のある仕事」を除く(1)～(8)のすべてのグループや活動に参加していない人におうかがいします。参加していない理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 興味のあるグループや活動がない 2. グループや活動の情報が手に入らない 3. 会場が遠い
4. 知り合いが参加していない 5. 健康上の理由で参加に制限がある 6. 参加費が高い 7. その他

3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加したいと思いますか。

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. すでに参加している

4) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加したいと思いますか。

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. すでに参加している

【問6】あなたの友人関係についておうかがいします。

1) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。

1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 会っていない

2) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えてください。

1. 0人 (いない) 2. 1～2人 3. 3～5人 4. 6～9人 5. 10人以上

3) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。あてはまるもの**すべてに○**をつけてください。

1. 近所・同じ地域の人 2. 幼なじみ 3. 学生時代の友人 4. 仕事での同僚・元同僚
5. 趣味や関心が同じ友人 6. ボランティアなどの活動での友人 7. その他 8. いない

【問7】あなたとまわりの人の「たすけあい」と「笑い」についておうかがいします。

1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人はいますか(あてはまる**すべてに○**)。

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣 6. 友人 7. その他() 8. そのような人はいない

2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人はいますか(あてはまる**すべてに○**)。

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣 6. 友人 7. その他() 8. そのような人はいない

3) あなたが病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人はいますか(あてはまる**すべてに○**)。

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣 6. 友人 7. その他() 8. そのような人はいない

4) 反対に、看病や世話をしてあげる人はいますか(あてはまる**すべてに○**)。

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣 6. 友人 7. その他() 8. そのような人はいない

5) 普段の生活で、声を出して笑う機会はどのくらいありますか。

1. ほぼ毎日 2. 週に1～5回程度 3. 月に1～3回程度 4. ほとんどない

6) どんなときによく笑いますか。あてはまるもの**すべてに○**をつけてください。

1. よく笑うことはない 2. 友人と話をしているとき 3. 夫婦やパートナーと話をしているとき
4. 子供や孫と接しているとき 5. 職場の上司や部下、同僚と話をしているとき
6. テレビやビデオをみているとき 7. インターネット(ユーチューブなど)で動画をみているとき
8. ラジオを聞いているとき 9. 落語や芝居等を観に行ったとき 10. その他

【問8】あなたの住んでいる地域についておうかがいします。

1) あなたの地域の人々は、一般的に信用できると思いますか。

1. とても信用できる 2. まあ信用できる 3. どちらともいえない
4. あまり信用できない 5. 全く信用できない

2) あなたの地域の人々は、多くの場合、他の人の役に立とうとしますか。

1. とてもそう思う 2. まあそう思う 3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない 5. 全くそう思わない

3) あなたは現在住んでいる地域にどの程度愛着がありますか。

- | | | |
|-------------|------------|--------------|
| 1. とても愛着がある | 2. まあ愛着がある | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり愛着がない | 5. 全く愛着がない | |

4) あなたは、地域内のご近所の方とどのようなおつきあいをされていますか。

- | |
|--|
| 1. たがいに相談したり日用品の貸し借りをするなど、生活面で協力しあっている人もいる |
| 2. 日常的に立ち話をする程度のつきあいは、している |
| 3. あいさつ程度の最小限のつきあいしかしていない |
| 4. つきあいは全くしていない |

【問9】 次の問いを読んで、あてはまるものに○をつけてください。

1) 今の生活に満足していますか。	1. はい 2. いいえ
2) 生きていても仕方がないという気持ちになることがありますか。	1. はい 2. いいえ
3) 毎日の活動力や世間に対する関心がなくなってきたように思いますか。	1. はい 2. いいえ
4) 生きているのがむなしいように感じますか。	1. はい 2. いいえ
5) 退屈に思うことがよくありますか。	1. はい 2. いいえ
6) 普段は気分がよいですか。	1. はい 2. いいえ
7) なにか悪いことがおこりそうな気がしますか。	1. はい 2. いいえ
8) 自分は幸せなほうだと思いますか。	1. はい 2. いいえ
9) どうしようもないと思うことがよくありますか。	1. はい 2. いいえ
10) 外に出かけるよりも家にいることのほうが好きですか。	1. はい 2. いいえ
11) ほかのより物忘れが多いと思いますか。	1. はい 2. いいえ
12) こうして生きていることはすばらしいと思いますか。	1. はい 2. いいえ
13) 自分は活力が満ちていると感じますか。	1. はい 2. いいえ
14) こんな暮らしでは希望がないと思いますか。	1. はい 2. いいえ
15) ほかの人は、自分より裕福だと思いますか。	1. はい 2. いいえ
16) (ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない。	1. はい 2. いいえ
17) (ここ2週間) これまで楽しんでやれたことが楽しめなくなった。	1. はい 2. いいえ
18) (ここ2週間) 以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる。	1. はい 2. いいえ
19) (ここ2週間) 自分が役に立つ人間だとは思えない。	1. はい 2. いいえ
20) (ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする。	1. はい 2. いいえ
21) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	1. はい 2. いいえ
22) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	1. はい 2. いいえ

【問10】あなた自身のことについておうかがいします。

1) 性別

1. 男性 2. 女性 3. その他

2) 年齢

歳

3) 生年月

1. 大正 2. 昭和

年 月

4) あなたの現在の身長と体重を教えてください（おおよその数値で結構です）。

身長

m

cm

体重

kg

5) この半年間に体重が2～3kg以上減少しましたか。

1. はい 2. いいえ

6) あなたは、現在どの程度幸せですか（「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点としてご記入ください）

とても不幸

とても幸せ

0点----1点----2点----3点----4点----5点----6点----7点----8点----9点----10点

7) あなたは今住んでいるところにどのくらいの間住んでいますか。

約

年間

8) あなたが受けられた学校教育は何年間でしたか。

1. 6年未満 2. 6～9年 3. 10～12年 4. 13年以上 5. その他

【問11】ふだん1日に仕事をふくめて体をうごかす時間や座っている時間はどれくらいですか。

1) 肉体労働や激しいスポーツをする時間

1. なし 2. 1時間未満 3. 1時間以上

2) 座っている時間

1. 3時間未満 2. 3～8時間未満 3. 8時間以上

3) 歩いたり立っている時間

1. 1時間未満 2. 1～3時間未満 3. 3時間以上

【問12】あなたのご家庭についておうかがいします。

1) あなたの婚姻状態は、次のうちのどれにあてはまりますか。

1. 配偶者がいる（内縁を含む） 2. 死別 3. 離別 4. 未婚 5. その他

2) 家族構成を教えてください。

1. 一人暮らし 2. 夫婦二人暮らし（配偶者65歳以上）
3. 夫婦二人暮らし（配偶者64歳以下） 4. 息子・娘との2世帯 5. その他（3世帯を含む）

3) ご自身を含めて何人で暮らしていますか。また、同居されている方はどなたですか（すべてに○）。

人

1. いない 2. 配偶者（夫・妻） 3. 息子 4. 娘 5. 子の配偶者
6. 孫 7. 兄弟・姉妹 8. 自分の父 9. 自分の母
10. 配偶者の父 11. 配偶者の母 12. その他

4) 3) で答えた世帯全体の合計収入額（年金を含みます）は、昨年の1年間で、次のうちどれにあてはまりますか（税引き前で）。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------------------|---------------------|-----------------|
| 1. 50万円未満 | 2. 50～100万円未満 | 3. 100～150万円未満 |
| 4. 150～200万円未満 | 5. 200～250万円未満 | 6. 250～300万円未満 |
| 7. 300～400万円未満 | 8. 400～500万円未満 | 9. 500～600万円未満 |
| 10. 600～700万円未満 | 11. 700～800万円未満 | 12. 800～900万円未満 |
| 13. 900～1,000万円未満 | 14. 1,000～1,200万円未満 | 15. 1,200万円以上 |

5) 3) で答えた世帯全体の資産についてお聞きします。貯金、不動産（家、土地、マンション等）、株、ゴルフ会員権等、全ての資産の合計額であてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|------------------|--------------------|----------------|
| 1. 50万円未満 | 2. 50～100万円未満 | 3. 100～500万円未満 |
| 4. 500～1,000万円未満 | 5. 1,000～5,000万円未満 | 6. 5,000万円以上 |

6) あなたが住んでいる住宅の種類はどれですか。

- | | | | | |
|-------------|-----------------|-----------------|----------------|--------|
| 1. 持家(一戸建て) | 2. 持家(集合住宅) | 3. 旧公団(UR)分譲住宅 | 4. 旧公団(UR)賃貸住宅 | |
| 5. 公営賃貸住宅 | 6. 民間賃貸住宅(一戸建て) | 7. 民間賃貸住宅(集合住宅) | 8. 借家 | 9. その他 |

7) あなたの年金についてあてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | | |
|------------------------|-------------------|---------|---------|
| 1. 国民年金 | 2. 厚生年金 | 3. 共済年金 | 4. 企業年金 |
| 5. 個人年金(民間生命保険会社などの年金) | 6. 1～5はどれも受給していない | | |

8) あなたは現在、生活保護を受給していますか。

- | | | |
|------------------|-------------|-------------|
| 1. これまで受給したことがない | 2. 現在受給している | 3. 現在申請している |
| 4. 受給していたが、やめた | | |

9) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。

- | | | | | |
|----------|----------|--------|-------------|-------------|
| 1. 大変苦しい | 2. やや苦しい | 3. ふつう | 4. ややゆとりがある | 5. 大変ゆとりがある |
|----------|----------|--------|-------------|-------------|

【問13】 現在・過去の就労についておうかがいします。

1) 現在のあなたの就労状態はどれですか（あてはまるすべてに○）。 *非常勤：パート・アルバイト等

- | | | | | |
|---------------|---------|-------|--------|--------|
| 1. 職に就いたことがない | 2. 引退した | 3. 常勤 | 4. 非常勤 | 5. 自営業 |
| 6. 求職中 | 7. その他 | | | |

あなたは、いつ引退しましたか。

- | | | | | | | |
|-------|-------|-------|----|---|----|---|
| 1. 昭和 | 2. 平成 | 3. 令和 | □□ | 年 | □□ | 月 |
|-------|-------|-------|----|---|----|---|

2) あなたのこれまでの仕事の中で、最も長くつとめた職種はなんですか。

- | | | | | |
|-----------|----------------|--------------|----------------|-----------|
| 1. 専門・技術職 | 2. 管理職 | 3. 事務職 | 4. 販売・サービス業 | 5. 技能・労務職 |
| 6. 酪農・畜産業 | 7. 稲作や他の農作物生産 | 8. 畜産と農作物を兼業 | 9. 林業 | |
| 10. 漁業 | 11. 農林漁業以外の自営業 | 12. その他 | 13. 職に就いたことがない | |

2) あなたは補聴器を使っていますか。 _____ 1. はい 2. いいえ

↓
【問16】4)へ

3) 補聴器を使っている人にお聞きします。使っている場合は補聴器を付けている時間はどのくらいですか。

1. ほとんど終日 2. 半日程度 3. 2～3時間 4. 必要なときのみ 5. 使っていない

4) あなたは目がよく見えますか。メガネやコンタクトレンズを使用している人は、使っている状態を教えてください。

1. とてもよく見える 2. よく見える 3. 見える 4. あまり見えない 5. 見えない

5) あなたはメガネやコンタクトレンズを使っていますか。 _____ 1. はい 2. いいえ

6) これまでに白内障の手術を受けた経験がありますか。 _____ 1. はい 2. いいえ

【問17】あなたの生活の満足度や心身の状態についておうかがいします。

1)～13)の質問を読んで、それぞれ0～10の段階で最もあてはまるもの1つに○をつけてください。一番右の10が最も理想的な良い状態で、一番左の0が最も悪い状態とお考えください。

1) 全体的にみて、あなたは現在の生活に満足していますか。													
全く満足していない	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	大変満足	
2) あなたの身体的な健康状態を、0 (非常に悪い) から 10 (非常に良い) の点数で評価すると何点ですか。													
非常に悪い	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	非常に良い	
3) あなたの精神的な健康状態を、0 (非常に悪い) から 10 (非常に良い) の点数で評価すると何点ですか。													
非常に悪い	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	非常に良い	
4) 全体的に見て、あなたは人生で行っていることが、価値のあることだと感じていますか。													
全く価値がない	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	価値がある	
5) 毎月の生活費が足りるかどうか、心配になることがありますか。													
いつも心配である	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	全く心配ない	
6) 十分な食事、住む場所、生活の安全について、不安に思うことがありますか。													
いつも不安である	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	全く不安ない	
7) 私には生きがいがある。													
全くそう思わない	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	強くそう思う	
8) 私は自分の人生の目的を理解している。													
全くあてはまらない	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	よくあてはまる	
9) 私は満足できる、望み通りの人間関係を築けていると思う。													
全くあてはまらない	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	よくあてはまる	
10) 私は友情や人間関係に満足している。													
全くあてはまらない	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	よくあてはまる	
11) どんなに困難な状況でも、私は常に社会や周囲の人のために良いことをしようと努めている。													
全くあてはまらない	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	よくあてはまる	
12) 私は、将来の大きな幸せのために、今の小さな幸せを我慢することができる。													
全くあてはまらない	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	よくあてはまる	
13) あなたは、人生全体にどの程度満足していますか。													
全く満足していない	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	非常に満足している	

【問 14】インターネットやメール（パソコン、携帯電話など）についておうかがいします。

1) あなたは過去 1 年間に、インターネットやメールをどのくらいの頻度で使いましたか。

1. 使わなかった 2. 月に数回 3. 週に 2～3 回 4. ほぼ毎日

【問 15】へ

過去 1 年間にインターネットを利用した方へ

2) あなたがインターネットを利用した目的は何ですか。あてはまるすべてに○をつけてください。

1. 健康や医療に関する情報収集・検索 2. 健康や医療以外の情報収集・検索 3. 仕事・業務
4. 地図や交通情報案内 5. ソーシャルメディア（フェイスブック、ツイッターなど）
6. 家族・友人や知人等とのコミュニケーション（メール、ライン、ズーム、テレビ電話など）
7. 商品やサービスの購入・取引 8. 自治体の電子サービス（電子申請、届出など）
9. 銀行取引や株、証券などの取引 10. 娯楽（動画、電子書籍、音楽、ゲームなど） 11. その他

【問 15】趣味・おけいこ事についておうかがいします。

1) 趣味はありますか。

1. はい 2. いいえ

【問 16】へ

2) あなたが行っている趣味は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. グラウンドゴルフ 2. ゴルフ 3. 散歩・ジョギング 4. ジム・フィットネス
5. 体操・太極拳 6. 舞踊・ダンス 7. 登山 8. 卓球 9. テニス 10. その他の運動
11. 園芸・庭いじり 12. 農作物の栽培 13. 釣り 14. 旅行 15. 読書 16. カラオケ
17. 映画・舞台鑑賞 18. 音楽鑑賞 19. 書道 20. 茶道・華道 21. 写真撮影
22. 絵画・絵手紙 23. 手工芸 24. パチンコ 25. 囲碁・将棋・麻雀
26. インターネット 27. ゲーム（テレビ・スマホ・パソコン） 28. その他の趣味

【問 16】あなたの家から徒歩圏内（約 1 キロ以内）に、次のような場所はどのくらいありますか。

1) 坂や段差など、歩くのが大変なところ

1. たくさんある 2. ある程度ある 3. あまりない 4. まったくない 5. わからない

2) 運動や散歩に適した公園や歩道

1. たくさんある 2. ある程度ある 3. あまりない 4. まったくない 5. わからない

3) 生鮮食料品（肉、魚、野菜、果物など）が手に入る商店・施設・移動販売

1. たくさんある 2. ある程度ある 3. あまりない 4. まったくない 5. わからない

【問 17】以下のそれぞれについてお聞かせください。

1) くだんあなたはどのような方法で、生鮮食料品を入手していますか（あてはまるすべてに○）。

1. 自分で出かけて買い物 2. 家族等の送迎で買い物 3. 送迎サービスを利用し買い物
4. 家族等に頼む 5. 買い物代行サービス（家政婦等含む）を利用 6. 宅配サービスを利用

2) あなたに何か困りごとがあったときに相談できる人や窓口はありますか（あてはまるすべてに○）。

1. 同居家族 2. 別居の子ども 3. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
4. 近隣・友人 5. 自治会・町内会・老人クラブ 6. 社会福祉協議会・民生委員
7. ケアマネジャー 8. 医師・歯科医師・看護師 9. 地域包括支援センター・役所・役場
10. その他 11. そのような人はいない

3) この1年間に起こったことについておうかがいします。あてはまるもの**すべてに○**をつけてください。

- | | | |
|---------------|----------------|---------------------|
| 1. 仕事をはじめた | 2. 仕事をやめた | 3. 子どもと同居を始めた |
| 4. 一人暮らしを始めた | 5. 経済的な余裕ができた | 6. 経済的な困難が増した |
| 7. 孫・ひ孫が生まれた | 8. 配偶者が亡くなった | 9. 家族や親しい親類・友人が他界した |
| 10. 新しい友人ができた | 11. 大きな病気にかかった | 12. 家族の介護を始めた |
| 13. 引っ越しをした | 14. その他 | 15. とくに変化はなかった |

4) あなたが15歳当時の生活程度は、世間一般からみて、次のどれに入るとおもいますか。

- | | | | | |
|----------|----------|--------|-------------|-------------|
| 1. 大変苦しい | 2. やや苦しい | 3. ふつう | 4. ややゆとりがある | 5. 大変ゆとりがある |
|----------|----------|--------|-------------|-------------|

5) 自分には仲間付き合いが欠けていると感じることがどのくらいありますか。

- | | | |
|-----------|---------|---------|
| 1. ほとんどない | 2. 時々ある | 3. 常にある |
|-----------|---------|---------|

6) 自分は取り残されていると感じることがどのくらいありますか。

- | | | |
|-----------|---------|---------|
| 1. ほとんどない | 2. 時々ある | 3. 常にある |
|-----------|---------|---------|

7) 自分は他の人達から孤立していると感じることがどのくらいありますか。

- | | | |
|-----------|---------|---------|
| 1. ほとんどない | 2. 時々ある | 3. 常にある |
|-----------|---------|---------|

8) **別居の家族や親戚との交流について**、あなたは下記の機会がどのくらいの頻度でありますか。

(1) 直接会って話をする機会

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------------|----------|
| 1. ほとんど毎日 | 2. 週2、3回 | 3. 週1回程度 | 4. 月1、2回 |
| 5. 年に数回 | 6. ほとんどない | 7. 別居の家族や親戚はいない | |

(2) ビデオ通話（相手の顔が見えるもの）で連絡をとりあう機会

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------------|----------|
| 1. ほとんど毎日 | 2. 週2、3回 | 3. 週1回程度 | 4. 月1、2回 |
| 5. 年に数回 | 6. ほとんどない | 7. 別居の家族や親戚はいない | |

(3) 手紙や電話、メール等（相手の顔が見えないもの）で連絡をとりあう機会

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------------|----------|
| 1. ほとんど毎日 | 2. 週2、3回 | 3. 週1回程度 | 4. 月1、2回 |
| 5. 年に数回 | 6. ほとんどない | 7. 別居の家族や親戚はいない | |

9) **友人や知人との交流について**、あなたは下記の機会がどのくらいの頻度でありますか。

(1) 直接会って話をする機会

- | | | | |
|-----------|-----------|----------|----------|
| 1. ほとんど毎日 | 2. 週2、3回 | 3. 週1回程度 | 4. 月1、2回 |
| 5. 年に数回 | 6. ほとんどない | | |

(2) ビデオ通話（相手の顔が見えるもの）で連絡をとりあう機会

- | | | | |
|-----------|-----------|----------|----------|
| 1. ほとんど毎日 | 2. 週2、3回 | 3. 週1回程度 | 4. 月1、2回 |
| 5. 年に数回 | 6. ほとんどない | | |

(3) 手紙や電話、メール等（相手の顔が見えないもの）で連絡をとりあう機会

- | | | | |
|-----------|-----------|----------|----------|
| 1. ほとんど毎日 | 2. 週2、3回 | 3. 週1回程度 | 4. 月1、2回 |
| 5. 年に数回 | 6. ほとんどない | | |

【問 18】あなたが住んでいる地域や地域の交流などについておうかがいします。

1) あなたは地域の人々から大切にされ、地域の一員となっていると感じますか。

1. そう思う 2. ややそう思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全く思わない

2) あなたは自治会・町内会やその他の場で、地域のものごとの決定に参加していると思いますか。

1. そう思う 2. ややそう思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全く思わない

3) 日常生活や健康のために必要なことは、行政や民間のサービスで概ね提供されていると思いますか。

1. そう思う 2. ややそう思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全く思わない

4) 孫や家族以外に小学生を目にしたたり、声を聞いたりする機会はありますか。

1. ほとんど毎日 2. 週2～3回 3. 週1回程度 4. 月1、2回
5. 年に数回 6. ほとんどない

4) で1～5. と答えた方へ

その際、挨拶したり話しかけたりなど交流しますか。

1. はい 2. いいえ

5) お住まいの地域には、次のような場所はどのくらいありますか。

(1) 歩行が困難な方や目・耳の不自由な方でも、利用に支障がない公共施設

1. たくさんある 2. ある程度ある 3. あまりない 4. まったくない 5. わからない

(2) 歩行が困難な方や目・耳の不自由な方でも、利用に支障がない電車やバスの車両

1. たくさんある 2. ある程度ある 3. あまりない 4. まったくない 5. わからない

6) 家から徒歩圏内（10～15分以内で歩ける範囲）に、次のような場所はどのくらいありますか。

(1) 車いす・杖・歩行器などを利用される方でも、歩行に支障のない通り（道路）

1. たくさんある 2. ある程度ある 3. あまりない 4. まったくない 5. わからない

(2) 電車・地下鉄などの駅やバス停

1. たくさんある 2. ある程度ある 3. あまりない 4. まったくない 5. わからない

(3) 手頃な価格の住まい

1. たくさんある 2. ある程度ある 3. あまりない 4. まったくない 5. わからない

【問 19】あなたご自身のお気持ちや行動について、最も近いものをお選びください。

1) 悩みがあるときやストレスを感じたときに、誰かに相談したり助けを求めたりすることは恥ずかしいことだと思いますか。

1. そう思う 2. どちらかというと思う 3. どちらかというとは思わない
4. そうは思わない 5. わからない

2) 困っている時に誰かが手伝いを申し出てくれたら、願う。

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. どちらともいえない
4. あまりあてはまらない 5. あてはまらない

3) 他人の支援はありがたく受け入れる方だ。

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. どちらともいえない
4. あまりあてはまらない 5. あてはまらない

【問 20】 認知症についておうかがいします。

1) 自分が認知症になったら、周りの人に助けをもらいながら自宅での生活を続けたいと思いますか。

1. そう思う 2. ややそう思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全く思わない

2) 認知症の人でも地域活動に役割をもって参加した方が良いと思いますか。

1. そう思う 2. ややそう思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全く思わない

3) 認知症の人の大声や暴力、歩き回るなどの行動は、必要なことが満たされない時に起きると思いますか。

1. そう思う 2. ややそう思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全く思わない

4) 認知症の人が、記憶力が低下し判断することができなくなっても、日々の生活についてできるだけ本人が決める方が良いと思いますか。

1. そう思う 2. ややそう思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全く思わない

5) 家族が認知症になったら、協力を得るために近所の人や知人などにも知っておいてほしいと思いますか。

1. そう思う 2. ややそう思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全く思わない

6) あなたは、今までにオレンジリングがもらえる認知症サポーター養成講座（一般の講座）やキャラバン・メイト（先生役の養成）を受けたことがありますか。あてはまるもの**すべてに○**をつけてください。参加回数もお答えください。

1. 受けていない 2. サポーター（ 回） 3. キャラバン・メイト

7) 「認知症カフェ」についておうかがいします。あてはまるもの**すべてに○**をつけてください。

1. 知らない 2. 知っているが行ったことはない 3. 行ったことがある 4. 運営に参加している

【問 21】 以下のそれぞれについてお聞かせください。

1) あなたは過去1年間に自分のために救急車を呼んだり、誰かに呼んでもらったことがありますか。

1. 1回 2. 2回 3. 3回 4. 4回以上 5. ない

2) AI（人工知能）技術の発展により私たちは、よりいっそう幸せになれると思いますか。

1. とても幸せになれる 2. やや幸せになれる 3. 変わらない
4. あまり幸せになれない 5. 全く幸せになれない

3) 新型コロナウイルス感染症に感染してしまうのは、本人の行動や心がけが主な理由だと思いますか。

1. そう思う 2. ややそう思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全く思わない

【問 22】 本（電子書籍を含む）・新聞（ネットを含む）・図書館・書店についてお聞かせください。

下記について、それぞれあてはまるもの**1つに○**をつけてください。

	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年数回	しない
1) 本（電子書籍を含む）を読む	1	2	3	4	5	6
2) 新聞（ネットを含む）を読む	1	2	3	4	5	6
3) 図書館に行く	1	2	3	4	5	6
4) 書店に行く	1	2	3	4	5	6

【問 18】 人生最期の時期に望む療養場所や医療について、おうかがいします。

1) ご自分が病気などで最期を迎えるとしたら、どこで迎えたいと思いますか（1つに○）。

- | | | |
|-------------------|-------------------|-----------------|
| 1. 病院 | 2. ホスピス・緩和ケア病棟 | 3. 老人ホームなどの福祉施設 |
| 4. 高齢者向けのケア付き集合住宅 | 5. 自宅(子供など家族宅も含む) | 6. わからない |

2) 上記1) について、誰かと話し合いをしていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|---------|---------------|-----------------------|
| 1. 全くない | 2. 話し合ったことがある | 3. 話し合い、その結果を紙などに記載した |
|---------|---------------|-----------------------|

3) 自分が意思決定できなくなったときに備えて、一番自分が信頼して自分の医療・療養に関する方針を決めてほしいと思う人はだれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|-----------|------------------|-----------|
| 1. いない | 2. 配偶者 | 3. 同居の子ども |
| 4. 別居の子ども | 5. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 6. 近隣の方 |
| 7. 友人 | 8. 医療従事者（医師、看護師） | 9. その他（ ） |

4) 日本人の3大死亡原因は、がん、心臓病、老衰です。老衰で死ぬことについてどのように思いますか。

- | | | | |
|---------|-----------------|----------------|---------|
| 1. 好ましい | 2. どちらかという和好ましい | 3. どちらかという避けたい | 4. 避けたい |
|---------|-----------------|----------------|---------|

【問 19】 以下の各質問について、最もよくあてはまるもの1つに○をしてください。

1) 体調が悪い時や健康について相談したいときに、いつも受診する医師や医療機関はありますか。

- | | | |
|-------|--------|-----------|
| 1. はい | 2. いいえ | → 【問 20】へ |
|-------|--------|-----------|

以下2)～4) は、その医師や医療機関についてお答えください。

2) その医師または医療機関は、病気のことだけでなく、あなたという人をよく理解していますか。

- | | | |
|------------|------------|--------------|
| 1. よく知っている | 2. やや知っている | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり知らない | 5. 全く知らない | |

3) 地域の活動参加や地域の相談窓口（例：地域包括支援センター、社会福祉協議会など）に行くことをその医師や医療機関のスタッフにすすめられたことはありますか。

- | | | |
|-----------|--------------|--------------|
| 1. すすめられた | 2. どちらともいえない | 3. すすめられなかった |
|-----------|--------------|--------------|

4) その医師または医療機関を受診した時に、テレビや新聞などメディアが伝える健康情報に関して助言を受けたことがありますか。

- | | | |
|-------------|--------------|-------------|
| 1. 受けたことがある | 2. どちらともいえない | 3. 受けたことがない |
|-------------|--------------|-------------|

【問 20】 あなたの医療受診等についておうかがいします。

1) 過去3年間に、病気や障害があるにもかかわらず、必要な治療を受けなかった、または治療を中断したことがありますか。

- | | | |
|-------|-------------------|-----------------------|
| 1. ある | 2. 必要な治療を控えたことはない | 3. 過去3年間治療を受ける必要がなかった |
|-------|-------------------|-----------------------|

→ 【問 21】へ

2) 治療を受けなかったり中断した理由として、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | | |
|------------------|----------------|---------------------|---------|
| 1. 待ち時間が長い | 2. 治療費の負担が大きい | 3. 交通費の負担が大きい | |
| 4. 適切な医療機関が近くにない | 5. 交通手段がない | 6. どこに相談したらよいかわからない | |
| 7. 時間がない | 8. 健康保険に入っていない | 9. 新型コロナウイルス感染を避けたい | 10. その他 |

【問 21】あなたのお薬の使い方についておうかがいします。

1) あなたが毎日飲んでおられるお薬のうち、医師から処方されているものは何種類ありますか。

1. なし 2. 1種類 3. 2種類 4. 3～5種類 5. 6～9種類 6. 10種類以上

4) へ

2) 直近の受診時に医師から処方された「毎日飲んでおられる薬」を、自分の判断だけで飲み残している量はどのくらいありますか。

1. 2ヶ月分以上 2. 1ヶ月分 3. 2週間分 4. ほとんどない

3) お薬は1日何回飲むように処方されていますか。1回に2種類以上飲んでおられる人も1回と数えて、全部合わせた回数について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

【例：朝昼夕食後（1日3回）と、寝る前（1回）は1日4回】

1. 1日1回 2. 1日2回 3. 1日3回 4. 1日4回 5. 1日5回以上

4) 「お薬手帳」をどのように利用していますか。

1. 1冊にまとめて使っている 2. 病院で使い分けている 3. 使っていない

5) いつもお薬を受け取る薬局はどこですか。

1. かかりつけ薬局 2. 決めていない 3. 医療機関内

6) 5) で「1. かかりつけ薬局」と答えた方にお聞きします。

かかりつけ薬局を決めている理由について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 薬を管理してくれる 2. 薬について相談しやすい 3. 薬以外でも相談できる
4. 信頼できる薬剤師がいる 5. 家または病院に近い 6. 自分で選んでいない 7. その他

7) 以下の質問について、それぞれ最もよくあてはまるもの1つに○をつけてください。

	あてはまる	大体あてはまる	少しあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
1) 薬は指示されたとおりに服用している	1	2	3	4	5
2) 自分だけの判断で薬を飲むのをやめている	1	2	3	4	5
3) つい受診間隔が空いてしまい、何日間か薬を飲まない日ができる	1	2	3	4	5
4) 薬を飲み忘れる	1	2	3	4	5
5) 自分の服用している薬が何の薬かを知っている	1	2	3	4	5
6) 自分が服用している薬について納得している	1	2	3	4	5
7) 医師の治療方針を理解している	1	2	3	4	5
8) 薬や治療について、医師などの医療従事者に自分の質問が気兼ねなくできている	1	2	3	4	5
9) 薬を服用していることで、病状が落ち着いている	1	2	3	4	5
10) 薬がなければ元気でいられない	1	2	3	4	5
11) 薬を飲み忘れると不安になる	1	2	3	4	5
12) 薬や治療について気になることをインターネットで調べている	1	2	3	4	5
13) 薬局で薬以外の相談をすることがある	1	2	3	4	5

【問 18】 災害についておうかがいします。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1) 平時の地域づくりは災害後の復興にも役立つ。

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない

2) 私の地域の周辺で、危険な河川や急傾斜地がどこにあるか知っている。

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない

3) 災害が起こったときにどうするか、家族や身近な人と話し合っている。

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない

4) 普段から、飲料水や非常食などを備蓄している。

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない

5) 今加入している保険（共済）があれば、生活を立て直すには十分だと思う。

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない

6) 地震が起こったとき、命を守る行動をとっさにとれる。

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない

7) 災害後に地域の町並みが変わることは受け入れられる。

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない

8) 避難所では、いろいろな役割を担ってみたい。

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない

9) 自力で避難が難しいとき、周りの人に助けを求めることができる。

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない

10) 避難生活中、自分や家族に配慮（授乳室や通路の拡張など）が必要なとき、周りの人に説明することができる。

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない

【問 19】 被災経験についておうかがいします。（5. 以外は、あてはまるすべてに○）

1. 自然災害により身近な人を失ったことがある
2. 自然災害により自宅に全壊判定または大規模半壊の被害を受けたことがある
3. 自然災害により1週間以上避難所で生活したことがある
4. 1～3以外の被災経験をした 5. 自然災害による被害を受けたことがない

【問 20】 災害について下記のようなイベントや話し合いに、過去3年ぐらいの間で参加しましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 避難訓練 2. 避難行動の助け合いの話し合い 3. 避難所の開設や運営の話し合い
4. 1.～3.には参加しない 5. 地域に1.～3.はない

【問 21】 あなたの家で災害への備えでしているものを教えてください（あてはまるすべてに○）。

1. 3日分以上のトイレ（おむつ含む） 2. 携帯電話などの予備電源 3. 家具の固定
4. 避難方法・経路の候補を決めている 5. 家族（別居含む）との災害時の避難場所を共有している

【問 22】新型コロナウイルス感染症（新型コロナ）流行後の生活についておうかがいします。

- 1) マスク着用が日常になったことについて、新型コロナ流行前と比較して対人コミュニケーションにどのような変化を感じていますか。

1. とても良い変化 2. やや良い変化 3. 変化を感じない 4. やや悪い変化 5. とても悪い変化

- 2) あなたは 2020 年の春から今までにかけて医療機関に行かずに電話などを使って診察を受けたことがありますか。薬をもらうことも含みます。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 歯科 2. 内科 3. 整形外科 4. 眼科 5. 精神科 6. その他 7. ない

【問 23】自治体や社会福祉協議会などの通いの場（サロン）への参加についておうかがいします。

注：通いの場（サロン）の名称は各市町で異なりますが、以下の問 23 の 3) に示した会のことを指します。

- 1) あなたはこの 1 年間に、いくつの通いの場（サロンなど）に参加しましたか。

1. 1つ 2. 2つ 3. 3つ 4. 4つ以上 5. 参加していたがやめた 6. 参加していない

次頁へ

- 2) 通いの場（サロン）への参加期間はどれくらいですか。複数参加している場合は最も長く参加している箇所についてお答えください。

1. 参加 1 年未満 2. 参加 1～2 年未満 3. 参加 2～3 年未満
4. 参加 3～4 年未満 5. 参加 4 年以上 6. 参加しているが期間は不明

- 3) 2) で回答したあなたの通いの場（サロン）での活動別の 1 ヶ月あたりの時間を教えてください。複数の通いの場（サロンなど）に参加している方は合計してお答えください。

(1) 体操

1. ほとんどなし 2. 1 時間未満 3. 1 時間 4. 2～3 時間 5. 4～5 時間 6. 6 時間以上

(2) 音楽（歌唱や演奏）

1. ほとんどなし 2. 1 時間未満 3. 1 時間 4. 2～3 時間 5. 4～5 時間 6. 6 時間以上

(3) 創作活動（手工芸など）

1. ほとんどなし 2. 1 時間未満 3. 1 時間 4. 2～3 時間 5. 4～5 時間 6. 6 時間以上

(4) 室内ゲーム（囲碁と将棋、麻雀やレクリエーションゲームなど）

1. ほとんどなし 2. 1 時間未満 3. 1 時間 4. 2～3 時間 5. 4～5 時間 6. 6 時間以上

(5) 脳トレーニング

1. ほとんどなし 2. 1 時間未満 3. 1 時間 4. 2～3 時間 5. 4～5 時間 6. 6 時間以上

(6) おしゃべり（お茶含む）

1. ほとんどなし 2. 1 時間未満 3. 1 時間 4. 2～3 時間 5. 4～5 時間 6. 6 時間以上

(7) 地域の子どもとの交流

1. ほとんどなし 2. 1 時間未満 3. 1 時間 4. 2～3 時間 5. 4～5 時間 6. 6 時間以上

【問18】あなたの歯や口腔内のケアについておうかがいします。

1) 最後に、「治療(入れ歯の調整も含む)」のために歯科医院に通院したのはいつですか。

1. 半年以内 2. 半年～1年前 3. 1～3年前 4. 3年以上前 5. いったことがない

2) 最後に、「治療以外(健診など)」で歯科医院に通院したのはいつですか。

1. 半年以内 2. 半年～1年前 3. 1～3年前 4. 3年以上前 5. いったことがない

3) どれくらいの頻度で歯みがきをしますか(人にやってもらう場合も含む)。

1. 1日3回以上 2. 1日2回 3. 1日1回 4. とときどきみがく 5. みがかない

4) あなたは、失った歯を1本元通りにするために、いくら支払いますか。

前歯部：()万円 臼歯部(奥歯)：()万円

5) あなたは過去6カ月以内に、歯が痛むことがありましたか。 —

1. はい 2. いいえ

6) 噛み合わせは良いですか。 —

1. はい 2. いいえ

7) 過去6カ月以内に、歯や歯ぐき、入れ歯の問題はありましたか(すべてに○)。

1. 食事をするのが困難だった 2. うまく話すことが難しかった
3. 歯を見せて笑ったり話したりするのをためらった
4. ふだんと違い気分がむしゃくしゃした(安定しなかった)
5. 家族、友人、近所の人など他人といることを楽しめなかった 6. 特に問題はなかった

8) 現在、ご自分の歯が何本ありますか。本数についてお答えください。

本

※親知らず、インプラントは含みません。

※一般に、親知らずの歯を除いた、成人の歯の数は28本です。

※総入れ歯の方は「0(ゼロ)」とご記入ください。

9) 入れ歯を使っている方は、毎日入れ歯の手入れをしていますか —

1. はい 2. いいえ

10) 歯ぐきの病気にかかっているかもしれないと思いますか。

1. はい 2. いいえ 3. 答えたくない 4. わからない

11) 自然と歯がぐらつくようになったことはありますか(怪我によるものは除きます)。

1. はい 2. いいえ 3. 答えたくない 4. わからない

12) 歯医者あるいは歯科衛生士から「歯のまわりの骨が失われている」と言われたことがありますか。

1. はい 2. いいえ 3. 答えたくない 4. わからない

13) ここ3カ月間で、歯ぐきから血が出たことはありますか。

1. まったくない 2. ほとんどない 3. 時々 4. しばしば 5. いつも

14) あなたは「オーラルフレイル」という言葉を知っていますか。

1. よく知っている 2. 名前は聞いたことがある 3. 知らない

【問19】「食欲」について、あなたが最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

1) 私は食欲が

1. まったくない 2. ない 3. ふつうだ 4. ある 5. とてもある

2) 普段、私は食事を

1. 1日1回もとらない	2. 1日1回とる	3. 1日2回とる
4. 1日3回とる	5. 1日4回以上とる	

3) 食事をとるとき

1. 数口食べただけで満腹になる	2. 3分の1ほど食べると満腹になる
3. 半分ほど食べると満腹になる	4. ほとんど食べれば満腹になる
5. 満腹になることはほとんどない	

4) 食べ物の味が

1. とてもまずいと感じる	2. まずいと感じる	3. ふつうだと感じる
4. おいしいと感じる	5. とてもおいしいと感じる	

【問20】体調やタバコについておうかがいします。

1) かぜをひいていないのに、たんがからんでせきをすることがありますか。

1. いつも	2. ほとんどいつも	3. 時々	4. まれに	5. ほとんどない
--------	------------	-------	--------	-----------

2) 走ったり、重い荷物を運んだりしたとき、同年代の人と比べて、息切れしやすいほうですか。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

3) この一年間で、走ったり、重い荷物を運んだりしたとき、ゼイゼイやヒューヒューを感じることはありませんでしたか。

1. いつも	2. ほとんどいつも	3. 時々	4. まれに	5. ほとんどない
--------	------------	-------	--------	-----------

4) これまでにタバコを吸ったことがありますか。現在、あなたが吸っている、もしくは、吸っていたタバコ製品について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 紙巻タバコ	2. 電子タバコ (ニコチン入り)	3. 電子タバコ (ニコチン無し、または不明)
4. 加熱式タバコ (プルームテック、アイコス、グローなど)	5. その他	6. 吸ったことはない

↓ 4) にて1～4と回答した方におたずねします。 → 次頁へ

5) あなたは1日に何本または何回タバコを吸っていますか、もしくは、吸っていましたか。タバコ製品それぞれについてお答えください。「時々吸っている」方は吸うときの1日での数をお答えください。

注) 加熱式タバコ、電子タバコを吸っている場合は吸って吐いてを繰り返す10分程度のひとまとまりの行為を1回とみなしてお答えください。現在も吸っている方は現在の本(回)数を、過去吸っていた方は最も多く吸っていた本(回)数をお答えください。

紙巻タバコ	<input type="text"/> 本/1日	加熱式タバコ	<input type="text"/> 回/1日	電子タバコ	<input type="text"/> 回/1日
-------	---------------------------	--------	---------------------------	-------	---------------------------

6) あなたは、何歳からタバコを吸っていますか。またやめた場合には何歳まで吸っていましたか。タバコ製品それぞれについてお答えください(現在も吸っている場合は右側の年齢は空白にしてください)。

紙巻タバコ	はじめた年齢	<input type="text"/> 歳	(やめた場合のみお答えください)	やめた年齢	<input type="text"/> 歳
加熱式タバコ	はじめた年齢	<input type="text"/> 歳	(やめた場合のみお答えください)	やめた年齢	<input type="text"/> 歳
電子タバコ	はじめた年齢	<input type="text"/> 歳	(やめた場合のみお答えください)	やめた年齢	<input type="text"/> 歳

【問18】あなたが住んでいる地域と住宅についておうかがいします。

1) あなたが日常生活や健康のために必要なことは、行政や民間のサービスによって、概ね提供されていますか。

1. そう思う 2. ややそう思う 3. どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全く思わない

2) 現在お住まいの住宅にどの程度満足していますか。

- 全く満足していない 完全に満足している
0点-----1点-----2点-----3点-----4点-----5点

3) 現在お住まいの住宅で困っていることとして、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 不便な場所にある 2. 地震、台風、大雨被害が不安 3. 住宅周囲での交通事故が不安
4. 住宅の防犯性能が不安 5. 老朽化で状態が悪い 6. 足腰が弱った時に住みづらい
7. 広すぎて管理が大変 8. 狭くて物の置き場がない 9. 暑さや寒さを防げない
10. 家賃や維持費が高い 11. その他 12. 特に不満や問題はない

【問19】あなたの生活や活動についてお聞かせください。

1-1) 自分にとって生活に必要な物やサービス（例：衣服、食事、住宅、医療・介護サービス、自分が快適に暮らすために必要な物品など）を、必要な時に購入することができますか。

1. はい 2. いいえ

1-2) 1-1) にて「いいえ」と回答した方におたずねします。その理由として、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 経済的な問題 2. 移動手段の問題 3. 家族やパートナーの介護などで時間がない
4. 身体的な問題 5. 購入できる場所を知らない 6. その他

2-1) 自分にとって重要だと思う活動（例：趣味、仕事、ボランティア、家族のサポート、勉強、宗教活動など）を実施することができますか。

1. はい 2. いいえ

2-2) 2-1) にて「いいえ」と回答した方におたずねします。その理由として、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 経済的な問題 2. 移動手段の問題 3. 家族やパートナーの介護などで時間がない
4. 身体的な問題 5. 実施できる場所を知らない 6. その他

【問20】あなたの身体状況についてお聞きします。

1) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

1. 介護・介助が必要 2. 介護・介助は必要ない

【問21】へ

↓ 1) で「1. 介護・介助が必要」とお答えした方にお聞きします。

2) 介護・介助が必要となった主な原因は何ですか（あてはまるものすべてに○）。

1. 脳卒中（脳出血・脳梗塞） 2. 心臓病 3. がん（悪性新生物）
4. 呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等） 5. 関節の病気（リウマチ等）
6. 認知症（アルツハイマー病等） 7. パーキンソン病 8. 糖尿病 9. 腎疾患(透析)
10. 視覚・聴覚障害 11. 骨折・転倒 12. 脊椎損傷 13. 高齢による衰弱 14. その他

3) 主にどなたの介助を受けていますか（あてはまるものすべてに○）。

1. 配偶者（夫・妻） 2. 息子 3. 娘 4. 子の配偶者 5. 孫
6. 兄弟・姉妹 7. 介護サービスのヘルパー 8. その他

【問 21】 あなたはこの1年間に、誰かから次のようなことをされた経験はありますか。

- 1) 殴られる、けられる、物を投げつけられる、とじこめられるなどの身体的暴行 1. はい 2. いいえ
- 2) 暴言を吐かれる、嫌味を言われる、長い間無視されるなどの自尊心を傷つけられる行為 1. はい 2. いいえ
- 3) あなたの預金や年金を、あなたの了解なしに使ったり取り上げたりされた（家族からも含む） 1. はい 2. いいえ

【問 22】 配偶者（またはパートナー）のいる方におうかがいします。

お宅の収入はどのように管理していますか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 自分がすべて管理し、配偶者（パートナー）には必要なだけ渡している
2. 配偶者（パートナー）がすべて管理し、自分は必要なだけもらっている
3. 収入はすべて共同で管理し、それぞれが必要なだけ持っていく
4. 収入の一部を共同で管理し、残りは2人が別々に持っている
5. 2人とも自分の収入は、自分で管理している 6. 子どもまたは後見人が管理している

【問 23】 ふだんの食事についておうかがいします。

- 1) あなたは次にあげる 10 食品群を週に何日ぐらい食べますか。ここ一週間ぐらいの様子についておうかがいします。

	ほとんど毎日	2日に1回	1週間に1～2回	ほとんど食べない
1. 魚介類（生鮮、加工品問わず）	1	2	3	4
2. 肉類（生鮮、加工品問わず）	1	2	3	4
3. 卵（魚卵は除く）	1	2	3	4
4. 牛乳・乳製品	1	2	3	4
5. 大豆・大豆製品（豆腐、納豆など）	1	2	3	4
6. 緑黄色野菜類	1	2	3	4
7. 果物類	1	2	3	4
8. 海藻類（生、乾問わず）	1	2	3	4
9. いも類	1	2	3	4
10. 油脂類（天ぷらやフライ、バター等）	1	2	3	4

- 2) あなたは緑茶（お茶を含む）をどのくらいの頻度で飲みますか。

1. （ほとんど）飲まない 2. 週1杯未満 3. 週1杯 4. 週2～3杯
5. 週4～6杯 6. 毎日1杯 7. 毎日2～3杯 8. 毎日4杯以上

- 3) あなたはコーヒーをどのくらいの頻度で飲みますか。

1. （ほとんど）飲まない 2. 週1杯未満 3. 週1杯 4. 週2～3杯
5. 週4～6杯 6. 毎日1杯 7. 毎日2～3杯 8. 毎日4杯以上

- 4) あなたのチーズのとりかたについておうかがいします。

- (1) チーズ（6ピースチーズの1ピース以上、スライスチーズ1枚以上）をどのくらい食べますか。

1. 週5回以上 2. 週3～4回 3. 週1～2回 4. ほとんど食べない

- (2) 主に食べているチーズの種類を1つ教えてください。

1. プロセスチーズ(スライスタイプ・ブロックタイプ・6ピースやさけるタイプなど)
2. フレッシュタイプ(カッテージ・クリームなど) 3. 白カビタイプ(カマンベールなど)
4. 青カビタイプ(ゴルゴンゾーラなど) 5. その他

【問18】あなたの家から徒歩圏内（約1km以内）の環境についておうかがいします。

1) 興味をひかれるもの（きれいな景観、楽しい景観）が多い

1. そう思わない 2. どちらかというと思わない 3. どちらかというと思う 4. そう思う

2) この1年間に平均してどのくらいの頻度で、水辺を訪れましたか。

水辺には、海、川、湖、池、屋外プール等の水ぎわや歩道を含みます。

1. ない 2. 年数回 3. 月1～2回 4. 週1回 5. 週2～3回 6. 週4～6回 7. 毎日

3) 水辺を訪れた方にお伺いします。水辺を訪れた際の主な活動は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 気分転換の散歩 2. 健康維持を目的としたウォーキング 3. 健康維持・気分転換以外の散歩
4. ジョギング 5. サイクリング 6. 景色の鑑賞
7. 他者との交流 8. 通勤や用事などの移動 9. その他

【問19】あなたの生活の範囲についておうかがいします。

1) この1か月間、あなたは「自宅で寝ている場所以外の部屋」に行きましたか。

1. はい 2. いいえ 3. 行けるけど行かなかった

→ 1-1) この1か月間で、上記生活空間に何回行きましたか。

1. 週1回未満 2. 週1～3回 3. 週4～6回 4. 毎日

→ 1-2) 上記生活空間に行くのに、杖などの補助具または特別な器具を使用しましたか。

1. はい 2. いいえ

→ 1-3) 上記生活空間に行くのに、他者の助けが必要でしたか。

1. はい 2. いいえ

2) この1か月間、「玄関外、ベランダ、中庭、（マンションの）廊下、車庫または敷地内の通路などの屋外」に出ましたか。

1. はい 2. いいえ 3. 行けるけど行かなかった

→ 2-1) この1か月間で、上記生活空間に何回行きましたか。

1. 週1回未満 2. 週1～3回 3. 週4～6回 4. 毎日

→ 2-2) 上記生活空間に行くのに、杖などの補助具または特別な器具を使用しましたか。

1. はい 2. いいえ

→ 2-3) 上記生活空間に行くのに、他者の助けが必要でしたか。

1. はい 2. いいえ

3) この1か月間、「自宅の庭またはマンションの建物以外の近隣の場所」に外出しましたか。

1. はい 2. いいえ 3. 行けるけど行かなかった

→ 3-1) この1か月間で、上記生活空間に何回行きましたか。

1. 週1回未満 2. 週1～3回 3. 週4～6回 4. 毎日

→ 3-2) 上記生活空間に行くのに、杖などの補助具または特別な器具を使用しましたか。

1. はい 2. いいえ

→ 3-3) 上記生活空間に行くのに、他者の助けが必要でしたか。

1. はい 2. いいえ

4) この1か月間、「近隣よりも離れた場所(ただし町内)」に外出しましたか。

1. はい 2. いいえ 3. 行けるけど行かなかった

→ 4-1) この1か月間で、上記生活空間に何回行きましたか。

1. 週1回未満 2. 週1～3回 3. 週4～6回 4. 毎日

→ 4-2) 上記生活空間に行くのに、杖などの補助具
または特別な器具を使用しましたか。

1. はい 2. いいえ

→ 4-3) 上記生活空間に行くのに、
他者の助けが必要でしたか。

1. はい 2. いいえ

5) この1か月間、「町外」に外出しましたか。

1. はい 2. いいえ 3. 行けるけど行かなかった

→ 5-1) この1か月間で、上記生活空間に何回行きましたか。

1. 週1回未満 2. 週1～3回 3. 週4～6回 4. 毎日

→ 5-2) 上記生活空間に行くのに、杖などの補助具
または特別な器具を使用しましたか。

1. はい 2. いいえ

→ 5-3) 上記生活空間に行くのに、
他者の助けが必要でしたか。

1. はい 2. いいえ

6) 外出を控えていますか。 ———— 1. はい 2. いいえ ———— → 問20へおすすみください

7) 6)で「はい」と答えた方にお聞きします。外出を控えている理由はどれですか。あてはまるもの
すべてに○をつけてください。

1. 病気 2. 障害(脳卒中の後遺症など) 3. 足腰などの痛み 4. トイレの心配
5. 耳の障害(聞こえの問題など) 6. 目の障害 7. 外での楽しみがない
8. 経済的に出られない 9. 交通手段がない 10. 新型コロナウイルス 11. その他

【問20】転居の経験とその理由についておうかがいします。

1) 過去3年間のうち、転居された経験はありますか。 ———— 1. 転居なし 2. 転居あり

2) 転居された方にお伺いします。転居の理由について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 以前の家に住めなくなったため 2. 住みたい家が見つかったため 3. 街中の便利な所に住むため
4. 高齢者向け住宅に住むため 5. 家族や友人等との同居や近居のため 6. 他の理由

【問21】「公共交通運賃割引券(敬老パス・シルバーパスなど)」についておうかがいします。

注:自治体によっては、路線バスや電車などの運賃が割引になる「公共交通運賃割引券」制度があります。

1) あなたが住んでいる自治体に、「公共交通運賃割引券」制度はありますか。

1. ある 2. ない 3. 制度があるかどうか知らない

→ 2-1) 「公共交通運賃割引券」制度を利用したいと思いますか。

1. 制度があれば利用したい 2. 利用したいと思っただけ

2-2) あなたは現在「公共交通運賃割引券」制度を利用していますか。

1. 現在利用している 2. 過去には利用していたが、現在は利用していない
3. これまで利用したことがない

【問18】 運動・スポーツ（散歩やウォーキングを含む）の実施状況についておうかがいします。

1) この1年間に運動やスポーツ（散歩やウォーキングを含む）を実施した日数を全部合わせると、何日くらいになりますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 年261日以上（週に5日以上） | 2. 年151～260日（週に3日以上） |
| 3. 年101～150日（週に2日以上） | 4. 年51～100日（週に1日以上） |
| 5. 年12～50日（月に1～3日） | 6. 年4～11日（3か月に1～2日） |
| 7. 年に1～3日 | 8. 実施しなかった |

2-1) 以下の項目のうち、今の自分に最もあてはまるものはどれですか。

なお、「**定期的**」とは**1回20分以上の運動・スポーツを週1回以上**行うことです。

- | |
|--|
| 1. 私は現在、運動・スポーツをしていない。また、これから先も運動・スポーツをするつもりはない |
| 2. 私は現在、運動・スポーツをしていない。しかし近い将来（6カ月以内）に始めようとは思っている |
| 3. 私は現在、運動・スポーツをしている。しかし、定期的ではない |
| 4. 私は現在、定期的に運動・スポーツをしている。しかし、始めてから6カ月以内である |
| 5. 私は現在、定期的に運動・スポーツをしている。また、6カ月以上継続している |

2-2) 2-1) にて3. 4. 5. のいずれかを選んだ方のみお答えください。運動・スポーツはだれと行うことが多いですか。

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. ほとんど1人 | 2. どちらかといえば1人 |
| 3. どちらかといえば家族・友人・知人 | 4. ほとんど家族・友人・知人 |

【問19】 運動・スポーツの観戦やボランティア活動についておうかがいします。

1) あなたはこの1年間に平均してどのくらいの頻度で、**直接現地**でスポーツを観戦しましたか。プロのスポーツに限らず、地域のスポーツクラブ・団体や部活動などの観戦も含みます。

- | | | | |
|----------|----------|---------|------------|
| 1. 週1回以上 | 2. 月1～3回 | 3. 年に数回 | 4. 観戦していない |
|----------|----------|---------|------------|

2) あなたはこの1年間に平均してどのくらいの頻度で、**プロスポーツを直接現地（スタジアム・アリーナなど）**で観戦しましたか。

- | | | | |
|----------|----------|---------|------------|
| 1. 週1回以上 | 2. 月1～3回 | 3. 年に数回 | 4. 観戦していない |
|----------|----------|---------|------------|

2-1) それは、どのプロスポーツリーグですか。あてはまるもの**すべてに○**をつけてください。

- | | | |
|-----------------|-----------------------|--------------------|
| 1. 野球（プロ野球リーグ） | 2. サッカー（Jリーグ） | 3. バasketボール（Bリーグ） |
| 4. バレーボール（Vリーグ） | 5. ラグビー（トップリーグ、リーグワン） | 6. その他 |

3) あなたはこの1年間に平均してどのくらいの頻度で、**テレビやインターネット**でスポーツを観戦しましたか。プロスポーツに限らず、地域のスポーツクラブ・団体や部活動などの観戦も含みます。（ニュースで映像を少し見たなどは除きます）

- | | | | |
|----------|----------|---------|------------|
| 1. 週1回以上 | 2. 月1～3回 | 3. 年に数回 | 4. 観戦していない |
|----------|----------|---------|------------|

4) あなたはこの1年間に平均してどのくらいの頻度で、スポーツの指導やスポーツ大会の運営、自身や家族が所属するスポーツクラブの手伝い（練習や大会での参加者の送迎、参加者の飲料や弁当の準備など）など運動・スポーツに関するボランティア活動を行いましたか。

- | | | | |
|----------|----------|---------|-----------|
| 1. 週1回以上 | 2. 月1～3回 | 3. 年に数回 | 4. 行っていない |
|----------|----------|---------|-----------|

【問 20】以下の質問を読んで、それぞれ最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

1) ものごとがはっきりしないとき、私はたいてい最も良い結果を予想する。

- | | | |
|---------------|------------------|--------------|
| 1. 非常にあてはまる | 2. どちらかというにあてはまる | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまりあてはまらない | 5. 全くあてはまらない | |

2) 何か悪いことが起こりそうな時、たいていの場合は起こってしまう。

- | | | |
|---------------|------------------|--------------|
| 1. 非常にあてはまる | 2. どちらかというにあてはまる | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまりあてはまらない | 5. 全くあてはまらない | |

3) わたしはいつも、自分の未来について楽観的である。

- | | | |
|---------------|------------------|--------------|
| 1. 非常にあてはまる | 2. どちらかというにあてはまる | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまりあてはまらない | 5. 全くあてはまらない | |

4) わたしはものごとが、自分の思いどおりになると期待することはめったにない。

- | | | |
|---------------|------------------|--------------|
| 1. 非常にあてはまる | 2. どちらかというにあてはまる | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまりあてはまらない | 5. 全くあてはまらない | |

5) わたしは、自分によいことが起こることを、めったに当てにしない。

- | | | |
|---------------|------------------|--------------|
| 1. 非常にあてはまる | 2. どちらかというにあてはまる | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまりあてはまらない | 5. 全くあてはまらない | |

6) 全体的にみて、わたしは自分には悪いことよりも、良いことの方がたくさん起こると思っている。

- | | | |
|---------------|------------------|--------------|
| 1. 非常にあてはまる | 2. どちらかというにあてはまる | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまりあてはまらない | 5. 全くあてはまらない | |

【問 21】あなたは下記のような場面で、声を出して笑う機会はどのくらいありますか。

1) 友人と話をしているとき

- | | | | |
|---------|-------------|-------------|-----------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に1～3回程度 | 3. 月に1～3回程度 | 4. ほとんどない |
|---------|-------------|-------------|-----------|

2) 夫婦やパートナーと話をしているとき

- | | | | |
|---------|-------------|-------------|-----------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に1～3回程度 | 3. 月に1～3回程度 | 4. ほとんどない |
|---------|-------------|-------------|-----------|

3) 子どもや孫と接しているとき

- | | | | |
|---------|-------------|-------------|-----------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に1～3回程度 | 3. 月に1～3回程度 | 4. ほとんどない |
|---------|-------------|-------------|-----------|

4) 職場の上司や部下、同僚と話をしているとき

- | | | | |
|---------|-------------|-------------|-----------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に1～3回程度 | 3. 月に1～3回程度 | 4. ほとんどない |
|---------|-------------|-------------|-----------|

【問 22】生きがいについてお聞きします。

生きがいはありますか。

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 生きがいあり | 2. 思いつかない |
|-----------|-----------|

【問18】最近1年間での痛みの経験についておうかがいします。

1) 過去1年間に1日以上続く腰痛(右下の図で塗りつぶした部位の痛み)がありましたか。
ただし、発熱を伴った疾患時の痛みは除きます。

1. ある(あった) 2. ない(なかった)



▶ 1-1) 腰の痛みがある方は、どれくらいの期間痛みがありましたか。

1. 1か月未満 2. 1か月以上、3か月未満 3. 3か月以上

▶ 1-2) その痛みの強さは0から10の尺度であらわすとどの程度でしたか(あてはまる1つに○)。

痛みが全くない状態

想像できる最悪の痛み
(これ以上我慢できない痛み)

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

▶ 1-3) その痛みのために普段やっていることが出来なかったり、制限されたことはありますか。

1. はい 2. いいえ

2) 過去1年間に1日以上続く膝(ひざ)の痛み(右下の図で塗りつぶした部位の痛み)がありましたか。

1. ある(あった) 2. ない(なかった)



▶ 2-1) 膝の痛みがある方は、どれくらいの期間痛みがありましたか。

1. 1か月未満 2. 1か月以上、3か月未満 3. 3か月以上

▶ 2-2) その痛みの強さは0から10の尺度であらわすとどの程度でしたか(あてはまる1つに○)。

痛みが全くない状態

想像できる最悪の痛み
(これ以上我慢できない痛み)

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

▶ 2-3) その痛みのために普段やっていることが出来なかったり、制限されたことはありますか。

1. はい 2. いいえ

3) 過去1年間に以下の部位に3か月以上続く痛みがありましたか(あてはまる番号すべてに○)。

1. ない 2. 首 3. 背中 4. 肩 5. 肘^{ひじ} 6. 手首 7. 手の指 8. 股関節 9. 足首 10. 足の指

【問19】現在のお体の症状についておうかがいします。

1) 太ももからふくらはぎやすねにかけて、しびれや痛みがある。

1. はい 2. いいえ

2) しびれや痛みはしばらく歩くと強くなり、休むと楽になる。

1. はい 2. いいえ

3) しばらく立っているだけで、太ももからふくらはぎやすねにかけて、しびれたり痛くなる。

1. はい 2. いいえ

4) 前かがみになると、しびれや痛みは楽になる。

1. はい 2. いいえ

【問 20】若い頃と比べると身長が何 cm 縮みましたか。下の選択肢から、1つ選んでください。

1. 変わらない 2. 1 cm 3. 2 cm 4. 3 cm 5. 4 cm 以上 6. わからない

【問 21】以下の中で、医師による診断を受け、現在も治療中の病気はありますか。（すべてに○）

1. 関節リウマチ 2. 骨粗しょう症（骨粗しょう症による骨折を含む）
3. 変形性膝関節症 4. 腰部脊柱管狭窄（ようぶせきちゅうかんきょうさく）症
5. 頸髄（けいずい）症 6. 1～5の病気はない

【問 22】あなたの今日の健康状態についておうかがいします。

1) 「移動の程度」はどれにあてはまりますか。

1. 歩き回るのに問題はない 2. 歩き回るのに少し問題がある 3. 歩き回るのに中程度の問題がある
4. 歩き回るのにかなり問題がある 5. 歩き回ることができない

2) 「身の回りの管理（自分で身体を洗ったり着替えをすること）」はどれにあてはまりますか。

1. 問題はない 2. 少し問題がある 3. 中程度の問題がある
4. かなり問題がある 5. 自分で身体を洗ったり着替えをすることができない

3) 「ふだんの活動（例：仕事、勉強、家事、家族・余暇活動）」はどれにあてはまりますか。

1. 問題はない 2. 少し問題がある 3. 中程度の問題がある
4. かなり問題がある 5. ふだんの活動を行うことができない

4) 「痛み／不快感」はどれにあてはまりますか。

1. 痛みや不快感はない 2. 少し痛みや不快感がある 3. 中程度の痛みや不快感がある
4. かなり痛みや不快感がある 5. 極度の痛みや不快感がある

5) 「不安／ふさぎ込み」はどれにあてはまりますか。

1. 不安でもふさぎ込んでもいない 2. 少し不安あるいはふさぎ込んでいる
3. 中程度に不安あるいはふさぎ込んでいる 4. かなり不安あるいはふさぎ込んでいる
5. 極度に不安あるいはふさぎ込んでいる

【問 23】日常生活の活動についておうかがいします。

1) 1日3食きちんと食べていますか。	1. はい 2. いいえ
2) 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか。	1. はい 2. いいえ
3) ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか。	1. はい 2. いいえ
4) ふだんから家族や友人と付き合いがありますか。	1. はい 2. いいえ
5) 体調が悪いときに、身近に相談できる人がいますか。	1. はい 2. いいえ

	第8期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査	第9期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査
神戸 問 1	<p>【神戸-問1】認知症「神戸モデル」についてうかがいます。 (1)市民の方が認知症の診断を受けるのにかかる費用を補助する制度設けています。この制度を知っていますか(○は1つ)</p> <p>(1) 1. よく知っている 2. だいたい知っている 3. 聞いたことはあるが、内容はわからない 4. 知らない</p>	<p>【神戸-問1】認知症神戸モデルについてうかがいます。 (1)市民の方が認知症の診断を受けるのにかかる費用を補助する制度(診断助成制度)を設けています。この制度を知っていますか(○は1つ)</p> <p>1. よく知っている 2. だいたい知っている 3. 聞いたことはあるが、内容はわからない 4. 知らない</p>
神戸 問 1	<p>(2) 上記(1)で1~3のいずれかを選択した方にうかがいます。診断助成制度を何で知りましたか(○はいくつでも)</p> <p>1. 広報紙KOBE 2. ホームページ 3. 新聞・テレビ 4. 駅などにある公共広告・ポスター・リーフレット 5. 医療機関</p> <p>(2) 6. こうべオレンジダイヤル(認知症の総合電話相談窓口) 7. ケアマネジャー 8. あんしんすこやかセンター(地域包括支援センター) 9. 市の説明会・講演 10. 家族や知り合いから聞いた 11. 市からの郵便物(75歳以上の方のみ) 12. その他</p>	<p>同左</p>
神戸 問 1	<p>(3)あなたは、事故救済制度(※)を知っていますか ※認知症と診断された人が起こした事故・事案に対して補償する制度(○は1つ)</p> <p>(3) 1. よく知っている 2. だいたい知っている 3. 聞いたことはあるが、内容はわからない 4. 知らない</p>	<p>(3)あなたは、事故救済制度(※)を知っていますか。(○は1つ) ※認知症と診断された人が起こした事故・事案に対して補償する制度</p> <p>1. よく知っている 2. だいたい知っている 3. 聞いたことはあるが、内容はわからない 4. 知らない</p>
神戸 問 1	<p>(4)認知症に関する心配ごとは、誰に相談していますか。 (○はいくつでも)</p> <p>1. 家族・親族 2. 友人・知人 3. 区役所 4. こうべオレンジダイヤル(認知症の総合電話相談窓口) 5. ケアマネジャー 6. あんしんすこやかセンター(地域包括支援センター)</p> <p>(4) 7. 介護サービス事業者 8. 社会福祉士などの福祉関係者 9. 医師 10. 看護師、薬剤師などの医療関係者 11. 民生委員 12. その他 13. 誰にも相談していない 14. わからない</p>	<p>(4)認知症に関する心配ごとは、誰に相談していますか。 (○はいくつでも)</p> <p>1. <u>心配ごとはない</u> 2. 家族・親族 3. 友人・知人 4. 区役所 5. こうべオレンジダイヤル(認知症の総合電話相談窓口) 6. ケアマネジャー 7. あんしんすこやかセンター(地域包括支援センター) 8. 介護サービス事業者 9. 社会福祉士などの福祉関係者 10. 医師 11. 看護師、薬剤師などの医療関係者 12. 民生委員 13. その他 14. 誰にも相談していない 15. わからない</p>

	第8期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査	第9期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査
神戸 問2	<p>【神戸-問2】フレイル(※)について知っていますか。(○は1つ) ※病気ではないが、年齢とともに、心身の機能が低下し、介護が必要になりやすい虚弱な状態のこと。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.よく知っており、予防活動をしている 2.知っているが、予防活動をしていない 3.聞いたことはあるが、内容はわからない 4.知らないが、健康には気をつけている 5.知らない 	同左
神戸 問3	<p>【神戸-問3】かかりつけ医師等についてうかがいます。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①かかりつけ医師はいますか。 1.いる 2.いいえ ②かかりつけ歯科医はいますか。 1.いる 2.いいえ ③かかりつけ薬局はありますか。 1.いる 2.いいえ 	同左
神戸 問4	<p>【神戸-問4】あなたがボランティアに参加するため、もしくは、参加されているあなたが今以上に参加するためには、どのような条件が満たされている必要がありますか。(上位3つに○をつけてください)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 時間や期間にあまりしばられない 2. 身近なところで活動できる 3. 気軽に参加できそうな活動がある 4. 身体的な負担が少ない 5. 友人等と一緒に参加できる 6. 金銭的な負担が少ない 7. 活動情報の提供がある 8. 適切な指導者やリーダーがいる 9. その他 10. どのような条件が満たされても参加できない 11. わからない 	<p>【神戸-問4】KOBESニア元気ポイント(※)について知っていますか。(○は1つ) ※ボランティアに参加すればポイントが付与され、そのポイントに応じて特典が得られる制度</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.よく知っており、活動をしている 2.知っているが、活動をしていない 3.聞いたことはあるが、内容はわからない 4.知らないが、興味はある 5.知らない
神戸 問5	<p>【神戸-問5】ボランティアポイント制度(※)があれば、ボランティアに参加したり、参加されている方は今以上に参加しようと思いませんか。(○は1つ) ※ボランティアに参加すればポイントが付与され、そのポイントに応じて特典が得られる制度</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.ぜひ参加したい・今まで以上に参加する 2.参加したい・今までと変わらず参加する 3.参加するかわからない 4.参加しない 	削除(上記に統合)
神戸 問6	<p>【神戸-問6】日常生活(買い物、通院など)以外で、あなたが外出する際の主な目的は何ですか。(○はいくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 仕事やボランティア活動のため 2. 近所づきあいのため 3. 体を動かす趣味(散歩、登山、ゴルフ、ジョギング、ウォーキング等)のため 4. それ以外の趣味(囲碁、将棋、カラオケ、写真、俳句、ドライブ等)のため 5. 夏祭りや花見など、地域でのイベントや季節行事へ参加するため 6. 美術館での絵画鑑賞や、オーケストラの音楽鑑賞などの芸術鑑賞のため 7. スポーツ観戦のため 8. 家族や友人との趣味の買い物や会食のため 9. その他 10. 日常生活以外に外出はしない 	<p>【神戸-問6】日常生活(買い物、通院など)以外で、あなたが外出する際の主な目的は何ですか。(○はいくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 仕事やボランティア活動のため 2. 近所づきあいのため 3. 体を動かす趣味(散歩、登山、ゴルフ、ジョギング、ウォーキング等)のため 4. それ以外の趣味(囲碁、将棋、カラオケ、写真、俳句、ドライブ、学習活動等)のため 5. 夏祭りや花見など、地域でのイベントや季節行事へ参加するため 6. 美術館での絵画鑑賞や、オーケストラの音楽鑑賞などの芸術鑑賞のため 7. スポーツ観戦のため 8. 家族や友人との趣味の買い物や会食のため 9. その他 10. 日常生活以外に外出はしない

		第8期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査	第9期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査
神戸 問 7	(1)	【神戸-問7】あなたには64歳以下の同居する家族がいますか。(○は1つ) 1.はい 2.いいえ →【神戸-問8へ】	同左
神戸 問 7	(2)	※上記で「はい」とお答えの方にうかがいます。 64歳以下の同居する家族に以下の状態にあてはまる方はいますか。(○は1つ) 1.ほとんど外出せずに趣味の用事のときだけ外出する状態が6か月以上続いている 2.ほとんど外出せずに近所のコンビニなどにだけ外出する状態が6か月以上続いている 3.自室からは出るが家からは出ない状態が6か月以上続いている 4.自室からはほとんど出ない状態が6か月以上続いている 5.6か月以上ではないが、1～4の状態が続いている 6.わからない 7.いない	同左
神戸 問 7	(3)	※上記で「1～5」とお答えの方は、その方の年齢を教えてください。(歳)	同左
神戸 問 8	(1)	【神戸-問8】介護保険料についてうかがいます。 (1)あなたの介護保険料の段階は何段階ですか。(段階) ※保険料の段階は、6月(今年65歳になった方や、市外から転入されてきた方はそれ以降)に神戸市から郵送された「介護保険料のお知らせ(納入通知書)」に記載されています。	同左
神戸 問 8	(2)	(2)介護保険料は、国・県・市が全体の50%を負担し、残りを40歳以上の方々が負担する仕組みとなっています。介護保険サービスを充実させると、介護保険料が高くなります。今後の介護保険料について、あなたのお考えに最も近いものはどれですか。(○は1つ) 1. 介護保険サービスの内容の見直しやサービスを利用した人の負担を増やすことなどにより、介護保険料を抑制すべき 2. 介護保険サービスの現状を維持する(高齢化が進む分だけ介護保険料は高くなる) 3. 介護保険サービスをさらに充実させる。それにより、介護保険料がより高くなっても仕方がない。	同左

資料4-4

第8期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査		第9期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査
介護サービスについてのアンケート		
在宅高齢者実態調査		
0 アンケートの記入者、続柄、調査不能理由		
0	問A このアンケートの記入者は、次のうちどれにあてはまりますか。(○は1つ) 1. 本人が記入、回答 →問1へ 2. 本人以外の方が、本人に代わって回答できる →問Bへ 3. 本人に代わって記入できる人はいない →問Cへ	同左
0	問B ※問Aで「2」と回答した方へ 問B 記入者の、ご本人からみた続柄をお答えください。(○は1つ) 1. 配偶者(夫または妻) 2. 子ども 3. 子どもの配偶者 4. その他(具体的に) →問1へ	同左
0	問C ※問Aで「3」と回答した方へ 問C このアンケートに回答できない理由は、次のうちどれですか。(○は1つ) なお、問1以降の質問への回答は不要です。 調査票は同封の封筒(切手は不要です)でご返送ください。 1. 本人が病院に入院中で、本人の意向がわからない 2. 本人が介護保険施設などに入所中で、本人の意向がわからない(特別養護老人ホーム・老人保健施設・養護老人ホーム・有料老人ホームなど) 3. 認知症等があり、本人の意思がわからない 4. 本人はすでに転居している 5. 本人はすでに死亡している 6. その他(具体的に)	同左
1 最初にあなた自身(封筒のあて名のご本人)のことについておうかがいします。(対象者の基本属性等)		
1	問1 封筒のあて名のご本人(以下「あなた」)についておうかがいします。 (1)あなたの年齢、性別をお答えください。 ◇年齢 満()歳(令和2年1月1日現在) ◇性別(○は1つ) 1. 男性 2. 女性 ◇身長()cm ◇体重()kg	問1 封筒のあて名のご本人(以下「あなた」)についておうかがいします。 (1)あなたの年齢、性別をお答えください。 ◇年齢 満()歳(令和 年 月 日現在) ◇性別(○は1つ) 1. 男性 2. 女性 3. その他 ◇身長()cm ◇体重()kg

		第8期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査	第9期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査
1	問1	<p>(2)あなたの現在の住所をお答えください。(○は1つ)</p> <p>1. 東灘区 2. 灘区 3. 中央区 4. 兵庫区</p> <p>5. 北区(下記のアカイのどちらに該当するか○をつけてください)</p> <p>ア 本区(下記以外)</p> <p>イ 北神区役所地域</p> <p>道場町、長尾町、鹿の子台北町、鹿の子台南町、上津台、赤松台、大沢町、菖蒲が丘、西山、京地、藤原台北町、藤原台中町、藤原台南町、有野台、有野中町、東有野台、有野町二郎、有野町有野、八多町、淡河町、有馬町、唐櫃台、唐櫃六甲台、東大池、有野町唐櫃</p> <p>6. 長田区</p> <p>7. 須磨区(下記のアカイのどちらに該当するか○をつけてください)</p> <p>ア 本区(下記以外)</p> <p>イ 北須磨支所区域</p> <p>神の谷1~7丁目、北落合1~6丁目、車、清水台、白川、白川台1~7丁目、菅の台1~7丁目、多井畑(渋人谷上、渋人谷下、地獄谷、東山ノ上)、道正台1丁目、友が丘1~9丁目、中落合1~4丁目、西落合1~7丁目、東落合1~3丁目、東白川台1~5丁目、緑が丘1~2丁目、緑台、南落合1~4丁目、妙法寺(但し、次の字名は除く。アチロ、円満林(2番地の1~2番地の235、6番地の1~6番地の33)、榎原、口ノ川、兀山(1番地~6番地の6)、三ツ滝)、弥栄台1~5丁目、横尾1~9丁目、竜が台1~7丁目、若草町1~3丁目</p> <p>8. 垂水区 9. 西区</p>	<p>(2)あなたの現在の住所をお答えください。(○は1つ)</p> <p>1. 東灘区 2. 灘区 3. 中央区 4. 兵庫区</p> <p>5. 北区(下記のアカイのどちらに該当するか○をつけてください)</p> <p>ア 本区(下記以外)</p> <p>イ 北神区役所地域</p> <p>道場町、長尾町、鹿の子台北町、鹿の子台南町、上津台、赤松台、大沢町、菖蒲が丘、西山、京地、藤原台北町、藤原台中町、藤原台南町、有野台、有野中町、東有野台、有野町二郎、有野町有野、八多町、淡河町、有馬町、唐櫃台、唐櫃六甲台、東大池、有野町唐櫃</p> <p>6. 長田区</p> <p>7. 須磨区(下記のアカイのどちらに該当するか○をつけてください)</p> <p>ア 本区(下記以外)</p> <p>イ 北須磨支所区域</p> <p>神の谷、北落合、車、清水台、白川、白川台、菅の台、多井畑(渋人谷上、渋人谷下、地獄谷、東山ノ上)、道正台、友が丘、中落合、西落合、東落合、東白川台、緑が丘、緑台、南落合、妙法寺(但し、次の字名は除く。アチロ、円満林(2番地の1~2番地の235、6番地の1~6番地の33)、榎原、口ノ川、兀山(1番地~6番地の6)、三ツ滝)、弥栄台、横尾、竜が台、若草町</p> <p>8. 垂水区 9. 西区</p>
1	問1	<p>(3)今回の調査では、日常生活圏域(概ね中学校区)ごとの地域の特性を調査することになっています。現在の住所の町名までお答えください。</p> <p>()町・通・台()丁目・字</p> <p><記載例></p> <p>(下 山 手)町・通・台(3)丁目・字</p> <p>(山 田)町・通・台(原 野)丁目・字</p>	同左
1	問1	<p>(4)家族構成をお教えてください。(○は1つ)</p> <p>1. 1人暮らし</p> <p>2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)</p> <p>3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)</p> <p>4. 息子・娘との2世帯</p> <p>5. その他</p>	<p>(4)家族構成をお教えてください。(○は1つ)</p> <p>1. 1人暮らし</p> <p>2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)</p> <p>3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)</p> <p>4. 息子・娘世帯(単身世帯を含む)との2世帯</p> <p>5. その他(具体的に)</p>
1	問1	<p>(5)あなたは、現在歩いて15分以内くらいの距離に住んでいる親族の方はいらっしゃいますか。(○はいくつでも)</p> <p>1. 子ども(息子・娘)</p> <p>2. 孫</p> <p>3. 兄弟姉妹</p> <p>4. その他(具体的に)</p> <p>5. いない</p>	同左
1	問1	<p>(6)あなたの要介護度は、次のどれにあてはまりますか。(令和2年1月1日現在)(○は1つ)</p> <p>1. 要支援1 2. 要支援2</p> <p>3. 要介護1 4. 要介護2 5. 要介護3</p> <p>6. 要介護4 7. 要介護5 8. わからない</p>	同左

		第8期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査	第9期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査
1	問1	<p>(7)あなたは、次にあげる手帳類を所持していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 身体障害者手帳（等級： 級） 2. 療育手帳 3. 精神障害者保健福祉手帳 4. 特定疾患医療受給者証 5. 被爆者健康手帳 6. その他行政が発行する手帳類（健康手帳は除く） (具体的に) 7. 何も所持していない 	同左
1	問2	<p>問2 あなたの現在のお住まいは、次のうちどれにあてはまりますか。(○は1つ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 持ち家(一戸建) 2. 持ち家(分譲マンション) 3. 賃貸住宅(一戸建) 4. 賃貸住宅(マンション・アパートなど集合住宅) 5. 市営住宅・県営住宅 6. UR都市機構、公社の賃貸住宅 7. サービス付高齢者向け住宅 8. 特別養護老人ホーム 9. 介護老人保健施設 10. 介護療養型医療施設(療養病床) 11. 介護医療院 12. グループホーム 13. 有料老人ホーム 14. ケアハウス(軽費老人ホーム) 15. その他(具体的に) 	<p>問2 あなたの現在のお住まいは、次のうちどれにあてはまりますか。(○は1つ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 持ち家(一戸建) 2. 持ち家(分譲マンション) 3. 賃貸住宅(一戸建) 4. 賃貸住宅(マンション・アパートなど集合住宅) 5. 市営住宅・県営住宅 6. UR都市機構、公社の賃貸住宅 7. サービス付高齢者向け住宅 8. 有料老人ホーム 9. その他(具体的に)
1	問3	<p>問3 あなたの世帯全員の年間収入の合計額はどのくらいですか。(○は1つ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 50万円未満 2. 50万円～100万円未満 3. 100万円台 4. 200万円台 5. 300万円台 6. 400万円台 7. 500万円台 8. 600万円台 9. 700万円台 10. 800万円台 11. 900万円以上 12. 1,000万円～2,000万円未満 13. 2,000万円以上 14. その他(具体的に) 	同左
1	問4	<p>問4 あなた(配偶者がおられる場合はあなた方ご夫婦)の貯蓄(預貯金、信託、債権、株式、保険など)の総額は、およそどれくらいになりますか。(○は1つ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 貯蓄はない 2. 100万円未満 3. 100万円～200万円未満 4. 200万円～300万円未満 5. 300万円～500万円未満 6. 500万円～700万円未満 7. 700万円～1,000万円未満 8. 1,000万円～2,000万円未満 9. 2,000万円～3,000万円未満 10. 3,000万円～5,000万円未満 11. 5,000万円以上 12. わからない 	同左

		第8期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査	第9期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査
1	問5	問5 要支援1・要支援2の方におたずねします。 現在の暮らしの状況を経済的にみて、どう感じていますか。 (○は1つ) 1. 大変苦しい 2. やや苦しい 3. ふつう 4. ややゆとりがある 5. 大変ゆとりがある	同左
2		健康のことや介護予防のことについておたずねします。	
2	問6	問6 健康について (1)現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ) 1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない	同左
2	問6	(2)要支援1・要支援2の方におたずねします。 フレイル(※)について知っていますか。(○は1つ) ※フレイルとは、病気ではないが、年齢とともに、心身の機能が低下し、介護が必要になりやすい虚弱な状態のこと。 1.よく知っており、予防を心掛けている 2.知っているが、特に何もしていない 3.聞いたことはあるが、内容はわからない 4.知らないが、健康には気をつけている 5.知らない	同左
2	問6	(3)要支援1・要支援2の方におたずねします。 あなたは、現在どの程度幸せですか(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください。)(○は1つ) とても不幸0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点とても幸せ	同左
2	問6	(4)要支援1・要支援2の方におたずねします。 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○は1つ) 1. はい 2. いいえ	同左
2	問6	(5)要支援1・要支援2の方におたずねします。 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つ) 1. はい 2. いいえ	同左
2	問6	(6)要支援1・要支援2の方におたずねします。 タバコは吸っていますか。(○は1つ) 1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている 3. 5年以内にやめて、今は吸っていない 4. 5年以上前にやめて、今は吸っていない 5. もともと吸わない	(6)要支援1・要支援2の方におたずねします。 タバコは吸っていますか。(加熱式タバコ、電子タバコ等を含みます)(○は1つ) 1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている 3. 5年以内にやめて、今は吸っていない 4. 5年以上前にやめて、今は吸っていない 5. もともと吸わない

		第8期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査	第9期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査
2	問7	問7 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか(○はいくつでも) 1. ない 2. 高血圧 3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 4. 心臓病 5. 糖尿病 6. 高脂血症(脂質異常) 7. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等) 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 9. 腎臓・前立腺の病気 10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) 11. 外傷(転倒・骨折等) 12. がん(悪性新生物) 13. 血液・免疫の病気 14. うつ病 15. 認知症(アルツハイマー病等) 16. パーキンソン病 17. 目の病気 18. 耳の病気 19. その他(具体的に)	同左
2	問8	問8 通院のことについておたずねします。現在、病院・医院(診療所、クリニック)に通院していますか。(○は1つ) 1. はい 2. いいえ	同左
2	問9	問9 ご自宅での医療についておうかがいします (1)ご自宅で、医師、歯科医師、歯科衛生士、薬剤師、看護師、管理栄養士、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士による治療や指導を受けていますか。(○は1つ) 1. はい →(2)(3)へ 2. いいえ →問10へ	同左
2	問9	(2)(1)で「1」と回答した方におたずねします。 次の表の当てはまる場所に○を記入してください。(○はいくつでも)	同左
2	問9	区分 利用の程度 医師:月に1回 月に2回 週に1回 週に2回 それ以上 (複数の医師が来る場合は利用の程度は合計してください) 何科の医師が来ますか(○はいくつでも) 1. 内科 2. 外科 3. 整形外科 4. 眼科 5. 皮膚科 6. 耳鼻いんこう科 7. 精神科 8. その他 9. わからない 歯科医師:月に1回 月に2回 週に1回 週に2回 それ以上 歯科衛生士:月に1回 月に2回 週に1回 週に2回 それ以上 薬剤師:月に1回 月に2回 週に1回 週に2回 それ以上 看護師:月に1回 月に2回 週に1回 週に2回 それ以上 管理栄養士:月に1回 月に2回 週に1回 週に2回 それ以上 作業療法士・理学療法士・言語聴覚士: 月に1回 月に2回 週に1回 週に2回 それ以上 その他(): 月に1回 月に2回 週に1回 週に2回 それ以上	区分 利用の程度 医師:月に1回 月に2回 週に1回 週に2回 それ以上 (複数の医師が来る場合は利用の程度は合計してください) 何科の医師が来ますか(○はいくつでも) 1. 内科 2. 外科 3. 整形外科 4. 眼科 5. 皮膚科 6. 耳鼻いんこう科 7. 精神科 8. その他 9. わからない 歯科医師:月に1回 月に2回 週に1回 週に2回 それ以上 歯科衛生士:月に1回 月に2回 週に1回 週に2回 それ以上 薬剤師:月に1回 月に2回 週に1回 週に2回 それ以上 看護師:月に1回 月に2回 週に1回 週に2回 それ以上 管理栄養士:月に1回 月に2回 週に1回 週に2回 それ以上 作業療法士:月に1回 月に2回 週に1回 週に2回 それ以上 理学療法士:月に1回 月に2回 週に1回 週に2回 それ以上 言語聴覚士:月に1回 月に2回 週に1回 週に2回 それ以上 その他(): 月に1回 月に2回 週に1回 週に2回 それ以上
2	問9	(3)ご自宅で、下記の医療を受けられている場合、該当するものに○を付けてください(病院や診療所に通院して受ける場合は除く)。(○はいくつでも) 1. 点滴 2. カテーテル(失禁への対応のため) 3. 経管栄養療法(管による栄養補給) 4. 中心静脈栄養 5. 在宅酸素療法(酸素の補給) 6. 褥(じょく)瘡(そう)処理(床ずれの治療など) 7. 透析 8. 人工肛門 9. 気管切開 10. モニター測定 11. 浣腸(かんちょう)や摘(てき)便(べん)(便秘の治療など) 12. 喀痰(かくたん)吸引(きゅういん)(たんの取り除き) 13. その他(具体的に) 14. わからない	(3)ご自宅で、下記の医療を受けられている場合、該当するものに○を付けてください(病院や診療所に通院して受ける場合は除く)。(○はいくつでも) 1. 点滴 2. 尿路カテーテル(失禁への対応のため) 3. 経管栄養療法(管による栄養補給) 4. 中心静脈栄養 5. 在宅酸素療法(酸素の補給) 6. 褥(じょく)瘡(そう)処理(床ずれの治療など) 7. 透析 8. 人工肛門 9. 気管切開 10. モニター測定 11. 浣腸(かんちょう)や摘(てき)便(べん)(便秘の治療など) 12. 喀痰(かくたん)吸引(きゅういん)(たんの取り除き) 13. その他(具体的に) 14. わからない
2	問10	問10 歯科検診についておたずねします。 (1)あなたは、かかりつけ歯科医師がいますか。(○は1つ) 1. いる 2. いない	同左

		第8期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査	第9期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査
2	問10	(2)あなたは、歯科検診を受けていますか。(○はひとつ) 1. 半年に1回受けている。 2. 1年に1回受けている。 3. 2～3年に1回受けている。 4. 定期的には受けていない。 5. 受けたことがない。	同左
2	問11	問11 歯磨きなどの口の中の手入れは、むし歯や歯周病の予防だけでなく、口の中の機能を維持し、肺炎や他の疾患の予防にもつながります。 (1)歯や歯ぐきのことについておたずねします。(○はいくつでも) 1. むし歯がある 2. 歯ぐきから出血する 3. 歯がぐらぐらする 4. 入れ歯(義歯)がはずれやすい 5. 固いものが噛めない 6. 食べ物が飲み込みにくい 7. 口臭がある 8. 口がかわく 9. 特に不自由ではない 10. その他(具体的に)	同左
2	問11	(2)歯磨きなど口の中の手入れをどれくらいされていますか。(○は1つ) 1. 毎食後 2. 朝と夜の2回 3. 一日1回 4. その他(具体的に) 5. わからない	同左
2	問11	(3)歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です) 1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし 3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	(3)現在ご自身の歯は何本残っていますか。さし歯や金属をかぶせた歯も自分の歯に含めます。なお、成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。 1. 0本 2. 1～4本 3. 5～9本 4. 10～14本 5. 15～19本 6. 20～23本 7. 24～27本 8. 28～32本
	問11		(4)オーラルフレイル(※)について知っていますか。(○は1つ) ※オーラルフレイルとは、ささいな口の機能の衰え(わずかなむせ、食べこぼし、発音がはっきりしない、かめない食品の増加など)からくる口の機能の低下をいいます。 1. よく知っている 2. だいたい知っている 3. 聞いたことはあるが、内容はわからない 4. 知らない
2	問12	問12 薬を飲んだりお使いになっている方におたずねします。 (薬を飲んだりお使いになっていない方は問13へ) (1)どこで(誰から)薬を入手しましたか(○はいくつでも)。 1. 病院や診療所で入手した 2. 医師の処方箋を持っていき調剤薬局で入手した 3. 薬局で店の人の話を聞いて買った 4. 薬局などで自分で選んで買った 5. 通信販売で買った 6. 家族や知人にもらった 7. その他(具体的に)	同左
2	問12	(2)薬の飲み方、使い方についてお聞きます(○は1つ)。 1. きめられたとおりに飲んだり使ったりしている 2. ときどき忘れることがある 3. きめられたとおりにできない 4. その他(具体的に)	同左

		第8期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査	第9期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査
2	問12	(3)「お薬手帳」を活用されていますか。(○は1つ)。 1. はい 2. いいえ 3. わからない	同左
2	問12	(4)かかりつけ薬局はありますか。(○はひとつ) 1. ある 2. ない	同左
2	問13	問13 食生活についておたずねします。 あなたの普段の食生活について、当てはまるものはありますか。(○はいくつでも) 1. 食料品を買う店が近くにない 2. お金の心配があり、食費を節約している 3. 一人で食べることが多い 4. 食べる気力や楽しみを感じない 5. 食べる量が減っている 6. その他() 7. 特に当てはまるものはない	削除
2	問14	問14 食べることについて (1) 要支援1・要支援2の方におたずねします。半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ) 1. はい 2. いいえ	同左
2	問14	(2) 要支援1・要支援2の方におたずねします。どなたかと食事をともにする機会はありますか。(○は1つ) 1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある 4. 年に何度かある 5. ほとんどない	同左
2	問15	問15 あなたの現在の身体状況は以下のどれにあてはまりますか。(○は1つ) 1. 何も使わずに普通に歩くことができる 2. 杖や歩行器等を使えば一人で歩くことができる 3. 他人の介助を受ければ歩くことができる 4. 歩行は困難で、移動するには自走行又は介助用の車いすが必要 5. 移動はできない	問15 あなたの現在の身体状況は以下のどれにあてはまりますか。(○は1つ) 1. 何も使わずに普通に歩くことができる 2. 杖や歩行器等を使えば一人で歩くことができる 3. 介助を受ければ歩くことができる 4. 歩行は困難で、移動するには自走行又は介助用の車いすが必要 5. 移動はできない
2	問16	問16 からだを動かすことについて (1)階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つ) 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	同左
2	問16	(2)椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ) 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	同左
2	問16	(3)15分位続けて歩いていますか。(○は1つ) 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	同左

		第8期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査	第9期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査
2	問16	(4)過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ) 1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない	同左
2	問16	(5)転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ) 1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安ではない 4. 不安でない	同左
2	問16		(6)あなたが外出する頻度はどのくらいですか(畑や隣近所へ行く、買い物、通院などを含みます)。(○は1つ) 1. 週に5回以上 2. 週4回 3. 週2～3回 4. 週1回 5. 月1～3回 6. 年に数回 7. していない
2	問16	(6)昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ) 1. とても減っている 2. 減っている 3. あまり減っていない 4. 減っていない	同左
2	問17	問17 認知症に関しておたずねします。 (1)あなたは、認知症に関する情報をどこから得ていますか。(○はいくつでも) 1. 家族 2. 友人・知人 3. テレビ 4. ラジオ 5. インターネット、携帯電話(スマートフォンなど) 6. 新聞 7. 市等の広報紙 8. 雑誌、出版物 9. 講習会・研修(認知症サポーター養成講座など) 10. その他(具体的に) 11. 特にどこからも得ていない	同左
2	問17	(2)認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人はいいますか。(○は1つ) 1. はい 2. いいえ	同左
2	問17	(3)認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ) 1. はい 2. いいえ	同左
2	問17	(4)神戸市では、市民の方が認知症の診断を受けるのにかかる費用を補助する制度を設けています。この制度を知っていますか。(○は1つ) 1. よく知っている 2. だいたい知っている 3. 聞いたことはあるが、内容はわからない 4. 知らない	(4)神戸市では、市民の方が認知症の診断を受けるのにかかる費用を補助する制度(診断助成制度)を設けています。この制度を知っていますか。(○は1つ) 1. よく知っている 2. だいたい知っている 3. 聞いたことはあるが、内容はわからない 4. 知らない

		第8期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査	第9期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査
2	問17	(5)(4)で「1」「2」と回答した方におたずねします。 診断助成制度を何で知りましたか。(〇はいくつでも) 1. 広報紙KOBÉ 2. ホームページ 3. 駅などにある公共広告・ポスター・リーフレット 4. 新聞・テレビ 5. 医療機関 6. ケアマネジャー 7. こうべオレンジダイヤル(認知症の総合電話相談窓口) 8. あんしんすこやかセンター 9. 市の説明会・講義 10. 家族や知り合いから聞いた 11. 市からの郵便物(75歳以上の方のみ) 12. その他(具体的に)	同左
2	問17	(6)事故救済制度(※)を知っていますか。(〇は1つ) ※認知症と診断された人が起こした事故・事案に対して補償する制度 1. よく知っている 2. だいたい知っている 3. 聞いたことはあるが、内容はわからない 4. 知らない	同左
2	問17	(7)あなたご自身は、認知症に関して心配ごとがありますか。(〇は1つ) 1. ある 2. ない →問18へ	同左
2	問17	(8)(7)で「1」と回答した方におたずねします。 認知症に関する心配ごとは、誰に相談していますか。(〇はいくつでも) 1. 家族・親族 2. 友人・知人 3. ケアマネジャー 4. あんしんすこやかセンター(地域包括支援センター) 5. こうべオレンジダイヤル(認知症の総合電話相談窓口) 6. 区役所 7. 介護サービス事業者 8. 社会福祉士などの福祉関係者 9. 医師 10. 看護師、薬剤師などの医療関係者 11. 民生委員 12. その他(具体的に) 13. 誰にも相談していない 14. わからない	(8)(7)で「1」と回答した方におたずねします。 認知症に関する心配ごとは、誰に相談していますか。(〇はいくつでも) 1. 家族・親族 2. 友人・知人 3. ケアマネジャー 4. あんしんすこやかセンター(地域包括支援センター) 5. こうべオレンジダイヤル(認知症の総合電話相談窓口) 6. 区役所 7. 介護サービス事業者 8. 社会福祉士などの福祉関係者 9. 医師 10. 看護師、薬剤師などの医療関係者 11. 民生委員 12. その他(具体的に) 13. 誰にも相談していない 14. わからない
2	問18	問18 毎日の生活について (1)自分で請求書の支払いをしていますか。(〇は1つ) 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	同左
2	問18	(2)自分で預貯金の出し入れをしていますか。(〇は1つ) 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	同左
2	問18	(3) 要支援1・要支援2の方におたずねします。物忘れが多いと感じますか。 1. はい 2. いいえ	同左

		第8期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査	第9期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査
2	問18	(4)要支援1・要支援2の方におたずねします。自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(○は1つ) 1. はい 2. いいえ	同左
2	問18	(5)要支援1・要支援2の方におたずねします。 今日が何月何日かわからない時がありますか。(○は1つ) 1. はい 2. いいえ	同左
2	問18	(6)要支援1・要支援2の方におたずねします。 バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)。(○は1つ) 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	同左
2	問18	(7)要支援1・要支援2の方におたずねします。 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○は1つ) 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	同左
2	問18	(8)要支援1・要支援2の方におたずねします。 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ) 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	同左
2	問19	問19 あなたは、成年後見制度(※)を知っていますか。(○は1つ) ※成年後見制度とは 認知症、知的障がいなどによって、物事を判断することが十分でない人について、本人の権利を守る援助者(「成年後見人」等)を選ぶことで、本人の財産管理などを法律的に支援する制度。 1. よく知っている 2. だいたい知っている 3. 聞いたことはあるが、内容はわからない 4. 知らない	同左
2	問20	問20 あなたが、医療や介護について情報を得たい時に、気軽に相談できる窓口もしくは人は誰ですか。(あてはまるものすべてに○) 1. 市役所・区役所の窓口 2. あんしんすこやかセンター(地域包括支援センター) 3. 病院の相談窓口 4. 医師・看護師など医療関係者 5. 地域のサロンなど 6. 民生委員・自治会役員など 7. 家族・親族 8. 友人 9. その他(具体的に) 10. 相談できる窓口(人)はない	同左
			新型コロナウイルス感染症(新型コロナ)などについておうかがいします。 (1)介護保険のサービス利用時(通所サービス等)以外で外出はしますか。(○は1つ) 1. はい →(2)へ 2. いいえ →(3)へ

		第8期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査	第9期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査
			<p>(2)(1)で「1」と回答した方におたずねします。 新型コロナの流行後の外出の頻度について最もあてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)</p> <p>1. とても外出が増えた 2. 外出が増えた 3. どちらかというと外出が増えた 4. どちらかというと外出が減った 5. 外出が減った 6. 一時的に外出が減ったが元に戻った</p>
			<p>(3)新型コロナに対して不安を感じますか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。(○は1つ)</p> <p>1. とても不安を感じる 2. 不安を感じる 3. どちらかといえば不安を感じる 4. どちらかといえば不安を感じない 5. 不安を感じない 6. 全く不安を感じない</p>
3		地域活動や「たすけあい」についておうかがいします。	
3	問21	問21 現在の生活で心配事がありますか。(○は1つ) 1. 心配がある →問22へ 2. 多少心配がある →問22へ 3. 心配はない →問23へ 4. わからない →問23へ	同左
3	問22	問22 問21で「1」「2」と回答した方におたずねします。 心配ごととはどのようなことですか。あてはまるものに○を記入してください。(○はいくつでも) 1. 自分が病気がちであったり介護を必要としている 2. 配偶者や世話をしてくれる家族が病気がちであったり介護を必要としている 3. 自宅内や外出時の転倒や事故 4. 家事が大変である 5. 頼れる人がいなく一人きりである 6. 子ども(息子・娘)や孫とのつきあいがうまくいっていない 7. 子どもや孫が難しい問題をかかえている 8. 先祖の祭祀やお墓のこと 9. 生活のために収入がたりない 10. 土地や家屋などの財産の相続のこと 11. 家賃やリフォームなど住宅のこと 12. 人(近隣、親戚、友人、仲間等)とのつきあいがうまくいっていない 13. 社会の仕組み(法律、社会保障、金融制度)がわからない 14. だまされたり犯罪に巻き込まれた(ている) 15. 大地震などの災害 16. その他(具体的に) 17. わからない	同左
3	問23	問23 あなたとまわりの人の「たすけあい」について、おうかがいします。 (1)あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人。(○はいくつでも) 1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他(具体的に) 8. そのような人はいない	同左

		第8期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査	第9期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査
3	問23	(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人。(〇はいくつでも) 1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他(具体的に) 8. そのような人はいない	同左
3	問23	(3) 要支援1・要支援2の方におたずねします。 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。(〇はいくつでも) 1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他(具体的に) 8. そのような人はいない	同左
3	問23	(4) 要支援1・要支援2の方におたずねします。 反対に、看病や世話をしてくれる人(〇はいくつでも) 1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他(具体的に) 8. そのような人はいない	同左
3	問24	問24 近所の人との「あいさつ」の頻度はどれくらいですか。 (〇は1つ) 1. ほとんど毎日 2. 週2～3日 3. 週1日 4. 月1～3日 5. ほとんどあいさつをしていない	同左
3	問25	問25(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。 ※①-⑦それぞれに回答してください。 ① ボランティアのグループ 1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない ② スポーツ関係のグループやクラブ 1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない ③ 趣味関係のグループ 1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない ④ 老人クラブ 1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない ⑤ 町内会・自治会 1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない ⑥ 学習・教養サークル 1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない ⑦ 健康体操やサロンなどの介護予防のための通いの場 1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない ⑧ 特技や経験を他者に伝える活動 1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない ⑨ 収入のある仕事 1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない	同左
3			

		第8期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査	第9期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査
3	問25	<p>(2)(1)でいずれの会・グループにも参加していない方のみお答えください。 参加していない理由は次のうちどれですか。あてはまるものに○を記入してください(○はいくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. どのようなグループがあるか分からない。 2. 参加したいグループがない 3. 体力がない、病気など体の具合がよくない。 4. 人付き合いがわずらわしい。 5. 入ろうと思う団体に友人・知人がいない。 6. 金銭的に余裕がない。 7. 時間に余裕がない。 8. その他(具体的に) 	同左
3	問25	<p>(3)要支援1・要支援2の方におたずねします。 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 	<p>(3)要支援1・要支援2の方におたずねします。 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. <u>すでに参加している</u>
3	問25	<p>(4)(3)で「1」「2」と回答した方のみお答えください 「地域住民の有志による健康づくり活動や趣味等のグループ活動」に参加したい又は参加してもよいと思う活動は次のうちどれですか(○は3つまで)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 健康体操 2. 創作活動(手工芸) 3. 健康講和 4. 世代間交流(保育園児や学童などと交流) 5. 音楽活動(歌唱や楽器演奏) 6. お茶とおしゃべり 7. 文化活動(習字・俳句・川柳など) 8. 脳トレーニング 9. 室内ゲーム 10. その他(具体的に) 	<p>(4)(3)で「1」「2」と回答した方のみお答えください 「地域住民の有志による健康づくり活動や趣味等のグループ活動」に参加したい又は参加してもよいと思う活動は次のうちどれですか(○は3つまで)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 健康体操 2. 創作活動(手工芸) 3. 健康講話 4. 世代間交流(保育園児や学童などと交流) 5. 音楽活動(歌唱や楽器演奏) 6. お茶とおしゃべり 7. 文化活動(習字・俳句・川柳など) 8. 脳トレーニング 9. 室内ゲーム 10. その他(具体的に)
3	問25	<p>(5)要支援1・要支援2の方におたずねします。 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 	<p>(5)要支援1・要支援2の方におたずねします。 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. <u>すでに参加している</u>
3	問26	<p>問26 要支援1・要支援2の方におたずねします。 市内の各地域では、住民の生活を支えあうために、高齢者の方々が様々なボランティア活動に取り組まれています。あなたは地域でどのようなボランティア活動に参加していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の行事、ふれあい給食・ふれあい喫茶などの手伝い 2. 道路・公園などの清掃、防災・防犯などの活動 3. 施設での介助 4. ひとり暮らし高齢者の訪問(安否確認、話し相手など) 5. 認知症の高齢者の話し相手 6. 家事援助(食事・掃除・洗濯・買い物など) 7. ゴミ出しや分別の手伝い 8. 高齢者の外出や通院の付き添い 9. 地域の子どもたちとの交流(通学時の見守りや子育てサークル) 10. その他(具体的に) 11. 参加していない 	同左

	第8期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査	第9期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査
3	問27 問27(1)要支援1・要支援2の方におたずねします。 あなたがボランティアに参加したり、今以上に参加するためにはどのような条件が満たされている必要がありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。 1. 時間や期間にあまりしぼられないこと 2. 身近なところで活動できること 3. 気軽に参加できそうな活動があること 4. 身体的な負担が少ないこと 5. 友人等と一緒に参加できること 6. 金銭的な負担が少ないこと 7. 活動情報の提供があること 8. 適切な指導者やリーダーがいること 9. 活動拠点となる場所があること 10. 活動や団体を紹介してくれること 11. NPO団体や自主サークルの立ち上げ支援があること 12. その他(具体的に) 13. どのような条件が満たされても参加できない 14. わからない	削除
3	問27 (2)要支援1・要支援2の方におたずねします。 ボランティアポイント制度(※)があれば、ボランティアに参加したり、参加されている方は今以上に参加しますか。(○は1つ) ※ボランティアに参加すればポイントが付与され、そのポイントに応じて特典が得られる制度 1.ぜひ参加したい・今まで以上に参加する 2.参加したい・今までと変わらず参加する 3.参加するか分からない 4.参加しない	削除
4	将来の介護や介護保険施設、住まいのことについておうかがいします	
4	問28 問28 あなたは、高齢期の住まい(居場所)としてどのような場所を希望しますか。下記の(1)(2)のそれぞれの場合について、あてはまるものに○をご記入下さい。 (1)現在の心身の状態が維持できている間。(○は1つ) 1. 現在の住宅 2. 利便性の高い都心の住宅 3. 公的な住宅 4. 公的な高齢者向け住宅(市営シルバーハウジングなど) 5. 民間の高齢者向け住宅(サービス付き高齢者向け住宅など) 6. 介護付有料老人ホームやケアハウスなど 7. 特別養護老人ホームなどの老人福祉施設 8. 老人保健施設 9. 病院など医療施設 10. その他(具体的に) 11. わからない	同左
4	問28 (2)今以上に心身の状態が悪くなった場合。(○は1つ) 1. 現在の住宅 2. 利便性の高い都心の住宅 3. 公的な住宅 4. 公的な高齢者向け住宅(市営シルバーハウジングなど) 5. 民間の高齢者向け住宅(サービス付き高齢者向け住宅など) 6. 介護付有料老人ホームやケアハウスなど 7. 特別養護老人ホームなどの老人福祉施設 8. 老人保健施設 9. 病院など医療施設 10. その他(具体的に) 11. わからない	同左

		第8期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査	第9期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査
4	問29	問29 人生最期の時期について、おうかがいします。 (1)あなたは、ご自分が最期を迎えるとしたら、どこで迎えたいと思いますか(○は1つ) 1. 病院 2. ホスピス・緩和ケア病棟 3. 老人ホームや認知症グループホームなどの福祉施設 4. 高齢者向けのケア付き集合住宅 5. 自宅(子供などの家族宅も含む) 6. わからない	同左
4	問29	(2)(1)について、誰かと話し合いをしていますか。(○は1つ) 1. まったくない 2. 話し合ったことがある 3. 話し合い、その結果を紙などに記載した	同左
	問29		(3)あなたは、ご自分が最期を迎えるとしたら、どのように過ごしたいかを、誰かと話し合いをしていますか。(○は1つ) 1. まったくない 2. 話し合ったことがある 3. 話し合い、その結果を紙などに記載した
4	問29	(3)自分が意思決定できなくなったときに備えて、一番自分が信頼して自分の医療・療養に関する指針を決めてほしいと思う人はだれですか。(○は1つ) 1. いない 2. 配偶者 3. 同居の子ども 4. 別居の子ども 5. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 6. 近隣の方 7. 友人 8. 医療従事者(医師、看護師など) 9. その他(具体的に)	同左
	問29		(5)もしものときのために、ご本人が望む医療やケアについて話し合うことをACP(人生会議)と言います。ACP(人生会議)についてご存知ですか。(○は1つ) 1. 知っている 2. 知らない
	問29		(6)(5)で「知っている」と回答した方のみお答えください。(○は1つ) ACPを実施したことはありますか。 1. まったくない 2. 話し合ったことがある 3. 話し合い、その結果を紙などに記載した
4	問30	問30 特別養護老人ホームの入所申し込みの状況についておたずねします。 (1)あなたは、特別養護老人ホームの入所申込書を提出されていますか。(○は1つ) 1. はい →(2)(3)へ 2. いいえ →問32へ	同左

		第8期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査	第9期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査
4	問30	(2)申し込まれたのはおよそ何年前ですか。(○は1つ) 1. 6ヶ月未満 2. 6ヶ月以上 1年未満 3. 1年以上 2年未満 4. 2年以上 3年未満 5. 3年以上 4年未満 6. 4年以上 5年未満 7. 5年以上	同左
4	問30	(3)なぜ申し込みをされましたか。(あてはまるものにすべて○) 1. 身寄りや介護者が誰もいないため 2. 介護する者が病気等で長期入院しているため 3. 介護する者が「高齢」、「障害」、「疾病」等により介護が困難なため 4. 複数の要介護者がいて介護負担が大きいため 5. 介護者が就労・育児等から介護が困難なため 6. 施設や病院等から退所を求められているが、自宅での介護が困難なため 7. ケアマネジャーにすすめられて 8. ただちに必要ないが将来のため 9. その他(具体的に)	同左
4	問31	問31 特別養護老人ホームに住み替えたり、入所する場合、食費、居住費、介護費用も含めて毎月の支払額は、いくらくらいまでなら負担できますか。(○は1つ) 1. 5万円未満 2. 5万円～10万円未満 3. 10万円～15万円未満 4. 15万円～20万円未満 5. 20万円～25万円未満 6. 25万円～30万円未満 7. 30万円以上でもいい	同左
4	問32	問32 あなたのお住まいのバリアフリー化(※)の状況をおたずねします。 ※バリアフリー化とは 心身の機能が低下した時のために、手すりの設置や、段差の解消など、住宅の構造や設備が対応していることをいいます。 (1)次の項目にあてはまるときは○をつけてください。(○はいくつでも) 1. 寝室とトイレが同じ階にある 2. 段差の高低差が少ない 3. 階段の傾きが緩やかである 4. 階段、トイレ、浴室に手すりが付いている 5. 通路(廊下)・出入口(玄関)とも介助用車いすが使える幅である 6. トイレが腰掛け式で前から介助できるスペースがある 7. 【共同住宅にお住まいで3階以上に住んでいる方】エレベーターが付いている 8. 【共同住宅にお住まいの方】(共用部分の)階段・廊下に手すりが付いている 9. あてはまるものがない	同左
4	問32	(2)あなたのお住まいのバリアフリー化は十分だと思いますか。(○は1つ) 1. 思う →問33へ 2. 思わない	同左

		第8期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査	第9期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査
4	問32	(3)(2)で「2」と回答した方におたずねします。今後どのようにしたいとお考えですか。(○は1つ) 1. 住宅改修をして現在の住まいに住み続ける 2. バリアフリー設備の整った公営住宅等に住み替える 3. バリアフリー設備の整った民間賃貸住宅に住み替える 4. 特別養護老人ホームや有料老人ホームなどに入所する 5. その他(具体的に) 6. わからない	同左
5		介護保険料についておうかがいします	
5	問33	問33 あなたの介護保険料の段階(※)は何段階ですか。 ※保険料の段階は、6月(今年65歳になった方や、市外から転入されてきた方はそれ以降)に神戸市から郵送された「介護保険料のお知らせ(納入通知書)」に記載されています。 1. 第1段階 2. 第2段階 3. 第3段階 4. 第4段階 5. 第5段階 6. 第6段階 7. 第7段階 8. 第8段階 9. 第9段階 10. 第10段階 11. 第11段階 12. 第12段階 13. 第13段階 14. 第14段階 15. 第15段階	同左
5	問34	問34 介護保険料は、国・県・市が全体の50パーセントを負担し、残りを40歳以上の方々が負担する仕組みとなっています。介護サービスを充実させると、介護保険料が高くなります。今後の介護保険料について、あなたのお考えに最も近いものはどれですか。(○はひとつ) 1. 介護保険サービスの見直しやサービスを利用した人の負担を増やすなどにより、介護保険料を抑制すべき 2. 介護保険サービスの現状を維持する(高齢化が進む分だけ介護保険料は高くなる) 3. 介護保険サービスをさらに充実させる。そのために、介護保険料が高くなっても仕方がない。	同左
6		サービスの利用状況についておうかがいします。	
6	問35	介護保険サービスの利用状況についておたずねします。 問35 あなたは、現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか。(○は1つ) 1. 利用している 2. 利用していない →問37へ	同左
6	問36	問36 利用しているサービスの種類は何ですか。(あてはまるものすべてに○) ※それぞれのサービスには要支援の方に対する介護予防サービスも含まれます。 1. 訪問介護(ホームヘルプサービス) 2. 訪問看護 3. 訪問リハビリテーション 4. 訪問入浴介護 5. 通所介護(デイサービス) 6. 通所リハビリテーション(デイケア) 7. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 8. 夜間対応型訪問介護 9. 認知症対応型通所介護 10. 短期入所(ショートステイ) 11. 小規模多機能型居宅介護 12. 看護小規模多機能型居宅介護 13. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム) 14. 特定施設入所者生活介護(有料老人ホーム、ケアハウスなど) 15. 居宅療養管理指導 16. わからない	同左

		第8期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査	第9期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査
6	問37	<p>問37 問35で「2」と回答した方のみお答えください。利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない 2. 体調がよくなり、サービスが不要となった 3. 本人にサービス利用の希望がない 4. 家族が介護をするため必要ない 5. 以前、利用していたサービスに不満があった 6. 利用料を支払うのが難しい 7. 利用したいサービスが利用できない、身近にない 8. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため 9. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない 10. その他(具体的に) 	<p>問37 問35で「2」と回答した方のみお答えください。利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない 2. 本人にサービス利用の希望がない 3. 家族が介護をするため必要ない 4. 以前、利用していたサービスに不満があった 5. 利用料を支払うのが難しい 6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない 7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため 8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない 9. その他(具体的に)
6	問38	<p>問38 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む。介護保険サービス以外のサービスを含む。)について、ご回答ください。(〇はいくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 配食 2. 調理 3. 掃除・洗濯 4. 買い物(宅配は含まない) 5. 外出同行(通院、買い物など) 6. ゴミ出し 7. 見守り、声かけ、話し相手 8. 「集いの場」(地域住民が主体となって、おしゃべりや、喫茶、体操、季節の行事、手芸、工芸などを行う仲間づくりの場) 9. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) 10. その他(具体的に) 11. 特になし 	<p>問38 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む。介護保険サービス以外のサービスを含む。)について、ご回答ください。(〇はいくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 配食 2. 調理 3. 掃除・洗濯 4. 買い物(宅配は含まない) 5. ゴミ出し 6. 外出同行(通院、買い物など) 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) 8. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き 9. 見守り、声かけ、話し相手 10. 「集いの場」(地域住民が主体となって、おしゃべりや、喫茶、体操、季節の行事、手芸、工芸などを行う仲間づくりの場) 11. その他(具体的に) 12. 特になし
6	問39	<p>問39 ホームヘルプサービス(訪問介護)を利用されている方におたずねします。(利用されていない方は問40へ。)</p> <p>(1)ホームヘルパーにしてもらう介護はどのようなものですか。(〇はいくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 入浴・食事の介護など 2. 調理 3. 洗濯 4. 掃除 5. 買い物 6. 通院介助 7. おむつ交換などの排せつ介助 8. 水分補給 9. 床ずれ防止のための体位変換 10. 薬の服用 11. 寝る前、起きた後の身だしなみ 12. その他(具体的に) 	同左
6	問39	<p>(2)一回あたりの利用時間はどれくらいですか。(〇は1つ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 20分未満 2. 20分以上30分未満 3. 30分以上以上1時間未満 4. 1時間以上 5. 分からない 	同左
6	問39	<p>(3)利用の程度。(〇は1つ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 1週間に1回程度 2. 1週間に2回程度 3. 1週間に3回程度 4. ほぼ毎日 5. その他(具体的に) 6. わからない 	同左

		第8期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査	第9期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査
6	問40	<p>問40 神戸市では、平成24年度から、24時間対応の定期巡回訪問と随時の対応を行う訪問サービス(訪問介護・訪問看護)も提供可能)を実施しています。</p> <p>(1)あなたはこのようなサービスを知っていましたか。(○は1つ)</p> <ol style="list-style-type: none"> よく知っていた だいたい知っていた 聞いたことはあったが、内容はわからない 知らなかった 	<p>問40 神戸市では、平成24年度から、24時間対応の定期巡回訪問と随時の対応を行う訪問サービス(訪問介護・訪問看護)も提供可能)を実施しています。</p> <p>(1)あなたはこのようなサービスを知っていますか。(○は1つ)</p> <ol style="list-style-type: none"> よく知っている だいたい知っている 聞いたことはあるが、内容はわからない 知らない
6	問40	<p>(2)あなたは、上記のサービスを利用したいと思いますか。(○は1つ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 利用したい 条件が合えば利用したい 利用しない わからない 	同左
6	問41	<p>問41 通所介護(デイサービス)、通所リハビリテーション(デイケア)、認知症対応型通所介護のいずれかを利用されている方におたずねします。(利用されていない方は問42へ)</p> <p>(1)あなたが利用しているサービスの種類は何ですか。(○は1つ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 通所介護(デイサービス) 通所リハビリテーション(デイケア) 認知症対応型通所介護 	同左
6	問41	<p>(2)週に何回利用しています。(○は1つ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1週間に1回程度 1週間に2回程度 1週間に3回程度 ほぼ毎日 その他(具体的に) わからない 	<p>(2)週に何回利用していますか。(○は1つ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1週間に1回程度 1週間に2回程度 1週間に3回程度 ほぼ毎日 その他(具体的に) わからない
6	問41	<p>(3)通所介護(デイサービス)、認知症対応型通所介護を利用されている方におたずねします。あなたの利用状況についておたずねします。一回あたりの利用時間はどれくらいですか。(○は1つ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 3時間未満 3時間以上5時間未満 5時間以上7時間未満 7時間以上9時間未満 9時間以上 わからない 	同左
6	問41	<p>(4)あなたは、現在、通所したときに、食事、入浴サービスを受けていますか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 食事と入浴の両方を受けている 食事のみを受けている 入浴のみを受けている どちらも受けていない 	同左
6	問41	<p>(5)サービスを1年以上利用している方におたずねします。あなたが、現在、通所したときに、していることは何ですか。次の中からお選びください(していくことが多いもの3つに○をつけてください)</p> <ol style="list-style-type: none"> 健康体操 リハビリテーション 創作活動(手工芸・工作など) 音楽活動(歌唱や楽器演奏) 文化活動(習字・俳句・川柳など) 脳トレーニング その他(具体的に) 特に何もしていない 	同左

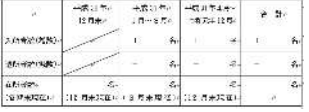
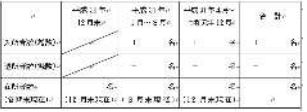
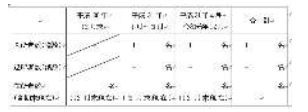

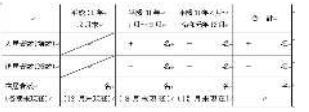

		第8期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査	第9期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査
6	問41	(6)サービスを1年以上利用している方におたずねします。 この1年間で、あなたの状態は改善しましたか。(○は1つ) 1. 要介護度、要支援度が改善した 2. 状態を維持している 3. 要介護度、要支援度が悪化した 4. わからない	同左
6	問42	問42 介護保険制度以外のサービスの利用状況をおたずねします。 (1)市内には、介護保険などの公的な制度では受けられないサービスを提供している団体があります。あなたは介護保険サービス以外で次のサービスを利用したことがありますか。あてはまるものに○を記入してください。(○はいくつでも) 1. 食事、掃除、洗濯やゴミ出しなどの家事援助 2. 配食サービス 3. 食料品、日用品の買い物や宅配 4. 身体の清拭、排泄などの身体介護 5. 通院等のための乗車又は降車等の介助などの移送サービス 6. 話し相手、見守り 7. 「集いの場」(地域住民が主体となって、おしゃべりや、喫茶、体操、季節の行事、手芸、工芸などを行う仲間づくりの場) 8. 入院中の身の回りの世話 9. その他(具体的に) 10. わからない →問43へ 11. 使ったことがない →問43へ	同左
6	問42	(2)(1)で「1」から「9」を選んだ方におたずねします。 それらのサービスは誰から提供されましたか。あてはまるものに○を記入してください。(○はいくつでも) 1. 介護サービス事業者 2. NPO 3. ふれあいのまちづくり協議会、自治会、婦人会等の地域団体 4. ボランティア 5. 近所の方 6. その他(具体的に)	同左
6	問43	問43 介護・介助の状態についておたずねします。 (1)要支援1・要支援2の方におたずねします。 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ) 1. 介護・介助は必要ない →調査終了 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在はうけていない →調査終了 3. 現在、何らかの介護を受けている(家族などの介護を受けている場合も含む)	同左
6	問43	(2)全ての方におたずねします。 現在、介護を受けている場合、ご家族やご親族からの介護は、週にどれくらいありますか(同居していない子供や親族等からの介護を含む)(○は1つ) 1. ない →調査終了 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない 3. 週に1～2日ある 4. 週に3～4日ある 5. ほぼ毎日ある	同左
7		主に介護をしている方の状況についておうかがいします。※以下の設問は、主に介護をしている方、あるいはご本人にご回答をお	

		第8期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査	第9期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査
7	問44	問44 日常、主にアンケート対象者(封筒のあて名ご本人)の介護にあたっている方は、どなたですか。アンケート対象者ご本人からみでの続柄でお答えください。複数の介護者がいる場合でも、主な介護者を選んで○をつけてください。(○は1つ) 1. 配偶者 2. 子ども(息子・娘) 3. 子どもの配偶者 4. 孫 5. 兄弟・姉妹 6. その他	同左
7	問45	問45 主に介護にあたっている方の性別と年齢をお答えください。(それぞれ○は1つずつ)。 (1)性別は 1. 男性 2. 女性	問45 主に介護にあたっている方の性別と年齢をお答えください。(それぞれ○は1つずつ)。 (1)性別は 1. 男性 2. 女性 3. その他
7	問45	(2)年齢は 1. 20歳未満 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代 8. 80歳以上 9. わからない	同左
7	問46	問46 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(○はいくつでも) 1. 屋内の移乗・移動 2. 外出の付き添い、送迎等 3. 入浴・洗身 4. 日中の排せつ 5. 夜間の排せつ 6. 食事の準備(調理等) 7. 食事の介助(食べる時) 8. 服薬 9. 認知症状への対応 10. 衣服の着脱 11. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) 12. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等) 13. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き 15. その他(具体的に) 16. わからない	問46 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(○はいくつでも) 【身体介護】 1. 日中の排泄 2. 夜間の排泄 3. 食事の介助(食べる時) 4. 入浴・洗身 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) 6. 衣服の着脱 7. 屋内の移乗・移動 8. 外出の付き添い、送迎等 9. 服薬 10. 認知症状への対応 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) 【生活援助】 12. 食事の準備(調理等) 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等) 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き 【その他】 15. その他 16. わからない
7	問47	問47 ご家族やご親族の中で、ご本人(封筒の宛名の方)の介護のために、過去に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(○はいくつでも) 1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く) 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた 3. 主な介護者が転職した 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない 6. わからない ※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。	問47 ご家族やご親族の中で、ご本人(封筒の宛名の方)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(○はいくつでも) 1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く) 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職を除く) 3. 主な介護者が転職した 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない 6. わからない ※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。
7	問48	問48 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(○は1つ) 1. フルタイムで働いている →問49へ 2. パートタイム(※)で働いている →問49へ 3. 働いていない →問50へ 4. わからない →問50へ ※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。	同左

	第8期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査	第9期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査
		<p>問49(1)問48(1)で「1」「2」と回答した方におたずねします。 <u>主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか(○はい/×はいいえ)</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 特に行っていない 2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早出・中抜け等)」しながら、働いている 3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている 4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている 5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている 6. 主な介護者に確認しないと、わからない
		<p>問49(2)問48(1)で「1」「2」と回答した方におたずねします。 <u>主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか(○は3つまで)</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない 2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実 3. 制度を利用しやすい職場づくり 4. 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など) 5. 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど) 6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供 7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置 8. 介護をしている従業員への経済的な支援 9. その他 10. 特にない 11. 主な介護者に確認しないと、わからない
7	<p>問49 問48で「1」「2」と回答した方におたずねします。 <u>主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか(○は1つ)</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 問題なく、続けていける 2. 問題はあるが、何とか続けていける 3. 続けていくのは、やや難しい 4. 続けていくのは、かなり難しい 5. わからない 	<p>問49(3)問48で「1」「2」と回答した方におたずねします。 <u>主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか(○は1つ)</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 問題なく、続けていける 2. 問題はあるが、何とか続けていける 3. 続けていくのは、やや難しい 4. 続けていくのは、かなり難しい 5. 主な介護者に確認しないと、わからない
7	<p>問50 主な介護者の方が介護を行う上で困っていることは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 特にない 2. 介護の方法がわからない 3. もっと介護サービスを利用させたいが、本人が望まない 4. もっと介護サービスを利用させたいが、制度上又は要件上利用できない。 5. 家族の理解や協力が足りない 6. 相談相手がいない 7. 経済的負担が大きい 8. 心身の負担が大きい 9. 自分の時間がとれない 10. 自分の健康管理ができない 11. その他(具体的に) 	同左

	第8期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査	第9期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査
7	問51 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可) 1. 屋内の移乗・移動 2. 外出の付き添い、送迎等 3. 入浴・洗身 4. 日中の排せつ 5. 夜間の排せつ 6. 食事の準備(調理等) 7. 食事の介助(食べる時) 8. 服薬 9. 認知症への対応 10. 衣服の着脱 11. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) 12. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等) 13. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き 15. その他(具体的に) 16. 不安に感じていることは、特にな 17. わからない	問51 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可) 【身体介護】 1. 日中の排泄 2. 夜間の排泄 3. 食事の介助(食べる時) 4. 入浴・洗身 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) 6. 衣服の着脱 7. 屋内の移乗・移動 8. 外出の付き添い、送迎等 9. 服薬 10. 認知症状への対応 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) 【生活援助】 12. 食事の準備(調理等) 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等) 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き 【その他】 15. その他 16. 不安に感じていることは、特にな 17. 主な介護者に確認しないと、わからない
7	問52 主な介護者の方の介護負担を減らすためにどのような施策が必要ですか。(〇はいくつでも) 1. 必要ときにショートステイが利用できるようにする 2. 緊急時に夜間の泊まりができる施設を増やす 3. 24時間対応の在宅サービス(訪問介護、訪問看護、デイサービスなど)を充実する 4. 自分の勤務時間(出勤時、残業)に合わせて、デイサービスやデイケアで介護の対象者(封筒のあて名ご本人)を受け入れてくれる 5. 介護技術や認知症などに関する講習会を開催する 6. 介護者が集まって悩みを話し合ったり、相談できる機会をつくる 7. その他(具体的に) 8. わからない	同左
7	問53 神戸市では、「認知症サポーター養成講座」を実施し、認知症を理解して困っている人がいたら声をかけるなどのサポートを行うサポーターを養成しています。あなたは、この認知症サポーターに依頼したいことはありますか。(〇はいくつでも) 1. 本人の話し相手 2. 介護している方の話し相手 3. 短時間(1時間未満)の留守番 4. 「集いの場」(地域住民が主体となって、おしゃべりや、喫茶、体操、季節の行事、手芸、工芸などを行う仲間づくりの場)などでの話し相手 5. 特に依頼したいことはない 6. 認知症の家族はいない(ので、依頼することはない)	同左
7	問54 主な介護者の方は、介護について誰かに相談していますか(〇はいくつでも) 1. 家族・親族 2. 友人・知人 3. 近所の人、ボランティアの人等 4. 介護が必要な本人 5. ケアマネジャー 6. あんしんすこやかセンター(地域包括支援センター) 7. 自治体 8. 保健所 9. 介護サービス事業者 10. 医師 11. 病院の医療ソーシャルワーカー 12. 民生委員 13. 勤務先 14. その他(具体的に) 15. 誰にも相談していない 16. わからない	削除

第6期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査		第6期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査		第6期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査		第6期 介護保険事業計画策定に向けての実態調査	
施設入所者調査							
(1)施設概要							
問1	施設の種類 開設年月、定員数、併設事業	特別養護老人ホーム	介護老人保健施設	介護療養型医療施設・介護医療院	特定施設・サービス付き高齢者向け住宅	認知症対応型共同生活介護	
問1	注:特に指定がない限り令和2年1月1日24時の状況でご記入下さい	注:特に指定がない限り令和4年12月1日24時の状況でご記入下さい	注:特に指定がない限り令和4年12月1日24時の状況でご記入下さい	注:特に指定がない限り令和4年12月1日24時の状況でご記入下さい	注:特に指定がない限り令和4年12月1日24時の状況でご記入下さい	注:特に指定がない限り令和4年12月1日24時の状況でご記入下さい	注:特に指定がない限り令和4年12月1日24時の状況でご記入下さい
問1 (1)	問1 貴施設についてお伺いします。 (1)開設年月 ()年()月()日 ()年()月()日	同左	同左	問1 貴施設についてお伺いします。 (1)開設年月 ()年()月()日 ()年()月()日 介護保険適用指定年月 ()年()月()日	問1 貴施設(住宅)についてお伺いします。 (1)開設年月 ()年()月()日	同左	
問1 (2)	(2)事業所の種類(○はひとつ) 1. 介護付き有料老人ホーム 2. 住宅型有料老人ホーム 3. ケアハウス 4. 介護型ケアハウス 5. サービス付高齢者向け住宅 6. その他(具体的に)				同左		
問1 (2)	(2)定員数(届出床数) ()床 (ショートステイ専用床を除く)	同左	(2)定員数(届出床数) ()床 一般棟 ()床 認知症専門棟 ()床 計 ()床	(2)定員数(介護保険適用床数) ()床	(3)定員数(届出床数) ()床 *混合型有料老人ホームについても部屋数ではなく全床数をご記入ください。	(2)定員数(届出床数) ()床 ()ユニット	
問1 (3)	(3)居室の状況 ユニット型個室 ()室 従来型個室 ()室 2人部屋 ()室 3人部屋 ()室 4人部屋 ()室 5人以上 ()室	同左	同左	(3)居室の状況 個室 ()室 2人部屋 ()室 3人部屋 ()室 4人部屋 ()室 5人以上 ()室	(4)居室の状況 個室 ()室 2人部屋 ()室 3人部屋 ()室 4人部屋 ()室 5人以上 ()室		
問1 (4)	(4)待機者数 ()名 ※うち神戸市在住者 ()名	同左	同左	同左	(5)待機者数 ()名 ※うち神戸市在住者 ()名	(3)待機者数 ()名 ※うち神戸市在住者 ()名	
問1 (5)	(5)貴施設での実施サービス及び併設施設・事業の有無・種別。(あてはまるものすべてに○をつけてください) 1. 病院・診療所 2. 特別養護老人ホーム(小規模も含む) 3. 介護老人保健施設 4. 居宅介護支援・介護予防居宅介護支援 5. (介護予防)訪問介護 6. (介護予防)訪問入浴介護 7. (介護予防)訪問看護 8. (介護予防)訪問介護/リハビリテーション 9. (介護予防・認知症対応型)通所介護(デイサービス) 10. (介護予防)通所/レクリエーション(デイケア) 11. (介護予防)短期入所(ケアハウス) 12. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 13. 看護小規模多機能型居宅介護 14. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム) 15. (介護予防)特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム、ケアハウス) 16. 小規模多機能型居宅介護 17. その他の介護保険サービス・保健福祉サービス・社会福祉施設等(具体的に)	(5)貴施設での実施サービス及び併設施設・事業の有無・種別。(あてはまるものすべてに○をつけてください) 1. 病院・診療所 2. 特別養護老人ホーム(小規模も含む) 3. 介護老人保健施設 4. 居宅介護支援・介護予防居宅介護支援 5. (介護予防)訪問介護 6. (介護予防)訪問入浴介護 7. (介護予防)訪問看護 8. (介護予防)訪問介護/リハビリテーション 9. (介護予防・認知症対応型)通所介護(デイサービス) 10. (介護予防)通所/レクリエーション(デイケア) 11. (介護予防)短期入所(ケアハウス) 12. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 13. 看護小規模多機能型居宅介護 14. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム) 15. (介護予防)特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム、ケアハウス) 16. 小規模多機能型居宅介護 17. 介護医療院・介護療養型医療施設 18. その他の介護保険サービス・保健福祉サービス・社会福祉施設等(具体的に)	(5)貴施設での実施サービス及び併設施設・事業の有無・種別。(あてはまるものすべてに○をつけてください) 1. 病院・診療所 2. 特別養護老人ホーム(小規模も含む) 3. 介護老人保健施設 4. 居宅介護支援・介護予防居宅介護支援 5. (介護予防)訪問介護 6. (介護予防)訪問入浴介護 7. (介護予防)訪問看護 8. (介護予防)訪問介護/リハビリテーション 9. (介護予防・認知症対応型)通所介護(デイサービス) 10. (介護予防)通所/レクリエーション(デイケア) 11. (介護予防)短期入所(ケアハウス) 12. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 13. 看護小規模多機能型居宅介護 14. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム) 15. (介護予防)特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム、ケアハウス) 16. 小規模多機能型居宅介護 17. 介護医療院・介護療養型医療施設 18. その他の介護保険サービス・保健福祉サービス・社会福祉施設等(具体的に)	(5)貴施設での実施サービス及び併設施設・事業の有無・種別。(あてはまるものすべてに○をつけてください) 1. 病院・診療所 2. 特別養護老人ホーム(小規模も含む) 3. 介護老人保健施設 4. 居宅介護支援・介護予防居宅介護支援 5. (介護予防)訪問介護 6. (介護予防)訪問入浴介護 7. (介護予防)訪問看護 8. (介護予防)訪問介護/リハビリテーション 9. (介護予防・認知症対応型)通所介護(デイサービス) 10. (介護予防)通所/レクリエーション(デイケア) 11. (介護予防)短期入所(ケアハウス) 12. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 13. 看護小規模多機能型居宅介護 14. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム) 15. (介護予防)特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム、ケアハウス) 16. 小規模多機能型居宅介護 17. 介護医療院・介護療養型医療施設 18. その他の介護保険サービス・保健福祉サービス・社会福祉施設等(具体的に)	(6)貴施設での実施サービス及び併設施設・事業の有無・種別。(あてはまるものすべてに○をつけてください) 1. 病院・診療所 2. 特別養護老人ホーム(小規模も含む) 3. 介護老人保健施設 4. 居宅介護支援・介護予防居宅介護支援 5. (介護予防)訪問介護 6. (介護予防)訪問入浴介護 7. (介護予防)訪問看護 8. (介護予防)訪問介護/リハビリテーション 9. (介護予防・認知症対応型)通所介護(デイサービス) 10. (介護予防)通所/レクリエーション(デイケア) 11. (介護予防)短期入所(ケアハウス) 12. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 13. 看護小規模多機能型居宅介護 14. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム) 15. (介護予防)特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム、ケアハウス) 16. 小規模多機能型居宅介護 17. 介護医療院・介護療養型医療施設 18. その他の介護保険サービス・保健福祉サービス・社会福祉施設等(具体的に)	(4)貴施設での実施サービス及び併設施設・事業の有無・種別。(あてはまるものすべてに○をつけてください) 1. 病院・診療所 2. 特別養護老人ホーム(小規模も含む) 3. 介護老人保健施設 4. 居宅介護支援・介護予防居宅介護支援 5. (介護予防)訪問介護 6. (介護予防)訪問入浴介護 7. (介護予防)訪問看護 8. (介護予防)訪問介護/リハビリテーション 9. (介護予防・認知症対応型)通所介護(デイサービス) 10. (介護予防)通所/レクリエーション(デイケア) 11. (介護予防)短期入所(ケアハウス) 12. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 13. 看護小規模多機能型居宅介護 14. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム) 15. (介護予防)特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム、ケアハウス) 16. 小規模多機能型居宅介護 17. 介護医療院・介護療養型医療施設 18. その他の介護保険サービス・保健福祉サービス・社会福祉施設等(具体的に)	
	※サービス付高齢者向け住宅を設置・運営している場合、(7)(8)(9)について、ご回答ください。				同左		
	(7)状況把握(安否確認)サービスの確認頻度はどのくらいですか 1日()回				同左		
	(8)生活相談サービスの相談頻度はどのくらいですか? 延べ回数 月()回				同左		
	(9)状況把握(安否確認)、生活相談サービス以外の高齢者生活支援サービスを行っていますか。(あてはまるものすべてに○をつけてください) 1.食事の提供 2.入浴等の介護 3.調理等の家事 4.健康の維持増進 5.その他() 6.行っていない				同左		
	※(9)で(6)以外に○を入れた施設(住宅)にお伺いします。 (10)神戸有料老人ホーム設置運営指針指針に基づく管理規定等を制定していますか。 1. はい 2. いいえ				同左		

第6期 介護保険事業計画策定に向けての実績調査		第9期 介護保険事業計画策定に向けての実績調査					
	※(9)で「6」以外に○を入れた施設(住宅)にお伺いします。 (11)運営懇話会の開催頻度はどのくらいですか。 1年()回					同左	
問2	入所・入居者の状況 入所者数(要介護度・日常生活自立度別)						
問2 (1)	問2. 現在の入所者の入所者数、要介護度分布を下記にご記入下さい。 (1)入所者数 施設入所()名 (ショートステイ床の特別介護老人ホーム床としての一時的活用(特例利用分)を含む) 短期入所()名 合 計()名 (*施設入所者のうち神戸市以外の被保険者は何名ですか()名)	同左	問2. 現在の入所者の入所者数、要介護度分布を下記にご記入下さい。 (1)入所者数 施設入所()名 短期入所()名 合 計()名 (*施設入所者のうち神戸市以外の被保険者は何名ですか()名)	問2. 現在の入院・入居者の入居者(以下、「入院者等」という)の状況についてお伺いします。 貴施設の入院者等数、要介護度分布を下記にご記入ください。 (1)入院者等数 入院者等()名 (短期入所介護(ショートステイ)利用者は除く) ショートステイ利用者()名 合 計()名 (*施設入所者のうち神戸市以外の被保険者は何名ですか()名)	問2. 現在の入居者の人数、要介護度分布、認知症高齢者の日常生活自立度を下記にご記入ください。 (1)入居者数()名 入居者のうち特定施設入居者生活介護契約者()名、それ以外の方()名 (*施設入居者のうち神戸市以外の被保険者は何名ですか()名)	問2. 現在の入居者数、要介護度分布を下記にご記入ください。 (1)入居者数()名 (*施設入居者のうち神戸市以外の被保険者は何名ですか()名)	
問2 (2)	※以下は、施設入所者についてご記入ください。(ショート床の特例利用を含み、ショートステイ利用者は除く) (2)要介護度別 要介護1()名 要介護2()名 要介護3()名 要介護4()名 要介護5()名	同左	※以下は、施設入所者についてご記入ください。(ショートステイ利用者は除く) (2)要介護度別 要介護1()名 要介護2()名 要介護3()名 要介護4()名 要介護5()名	※以下は、入院者等についてご記入ください。(ショートステイ利用者は除く) (2)要介護度別 要介護1()名 要介護2()名 要介護3()名 要介護4()名 要介護5()名	※以下は、入居者についてご記入ください。(ショートステイ利用者は除く) (2)要介護度別 要介護1()名 要介護2()名 要介護3()名 要介護4()名 要介護5()名	※以下は、施設入居者についてご記入ください。(ショートステイ利用者は除く) (2)要介護度別 要介護1()名 要介護2()名 要介護3()名 要介護4()名 要介護5()名	
問2 (3)	(3)認知症高齢者の日常生活自立度別 自立()名 I ()名 II a ()名 II b ()名 III a ()名 III b ()名 IV ()名 M ()名 不明()名	同左	同左	同左	同左	(3)認知症高齢者の日常生活自立度別 該当なし()名 I ()名 II a ()名 II b ()名 III a ()名 III b ()名 IV ()名 M ()名 不明()名	
問2 (4)	(4)障害高齢者の日常生活自立度別 自立()名 ランクJ()名 ランクA()名 ランクB()名 ランクC()名	同左	同左	同左	同左	(4)障害高齢者の日常生活自立度別 該当なし()名 ランクJ()名 ランクA()名 ランクB()名 ランクC()名	
問2 (5)	(5)医療区分別 医療区分Ⅰ()名 医療区分Ⅱ()名 医療区分Ⅲ()名			同左			
問3	入退所・入退院の状況 入退所の状況、平均入院期間						
問3 (1)	問3. 入退所の状況についてお伺いします。 (1)平成31年1月1日以降の入退所の状況について下記にご記入下さい(ショートステイ利用分を除く)。	問3. 入退所の状況についてお伺いします。 (1)令和4年12月1日以降の入退所の状況について下記にご記入下さい(ショートステイ利用分を除く)。	問3. 入退所の状況についてお伺いします。 (1)令和4年12月1日以降の入退所の状況について下記にご記入下さい(ショートステイ利用分を除く)。	問3. 入退院・入退所の状況についてお伺いします。 (1)令和4年12月1日以降の入退院・入退所の状況について下記にご記入下さい(ショートステイ利用分を除く)。	問3. 入退院の状況についてお伺いします。 (1)令和4年12月1日以降の入退院の状況について下記にご記入下さい(ショートステイ利用分を除く)。	問3. 入退院の状況についてお伺いします。 (1)令和4年12月1日以降の入退院の状況について下記にご記入下さい(ショートステイ利用分を除く)。	
問3 (1)							
問3 (2)	(2)2～3年前(平成28～29年度)の状況と最近の状況と比較して、退所者の平均入所期間は長くなっていますか、短くなっていますか。(○は1つ) ①長くなっている (考えられる理由:) ②変わらない ③短くなっている (考えられる理由:) ④平成30年4月以降に開設した施設であるので比較できない。	(2)2～3年前(令和元～2年度)の状況と最近の状況と比較して、退所者の平均入所期間は長くなっていますか、短くなっていますか。(○は1つ) ①長くなっている (考えられる理由:) ②変わらない ③短くなっている (考えられる理由:) ④令和 年4月以降に開設した施設であるので比較できない。	(2)2～3年前(令和元～2年度)の状況と最近の状況と比較して、退所者の平均入所期間は長くなっていますか、短くなっていますか。(○は1つ) ①長くなっている (考えられる理由:) ②変わらない ③短くなっている (考えられる理由:) ④令和 年4月以降に開設した施設であるので比較できない。	(2)2～3年前(令和元～2年度)の状況と最近の状況と比較して、退院者の平均入所期間は長くなっていますか、短くなっていますか。(○は1つ) ①長くなっている (考えられる理由:) ②変わらない ③短くなっている (考えられる理由:) ④令和 年4月以降に開設した施設(住宅)であるので比較できない。	(2)2～3年前(令和元～2年度)の状況と最近の状況と比較して、退院者の平均入居期間は長くなっていますか、短くなっていますか。(○は1つ) ①長くなっている (考えられる理由:) ②変わらない ③短くなっている (考えられる理由:) ④令和 年4月以降に開設した施設(住宅)であるので比較できない。	(2)2～3年前(令和元～2年度)の状況と最近の状況と比較して、退居者の平均入居期間は長くなっていますか、短くなっていますか。(○は1つ) ①長くなっている (考えられる理由:) ②変わらない ③短くなっている (考えられる理由:) ④令和 年4月以降に開設した施設(住宅)であるので比較できない。	

第8期 介護保険事業計画策定に向けての実績調査		第9期 介護保険事業計画策定に向けての実績調査		第8期 介護保険事業計画策定に向けての実績調査		第9期 介護保険事業計画策定に向けての実績調査	
	(3)2～3年前(平成28～29年度)の状況と最近の状況を比較して、退所者に占める在宅復帰者の割合は増えていますか、減っていますか。(〇は1つ) ①増えている (考えられる理由:) ②変わらない。 ③減っている (考えられる理由:) ④平成30年4月以降に開設した施設であるので比較できない。		(3)2～3年前(令和元～2年度)の状況と最近の状況を比較して、退所者に占める在宅復帰者の割合は増えていますか、減っていますか。(〇は1つ) ①増えている (考えられる理由:) ②変わらない。 ③減っている (考えられる理由:) ④令和 年4月以降に開設した施設であるので比較できない。		(3)2～3年前(令和元～2年度)の状況と最近の状況を比較して、退所者に占める在宅復帰者の割合は増えていますか、減っていますか。(〇は1つ) ①増えている (考えられる理由:) ②変わらない。 ③減っている (考えられる理由:) ④令和 年4月以降に開設した施設であるので比較できない。		(3)2～3年前(令和元～2年度)の状況と最近の状況を比較して、退所者に占める在宅復帰者の割合は増えていますか、減っていますか。(〇は1つ) ①増えている (考えられる理由:) ②変わらない。 ③減っている (考えられる理由:) ④令和 年4月以降に開設した施設であるので比較できない。
問3	(3)入所希望者をすべて受け入れていますか。 1. はい 2. いいえ	同左	(4)入所希望者をすべて受け入れていますか。 1. はい 2. いいえ	(4)入所希望者をすべて受け入れていますか。 1. はい 2. いいえ	(3)入所希望者をすべて受け入れていますか。 1. はい 2. いいえ	(3)入所希望者をすべて受け入れていますか。 1. はい 2. いいえ	(3)入所希望者をすべて受け入れていますか。 1. はい 2. いいえ
問3	※(3)で「2」と回答した施設にお伺いします。 (4)入所が困難な理由は何ですか。1番目と2番目の理由を選択してください。なお、1番目は①、2番目は②を()内に記入してください。 1. 重度な認知症が見受けられるため、支援が困難である。 2. 高度な医療的ケアが必要であるため、支援が困難である。 3. 貴施設の利用に係る利用者負担額が構えない経済状態にある。 4. その他(具体的に)	同左	※(4)で「2」と回答した施設にお伺いします。 (5)入所が困難な理由は何ですか。1番目と2番目の理由を選択してください。なお、1番目は①、2番目は②を()内に記入してください。 1. 重度な認知症が見受けられるため、支援が困難である。 2. 高度な医療的ケアが必要であるため、支援が困難である。 3. 貴施設の利用に係る利用者負担額が構えない経済状態にある。 4. その他(具体的に)	※(4)で「2」と回答した施設にお伺いします。 (5)入所が困難な理由は何ですか。1番目と2番目の理由を選択してください。なお、1番目は①、2番目は②を()内に記入してください。 1. 重度な認知症が見受けられるため、支援が困難である。 2. 高度な医療的ケアが必要であるため、支援が困難である。 3. 貴施設の利用に係る利用者負担額が構えない経済状態にある。 4. その他(具体的に)	同左	同左	同左
問4	入所者の状況	入所者の状況	入所者の状況	入所者の状況	入所者の状況	入所者の状況	入所者の状況
問4	問4. 貴施設には下記のような方はおよそ何人入所されていますか。 1. おむつ使用 常時使用 ()名 夜間のみ使用 ()名 2. 食事の介助が必要 ()名(一部介助も含む) 3. 洗面の介助が必要 ()名(一部介助も含む) 4. 入浴の介助が必要 ()名(一部介助も含む) 5. 嚥下困難 ()名(見守りも含む) 6. 徘徊 ()名(時々も含む) 7. 暴言・暴行 ()名 8. 不潔行為 ()名 9. その他(具体的に) ()名	同左	同左	同左	問4. 貴施設(住宅)には下記のような方はおよそ何人入所されていますか。 1. おむつ使用 常時使用 ()名 夜間のみ使用 ()名 2. 食事の介助が必要 ()名(一部介助も含む) 3. 洗面の介助が必要 ()名(一部介助も含む) 4. 入浴の介助が必要 ()名(一部介助も含む) 5. 嚥下困難 ()名(見守りも含む) 6. 徘徊 ()名(時々も含む) 7. 暴言・暴行 ()名 8. 不潔行為 ()名 9. その他(具体的に) ()名	同左	同左
問5	短期入所(ショートステイ)の利用状況	短期入所(ショートステイ)の利用状況	短期入所(ショートステイ)の利用状況	短期入所(ショートステイ)の利用状況	短期入所(ショートステイ)の利用状況	短期入所(ショートステイ)の利用状況	短期入所(ショートステイ)の利用状況
問5	問6. 短期入所(ショートステイ)の利用状況についてお伺いします。 (1)ショートステイを併設している場合の定員数をご記入下さい。 ()床(ショートステイ専用床のみ)	同左					
問5	(2)平成31年1月～令和元年12月のショートステイ利用率をご記入ください。 (おおよそ)%		(2)令和3年12月～令和4年11月のショートステイ利用率をご記入ください。 (おおよそ)%				
問5	問5. 在宅復帰・在宅療養支援の実施状況についてお伺いします。 (1)貴施設は在宅復帰・在宅療養支援機能加算を算定していますか。(〇は1つ) 1. 算定している 2. 在宅強化型施設なので算定していない 3. 要件は満たしているが算定していない 4. 要件は満たしていないので算定していない	同左					
問5	※(1)で「1」または「2」とお答えの施設にお伺いします。 (2)過去6ヶ月間の退所者のうち在宅で介護されることとなった高齢者の割合は何割ですか。 ()割	同左					
問5	(3)在宅復帰・在宅療養支援を実施するにあたり、どのようなことに力を入れていますか。(〇はいくつでも) 1. 利用者・家族に対する十分な説明と同意の取得 2. 支援のための組織の設置や人員の配置 3. 地域の医療機関や介護事業所等との連携強化 4. 在宅復帰に関する職員研修 5. 在宅復帰に向けたハビリテーションサービスの強化 6. その他(具体的に)	同左					
問6	職員の状況	職員の状況	職員の状況	職員の状況	職員の状況	職員の状況	職員の状況
問6	問6. 貴施設の職員についてお伺いします。 (1)職員の配置の現状はどのようになっていますか。人数を数字で記入してください。	同左	問5. 貴施設の職員についてお伺いします。 (1)職員の配置の現状はどのようになっていますか。人数を数字で記入してください。	問5. 貴施設の職員についてお伺いします。 (1)職員の配置の現状はどのようになっていますか。人数を数字で記入してください。	問5. 貴施設(住宅)の職員についてお伺いします。 (1)職員の配置の現状はどのようになっていますか。人数を数字で記入してください。	問5. 貴施設の職員についてお伺いします。 (1)職員の配置の現状はどのようになっていますか。人数を数字で記入してください。	問5. 貴施設の職員についてお伺いします。 (1)職員の配置の現状はどのようになっていますか。人数を数字で記入してください。

第8期 介護保険事業計画策定に向けての実働調査		第9期 介護保険事業計画策定に向けての実働調査		第8期 介護保険事業計画策定に向けての実働調査		第9期 介護保険事業計画策定に向けての実働調査	
問6	(6) 上記の退職者が転職している場合、転職先をわかる範囲でご記入下さい。 (6) 1. 福祉関係 ()名 2. 福祉関係以外()名	同左	同左	同左	同左	同左	同左
	(7) 貴事業所では、職員の人材の確保・育成を図るためにどのような取り組みを行っていますか。(〇はいくつでも) 1. 給与の改善 2. 手当や一時金の改善 3. 職員の増員 4. 有休休暇の取得促進など労働条件の改善 5. 能力や仕事内容の詳細と配置・処遇への反映 6. 昇給または昇進・昇格要件の明確化 7. 正課職員(正社員)への転換機会の提供 8. 資格取得や能力向上に向けた教育研修機会の充実や対象者の拡大 9. 資格取得や外部の研修参加にかかる費用の一部負担 10. 定期的なミーティング等による仕事上コミュニケーションの充実 11. 仕事内容や労働条件に関する関係団体の確保 12. 腰痛対策、メンタルヘルスマテラス等を含めた健康管理の充実 13. 出張・子育て・家族の介護等を行う職員への支援の強化 14. 職員の仕事内容と必要な能力等の明示 15. 新人の指導担当・アドバイザーの設置 16. 業務改善や効率化等による働きやすい職場作り 17. 経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会の確保 18. 福利厚生や充実及び職場内の交流促進 19. 悩み、不満、不安などの相談窓口の設置 20. 職場環境の整備(休憩室、談話室の確保等) 21. 外国人介護従事者の受け入れ 22. 特に方策はとっていない 23. その他(具体的に)	(7) 貴事業所では、職員の人材の確保・育成を図るためにどのような取り組みを行っていますか。(〇はいくつでも) 1. 給与の改善 2. 手当や一時金の改善 3. 職員の増員 4. 有休休暇の取得促進など労働条件の改善 5. 能力や仕事内容の詳細と配置・処遇への反映 6. 昇給または昇進・昇格要件の明確化 7. 正課職員(正社員)への転換機会の提供 8. 資格取得や能力向上に向けた教育研修機会の充実や対象者の拡大 9. 資格取得や外部の研修参加にかかる費用の一部負担 10. 定期的なミーティング等による仕事上コミュニケーションの充実 11. 仕事内容や労働条件に関する関係団体の確保 12. 腰痛対策、メンタルヘルスマテラス等を含めた健康管理の充実 13. 出張・子育て・家族の介護等を行う職員への支援の強化 14. 職員の仕事内容と必要な能力等の明示 15. 新人の指導担当・アドバイザーの設置 16. 業務改善や効率化等による働きやすい職場作り 17. 経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会の確保 18. 福利厚生や充実及び職場内の交流促進 19. 悩み、不満、不安などの相談窓口の設置 20. 職場環境の整備(休憩室、談話室の確保等) 21. 外国人介護従事者の受け入れ 22. 特に方策はとっていない 23. その他(具体的に)	(7) 貴事業所では、職員の人材の確保・育成を図るためにどのような取り組みを行っていますか。(〇はいくつでも) 1. 給与の改善 2. 手当や一時金の改善 3. 職員の増員 4. 有休休暇の取得促進など労働条件の改善 5. 能力や仕事内容の詳細と配置・処遇への反映 6. 昇給または昇進・昇格要件の明確化 7. 正課職員(正社員)への転換機会の提供 8. 資格取得や能力向上に向けた教育研修機会の充実や対象者の拡大 9. 資格取得や外部の研修参加にかかる費用の一部負担 10. 定期的なミーティング等による仕事上コミュニケーションの充実 11. 仕事内容や労働条件に関する関係団体の確保 12. 腰痛対策、メンタルヘルスマテラス等を含めた健康管理の充実 13. 出張・子育て・家族の介護等を行う職員への支援の強化 14. 職員の仕事内容と必要な能力等の明示 15. 新人の指導担当・アドバイザーの設置 16. 業務改善や効率化等による働きやすい職場作り 17. 経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会の確保 18. 福利厚生や充実及び職場内の交流促進 19. 悩み、不満、不安などの相談窓口の設置 20. 職場環境の整備(休憩室、談話室の確保等) 21. 外国人介護従事者の受け入れ 22. 特に方策はとっていない 23. その他(具体的に)	(7) 貴事業所では、職員の人材の確保・育成を図るためにどのような取り組みを行っていますか。(〇はいくつでも) 1. 給与の改善 2. 手当や一時金の改善 3. 職員の増員 4. 有休休暇の取得促進など労働条件の改善 5. 能力や仕事内容の詳細と配置・処遇への反映 6. 昇給または昇進・昇格要件の明確化 7. 正課職員(正社員)への転換機会の提供 8. 資格取得や能力向上に向けた教育研修機会の充実や対象者の拡大 9. 資格取得や外部の研修参加にかかる費用の一部負担 10. 定期的なミーティング等による仕事上コミュニケーションの充実 11. 仕事内容や労働条件に関する関係団体の確保 12. 腰痛対策、メンタルヘルスマテラス等を含めた健康管理の充実 13. 出張・子育て・家族の介護等を行う職員への支援の強化 14. 職員の仕事内容と必要な能力等の明示 15. 新人の指導担当・アドバイザーの設置 16. 業務改善や効率化等による働きやすい職場作り 17. 経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会の確保 18. 福利厚生や充実及び職場内の交流促進 19. 悩み、不満、不安などの相談窓口の設置 20. 職場環境の整備(休憩室、談話室の確保等) 21. 外国人介護従事者の受け入れ 22. 特に方策はとっていない 23. その他(具体的に)	(7) 貴事業所では、職員の人材の確保・育成を図るためにどのような取り組みを行っていますか。(〇はいくつでも) 1. 給与の改善 2. 手当や一時金の改善 3. 職員の増員 4. 有休休暇の取得促進など労働条件の改善 5. 能力や仕事内容の詳細と配置・処遇への反映 6. 昇給または昇進・昇格要件の明確化 7. 正課職員(正社員)への転換機会の提供 8. 資格取得や能力向上に向けた教育研修機会の充実や対象者の拡大 9. 資格取得や外部の研修参加にかかる費用の一部負担 10. 定期的なミーティング等による仕事上コミュニケーションの充実 11. 仕事内容や労働条件に関する関係団体の確保 12. 腰痛対策、メンタルヘルスマテラス等を含めた健康管理の充実 13. 出張・子育て・家族の介護等を行う職員への支援の強化 14. 職員の仕事内容と必要な能力等の明示 15. 新人の指導担当・アドバイザーの設置 16. 業務改善や効率化等による働きやすい職場作り 17. 経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会の確保 18. 福利厚生や充実及び職場内の交流促進 19. 悩み、不満、不安などの相談窓口の設置 20. 職場環境の整備(休憩室、談話室の確保等) 21. 外国人介護従事者の受け入れ 22. 特に方策はとっていない 23. その他(具体的に)	(7) 貴事業所では、職員の人材の確保・育成を図るためにどのような取り組みを行っていますか。(〇はいくつでも) 1. 給与の改善 2. 手当や一時金の改善 3. 職員の増員 4. 有休休暇の取得促進など労働条件の改善 5. 能力や仕事内容の詳細と配置・処遇への反映 6. 昇給または昇進・昇格要件の明確化 7. 正課職員(正社員)への転換機会の提供 8. 資格取得や能力向上に向けた教育研修機会の充実や対象者の拡大 9. 資格取得や外部の研修参加にかかる費用の一部負担 10. 定期的なミーティング等による仕事上コミュニケーションの充実 11. 仕事内容や労働条件に関する関係団体の確保 12. 腰痛対策、メンタルヘルスマテラス等を含めた健康管理の充実 13. 出張・子育て・家族の介護等を行う職員への支援の強化 14. 職員の仕事内容と必要な能力等の明示 15. 新人の指導担当・アドバイザーの設置 16. 業務改善や効率化等による働きやすい職場作り 17. 経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会の確保 18. 福利厚生や充実及び職場内の交流促進 19. 悩み、不満、不安などの相談窓口の設置 20. 職場環境の整備(休憩室、談話室の確保等) 21. 外国人介護従事者の受け入れ 22. 特に方策はとっていない 23. その他(具体的に)	
	神戸市介護人材確保プロジェクト「コウベケアイコ」の取組や、市内介護職員や施設にたいわたりややくる具体的な情報発信を行う「コウベケアイコ」のWebサイトを知っていますか (1)プロジェクトもWebサイトも知っている (2)神戸市が「コウベケアイコ」プロジェクトを実施しているのは知っているが、Webサイトは知らなかった (3)どちらとも知らない ※サイトのQRコードを掲載する	神戸市介護人材確保プロジェクト「コウベケアイコ」の取組や、市内介護職員や施設にたいわたりややくる具体的な情報発信を行う「コウベケアイコ」のWebサイトを知っていますか (1)プロジェクトもWebサイトも知っている (2)神戸市が「コウベケアイコ」プロジェクトを実施しているのは知っているが、Webサイトは知らなかった (3)どちらとも知らない ※サイトのQRコードを掲載する	神戸市介護人材確保プロジェクト「コウベケアイコ」の取組や、市内介護職員や施設にたいわたりややくる具体的な情報発信を行う「コウベケアイコ」のWebサイトを知っていますか (1)プロジェクトもWebサイトも知っている (2)神戸市が「コウベケアイコ」プロジェクトを実施しているのは知っているが、Webサイトは知らなかった (3)どちらとも知らない ※サイトのQRコードを掲載する	神戸市介護人材確保プロジェクト「コウベケアイコ」の取組や、市内介護職員や施設にたいわたりややくる具体的な情報発信を行う「コウベケアイコ」のWebサイトを知っていますか (1)プロジェクトもWebサイトも知っている (2)神戸市が「コウベケアイコ」プロジェクトを実施しているのは知っているが、Webサイトは知らなかった (3)どちらとも知らない ※サイトのQRコードを掲載する	神戸市介護人材確保プロジェクト「コウベケアイコ」の取組や、市内介護職員や施設にたいわたりややくる具体的な情報発信を行う「コウベケアイコ」のWebサイトを知っていますか (1)プロジェクトもWebサイトも知っている (2)神戸市が「コウベケアイコ」プロジェクトを実施しているのは知っているが、Webサイトは知らなかった (3)どちらとも知らない ※サイトのQRコードを掲載する	神戸市介護人材確保プロジェクト「コウベケアイコ」の取組や、市内介護職員や施設にたいわたりややくる具体的な情報発信を行う「コウベケアイコ」のWebサイトを知っていますか (1)プロジェクトもWebサイトも知っている (2)神戸市が「コウベケアイコ」プロジェクトを実施しているのは知っているが、Webサイトは知らなかった (3)どちらとも知らない ※サイトのQRコードを掲載する	神戸市介護人材確保プロジェクト「コウベケアイコ」の取組や、市内介護職員や施設にたいわたりややくる具体的な情報発信を行う「コウベケアイコ」のWebサイトを知っていますか (1)プロジェクトもWebサイトも知っている (2)神戸市が「コウベケアイコ」プロジェクトを実施しているのは知っているが、Webサイトは知らなかった (3)どちらとも知らない ※サイトのQRコードを掲載する
	(8) 介護人材の確保・育成について、行政・事業者団体に期待することはありますか。(〇はいくつでも) 1. 学校、学生、保護者等に対する介護職の魅力を広報、入職を促進するためのイメージアップを図る取り組みの推進 2. 介護分野で働くとしている者が、事前に事業所の状況を知ることができるよう、情報公表制度を活用した介護職員の労働条件などの公表を推奨 3. 介護分野に特化した就職フェア等の取り組み 4. 潜在的な資格者等の再就業を促進するための研修等実施 5. 専門的な知識を習得しキャリアアップが図られるよう職員に対する研修の受講支援 6. 神戸市高齢者介護士認定制度を推進するための取組・支援 7. 法人の枠を超えた情報交換や研修等の実施の推進 8. 介護キャリア登録制度などを活用した事業者によるOJT研修の促進 9. 介護キャリア登録制度などを活用した事業者によるOJT研修の促進 10. 外国人介護従事者の受け入れのための取組の推進 11. 介護職員の負担軽減(介護職員の腰痛予防等)の促進 12. 介護福祉機器の導入など職場環境の整備を図るための助成金充実 13. ICTを活用した情報連携の推進・業務の効率化 14. 介護報酬の改定を通じた介護職員の更なる処遇改善 15. 事業所による処遇改善の取り組みの推進 16. 施設長や人事労務管理者などに対する人事労務研修の実施 17. 外国人介護従事者受け入れのための取組の推進 18. 特にない 19. その他(具体的に)	(8) 介護人材の確保・育成(コウベケアイコ)について、行政に期待することはありますか。(〇はいくつでも) 1. 特にない 2. 介護職のイメージアップ(魅力向上)の取組 3. 神戸市介護施設・事業者の広報支援 4. 職員のキャリアアップ支援 5. 潜在的な介護福祉士等の再就職支援 6. 事業者(管理者)の人材マネジメント能力強化の研修 7. 事業者(管理者)の採用強化の研修 8. 事業者(管理者)の働き方改革の研修 9. 介護ロボット・ICT機器の導入・定着促進 10. 外国人介護従事者の受け入れ 11. 介護職員の相談窓口の設置 12. その他(具体的に)	(8) 介護人材の確保・育成(コウベケアイコ)について、行政に期待することはありますか。(〇はいくつでも) 1. 特にない 2. 介護職のイメージアップ(魅力向上)の取組 3. 神戸市介護施設・事業者の広報支援 4. 職員のキャリアアップ支援 5. 潜在的な介護福祉士等の再就職支援 6. 事業者(管理者)の人材マネジメント能力強化の研修 7. 事業者(管理者)の採用強化の研修 8. 事業者(管理者)の働き方改革の研修 9. 介護ロボット・ICT機器の導入・定着促進 10. 外国人介護従事者の受け入れ 11. 介護職員の相談窓口の設置 12. その他(具体的に)	(8) 介護人材の確保・育成(コウベケアイコ)について、行政に期待することはありますか。(〇はいくつでも) 1. 特にない 2. 介護職のイメージアップ(魅力向上)の取組 3. 神戸市介護施設・事業者の広報支援 4. 職員のキャリアアップ支援 5. 潜在的な介護福祉士等の再就職支援 6. 事業者(管理者)の人材マネジメント能力強化の研修 7. 事業者(管理者)の採用強化の研修 8. 事業者(管理者)の働き方改革の研修 9. 介護ロボット・ICT機器の導入・定着促進 10. 外国人介護従事者の受け入れ 11. 介護職員の相談窓口の設置 12. その他(具体的に)	(8) 介護人材の確保・育成(コウベケアイコ)について、行政に期待することはありますか。(〇はいくつでも) 1. 特にない 2. 介護職のイメージアップ(魅力向上)の取組 3. 神戸市介護施設・事業者の広報支援 4. 職員のキャリアアップ支援 5. 潜在的な介護福祉士等の再就職支援 6. 事業者(管理者)の人材マネジメント能力強化の研修 7. 事業者(管理者)の採用強化の研修 8. 事業者(管理者)の働き方改革の研修 9. 介護ロボット・ICT機器の導入・定着促進 10. 外国人介護従事者の受け入れ 11. 介護職員の相談窓口の設置 12. その他(具体的に)	(8) 介護人材の確保・育成(コウベケアイコ)について、行政に期待することはありますか。(〇はいくつでも) 1. 特にない 2. 介護職のイメージアップ(魅力向上)の取組 3. 神戸市介護施設・事業者の広報支援 4. 職員のキャリアアップ支援 5. 潜在的な介護福祉士等の再就職支援 6. 事業者(管理者)の人材マネジメント能力強化の研修 7. 事業者(管理者)の採用強化の研修 8. 事業者(管理者)の働き方改革の研修 9. 介護ロボット・ICT機器の導入・定着促進 10. 外国人介護従事者の受け入れ 11. 介護職員の相談窓口の設置 12. その他(具体的に)	(8) 介護人材の確保・育成(コウベケアイコ)について、行政に期待することはありますか。(〇はいくつでも) 1. 特にない 2. 介護職のイメージアップ(魅力向上)の取組 3. 神戸市介護施設・事業者の広報支援 4. 職員のキャリアアップ支援 5. 潜在的な介護福祉士等の再就職支援 6. 事業者(管理者)の人材マネジメント能力強化の研修 7. 事業者(管理者)の採用強化の研修 8. 事業者(管理者)の働き方改革の研修 9. 介護ロボット・ICT機器の導入・定着促進 10. 外国人介護従事者の受け入れ 11. 介護職員の相談窓口の設置 12. その他(具体的に)
問6	(9) 現在、貴施設に外国人介護職員(パートタイム、アルバイト等を含む)はいくらいますか。(〇はいくつ) 1. 現在、外国人介護職員がいる →(10)へ 2. 現在、外国人介護職員はいないが受入を検討中(または関心がある) →(15)へ 3. 現在、外国人介護職員はいないし、受け入れ予定もない →(15)へ	同左	同左	同左	同左	同左	同左
問6	(9) 現在、貴施設に外国人介護職員(パートタイム、アルバイト等を含む)はいくらいますか。(〇はいくつ) 1. 現在、外国人介護職員がいる →(10)へ 2. 現在、外国人介護職員はいないが受入を検討中(または関心がある) →(15)へ 3. 現在、外国人介護職員はいないし、受け入れ予定もない →(15)へ	同左	同左	同左	同左	同左	同左

第8期 介護保険事業計画策定に向けての実績調査		第9期 介護保険事業計画策定に向けての実績調査		
問6 (10)	<p>(10)現在の、外国人介護職員の人数と、その在留資格の内訳を教えてください。</p> <p>・EPA(経済連携協定) ()名 ・技能実習(介護職種) ()名 ・留学(介護福祉士養成施設※) ()名 ※現在、日本語学校等に在学中で介護福祉士養成施設に進学予定も含む ・特定技能 ()名 ・その他() ()名</p>	<p>(10)現在の、外国人介護職員の人数と、その在留資格の内訳を教えてください。</p> <p>・特定技能1号 ()名 ・技能実習(介護職種) ()名 ・EPA(経済連携協定) ()名 ・在留資格「介護」 ()名 ・留学(介護福祉士養成施設※) ()名 ※現在、日本語学校等に在学中で介護福祉士養成施設に進学予定も含む ・その他() ()名</p>	<p>(10)現在の、外国人介護職員の人数と、その在留資格の内訳を教えてください。</p> <p>・特定技能1号 ()名 ・技能実習(介護職種) ()名 ・EPA(経済連携協定) ()名 ・在留資格「介護」 ()名 ・留学(介護福祉士養成施設※) ()名 ※現在、日本語学校等に在学中で介護福祉士養成施設に進学予定も含む ・その他() ()名</p>	<p>(10)現在の、外国人介護職員の人数と、その在留資格の内訳を教えてください。</p> <p>・特定技能1号 ()名 ・技能実習(介護職種) ()名 ・EPA(経済連携協定) ()名 ・在留資格「介護」 ()名 ・留学(介護福祉士養成施設※) ()名 ※現在、日本語学校等に在学中で介護福祉士養成施設に進学予定も含む ・その他() ()名</p>
問6 (11)	<p>(11)外国人介護職員の国籍別の内訳を教えてください</p> <p>・インドネシア ()名 ・フィリピン ()名 ・ベトナム ()名 ・ミャンマー ()名 ・中国 ()名 ・韓国 ()名 ・台湾 ()名 ・その他(国名:) ()名</p>	<p>(11)外国人介護職員の国籍別の内訳を教えてください</p> <p>・ベトナム ()名 ・インドネシア ()名 ・フィリピン ()名 ・ミャンマー ()名 ・ネパール ()名 ・モンゴル ()名 ・中国 ()名 ・その他(国名:) ()名</p>	<p>(11)外国人介護職員の国籍別の内訳を教えてください</p> <p>・ベトナム ()名 ・インドネシア ()名 ・フィリピン ()名 ・ミャンマー ()名 ・ネパール ()名 ・モンゴル ()名 ・中国 ()名 ・その他(国名:) ()名</p>	<p>(11)外国人介護職員の国籍別の内訳を教えてください</p> <p>・ベトナム ()名 ・インドネシア ()名 ・フィリピン ()名 ・ミャンマー ()名 ・ネパール ()名 ・モンゴル ()名 ・中国 ()名 ・その他(国名:) ()名</p>
問6 (12)	<p>(12)外国人職員について、現在困っていることを教えてください。(〇はいつでも)</p> <p>1. 日本人職員との意思疎通に支障がある 2. 利用者等との意思疎通に支障がある 3. 日本語文書力・読解力の不足等により、介護記録の作成に支障がある 4. 業務以外の日常生活における支援や相談等の対応が難しい 5. 外国人職員の指導等に対する指導・支援力強化の講習 6. 外国人介護人材受入に関する制度や留意点の講習 7. 外国人介護職員を指導できる職員の確保が難しい 8. いずれ帰国してしまうなど人材の定着には繋がらないと思うから 9. その他()</p>	<p>(12)外国人職員について、行政に期待する支援について教えてください。(〇はいつでも)</p> <p>1. 日本語文書力・読解力向上の支援 2. 介護福祉資格取得時の支援 3. 外国人職員同士の交流会 4. 外国人職員に対するわかりやすい情報発信 5. 外国人職員に対する日本の文化の講習 6. 外国人職員の指導者等に対する指導・支援力強化の講習 7. 外国人介護人材受入に関する制度や留意点の講習 8. 受入れ外国人の住居確保支援 9. 外国帰国による現地視察への支援 10. その他()</p>	<p>(12)外国人職員について、行政に期待する支援について教えてください。(〇はいつでも)</p> <p>1. 日本語文書力・読解力向上の支援 2. 介護福祉資格取得時の支援 3. 外国人職員同士の交流会 4. 外国人職員に対するわかりやすい情報発信 5. 外国人職員に対する日本の文化の講習 6. 外国人職員の指導者等に対する指導・支援力強化の講習 7. 外国人介護人材受入に関する制度や留意点の講習 8. 受入れ外国人の住居確保支援 9. 外国帰国による現地視察への支援 10. その他()</p>	<p>(12)外国人職員について、行政に期待する支援について教えてください。(〇はいつでも)</p> <p>1. 日本語文書力・読解力向上の支援 2. 介護福祉資格取得時の支援 3. 外国人職員同士の交流会 4. 外国人職員に対するわかりやすい情報発信 5. 外国人職員に対する日本の文化の講習 6. 外国人職員の指導者等に対する指導・支援力強化の講習 7. 外国人介護人材受入に関する制度や留意点の講習 8. 受入れ外国人の住居確保支援 9. 外国帰国による現地視察への支援 10. その他()</p>
問6 (13)	<p>(13)今後(または引き続き)受入を検討している(または関心のある)在留資格はどれですか。(〇はいつでも)</p> <p>1.EPA(経済連携協定) 2.技能実習(介護職種) 3.留学(介護福祉士養成施設※) ※介護福祉士養成施設進学前提で日本語学校に入学する場合も含む 4.在留資格「介護」 5.特定技能 6.その他()</p>	<p>(13)今後(または引き続き)受入を検討している(または関心のある)在留資格を教えてください。(〇はいつでも)</p> <p>1.特定技能1号 2.技能実習(介護職種) 3.EPA(経済連携協定) 4.在留資格「介護」 5.留学(介護福祉士養成施設※) ※現在、日本語学校等に在学中で介護福祉士養成施設に進学予定も含む 6.その他()</p>	<p>(13)今後(または引き続き)受入を検討している(または関心のある)在留資格を教えてください。(〇はいつでも)</p> <p>1.特定技能1号 2.技能実習(介護職種) 3.EPA(経済連携協定) 4.在留資格「介護」 5.留学(介護福祉士養成施設※) ※現在、日本語学校等に在学中で介護福祉士養成施設に進学予定も含む 6.その他()</p>	<p>(13)今後(または引き続き)受入を検討している(または関心のある)在留資格を教えてください。(〇はいつでも)</p> <p>1.特定技能1号 2.技能実習(介護職種) 3.EPA(経済連携協定) 4.在留資格「介護」 5.留学(介護福祉士養成施設※) ※現在、日本語学校等に在学中で介護福祉士養成施設に進学予定も含む 6.その他()</p>
問6 (14)	<p>(14)今後(または引き続き)受入を検討している(または関心のある)外国人介護職員の国籍はどれですか。(〇はいつでも)</p> <p>1.ベトナム 2.インドネシア 3.フィリピン 4.ミャンマー 5.中国 6.韓国 7.台湾 8.その他(国名:) →問7へ</p>	<p>(14)今後(または引き続き)受入を検討している(または関心のある)外国人介護職員の国籍を教えてください。(〇はいつでも)</p> <p>1.ベトナム 2.インドネシア 3.フィリピン 4.ミャンマー 5.ネパール 6.モンゴル 7.中国 8.その他(国名:) →問7へ</p>	<p>(14)今後(または引き続き)受入を検討している(または関心のある)外国人介護職員の国籍はどれですか。(〇はいつでも)</p> <p>1.ベトナム 2.インドネシア 3.フィリピン 4.ミャンマー 5.ネパール 6.モンゴル 7.中国 8.その他(国名:) →問6へ</p>	<p>(14)今後(または引き続き)受入を検討している(または関心のある)外国人介護職員の国籍はどれですか。(〇はいつでも)</p> <p>1.ベトナム 2.インドネシア 3.フィリピン 4.ミャンマー 5.ネパール 6.モンゴル 7.中国 8.その他(国名:) →問6へ</p>
問6 (15)	<p>(15)外国人職員について、受入を考えていない理由を教えてください。(〇はいつでも)</p> <p>1.利用者や日本人職員との意思疎通に不安があるから 2.日本語文書力・読解力の不足等により、できる仕事に限りがあると 3.受入や雇用方法がわからないから 4.費用にどのような人が来るかわからず、一緒に働くイメージがもてないから 5.業務以外の日常生活における支援や相談等の対応が難しいと思うから 6.人件費以外にさまざまなコストがかかると思うから 7.外国人介護職員を指導できる職員の確保が難しいから 8.いずれ帰国してしまうなど人材の定着には繋がらないと思うから 9.その他()</p>	<p>(15)外国人職員について、受入を考えていない理由を教えてください。(〇はいつでも)</p> <p>1.利用者や日本人職員との意思疎通に不安があるから 2.日本語文書力・読解力の不足等により、できる仕事に限りがあると 3.受入や雇用方法がわからないから 4.費用にどのような人が来るかわからず、一緒に働くイメージがもてないから 5.業務以外の日常生活における支援や相談等の対応が難しいと思うから 6.人件費以外にさまざまなコストがかかると思うから 7.外国人介護職員を指導できる職員の確保が難しいから 8.いずれ帰国してしまうなど人材の定着には繋がらないと思うから 9.その他()</p>	<p>(15)外国人職員について、受入を考えていない理由を教えてください。(〇はいつでも)</p> <p>1.利用者や日本人職員との意思疎通に不安があるから 2.日本語文書力・読解力の不足等により、できる仕事に限りがあると 3.受入や雇用方法がわからないから 4.費用にどのような人が来るかわからず、一緒に働くイメージがもてないから 5.業務以外の日常生活における支援や相談等の対応が難しいと思うから 6.人件費以外にさまざまなコストがかかると思うから 7.外国人介護職員を指導できる職員の確保が難しいから 8.いずれ帰国してしまうなど人材の定着には繋がらないと思うから 9.その他()</p>	<p>(15)外国人職員について、受入を考えていない理由を教えてください。(〇はいつでも)</p> <p>1.利用者や日本人職員との意思疎通に不安があるから 2.日本語文書力・読解力の不足等により、できる仕事に限りがあると 3.受入や雇用方法がわからないから 4.費用にどのような人が来るかわからず、一緒に働くイメージがもてないから 5.業務以外の日常生活における支援や相談等の対応が難しいと思うから 6.人件費以外にさまざまなコストがかかると思うから 7.外国人介護職員を指導できる職員の確保が難しいから 8.いずれ帰国してしまうなど人材の定着には繋がらないと思うから 9.その他()</p>

	第8期 介護保険事業計画策定に向けての実績調査	第9期 介護保険事業計画策定に向けての実績調査			
問7	介護職員処遇改善の状況	介護職員処遇改善の状況	介護職員処遇改善の状況		
問7 (1)	問7 介護職員処遇改善加算の状況についてお伺いします。 (1)介護職員処遇改善加算は何を算定していますか。(〇は1つ) 1. 介護職員処遇改善加算(Ⅰ) 2. 介護職員処遇改善加算(Ⅱ) 3. 介護職員処遇改善加算(Ⅲ) 4. 介護職員処遇改善加算(Ⅳ) 5. 介護職員処遇改善加算(Ⅴ) 6. 算定していない。	問7 介護職員等の処遇改善に関する加算の状況についてお伺いします。 (1)介護職員等の処遇改善に関する加算は何を算定していますか。(〇は最大3) 1. 介護職員処遇改善加算(Ⅰ) 2. 介護職員処遇改善加算(Ⅱ) 3. 介護職員処遇改善加算(Ⅲ) 4. 介護職員等特定処遇改善加算(Ⅰ) 5. 介護職員等特定処遇改善加算(Ⅱ) 6. 介護職員等ベースアップ等支援加算 7. いずれも算定していない。	問7 介護職員等の処遇改善に関する加算の状況についてお伺いします。 (1)介護職員等の処遇改善に関する加算は何を算定していますか。(〇は最大3) 1. 介護職員処遇改善加算(Ⅰ) 2. 介護職員処遇改善加算(Ⅱ) 3. 介護職員処遇改善加算(Ⅲ) 4. 介護職員等特定処遇改善加算(Ⅰ) 5. 介護職員等特定処遇改善加算(Ⅱ) 6. 介護職員等ベースアップ等支援加算 7. いずれも算定していない。	問6 介護職員等の処遇改善に関する加算の状況についてお伺いします。 (1)介護職員等の処遇改善に関する加算は何を算定していますか。(〇は最大3) 1. 介護職員処遇改善加算(Ⅰ) 2. 介護職員処遇改善加算(Ⅱ) 3. 介護職員処遇改善加算(Ⅲ) 4. 介護職員等特定処遇改善加算(Ⅰ) 5. 介護職員等特定処遇改善加算(Ⅱ) 6. 介護職員等ベースアップ等支援加算 7. いずれも算定していない。	※特定施設を設置・運営している場合、問6についてご回答ください。 問6 介護職員等の処遇改善に関する加算の状況についてお伺いします。 (1)介護職員等の処遇改善に関する加算は何を算定していますか。(〇は最大3) 1. 介護職員処遇改善加算(Ⅰ) 2. 介護職員処遇改善加算(Ⅱ) 3. 介護職員処遇改善加算(Ⅲ) 4. 介護職員等特定処遇改善加算(Ⅰ) 5. 介護職員等特定処遇改善加算(Ⅱ) 6. 介護職員等ベースアップ等支援加算 7. いずれも算定していない。
問7 (2)	※(1)で「6」と回答した施設にお伺いします。 (2)介護職員処遇改善加算の届出をしない理由は何ですか。(〇はいくつでも) 1. 対象者に制約がある 2. 事務作業が煩雑 3. 利用者負担が発生する 4. 非常勤職員等の処遇の問題 5. 資金改善の必要性がない 6. 支給要件を達成できない 7. その他(具体的に)	※(1)で「6」と回答した施設にお伺いします。 (2)介護職員処遇改善加算の届出をしない理由は何ですか。(〇はいくつでも) 1. 対象者に制約がある 2. 事務作業が煩雑 3. 利用者負担が発生する 4. 非常勤職員等の処遇の問題 5. 資金改善の必要性がない 6. 支給要件を達成できない 7. その他(具体的に)	※(1)で「6」と回答した施設にお伺いします。 (2)介護職員処遇改善加算の届出をしない理由は何ですか。(〇はいくつでも) 1. 対象者に制約がある 2. 事務作業が煩雑 3. 利用者負担が発生する 4. 非常勤職員等の処遇の問題 5. 資金改善の必要性がない 6. 支給要件を達成できない 7. その他(具体的に)	※(1)で「6」と回答した施設にお伺いします。 (2)介護職員処遇改善加算の届出をしない理由は何ですか。(〇はいくつでも) 1. 対象者に制約がある 2. 事務作業が煩雑 3. 利用者負担が発生する 4. 非常勤職員等の処遇の問題 5. 資金改善の必要性がない 6. 支給要件を達成できない 7. その他(具体的に)	※(1)で「6」と回答した施設にお伺いします。 (2)介護職員処遇改善加算の届出をしない理由は何ですか。(〇はいくつでも) 1. 対象者に制約がある 2. 事務作業が煩雑 3. 利用者負担が発生する 4. 非常勤職員等の処遇の問題 5. 資金改善の必要性がない 6. 支給要件を達成できない 7. その他(具体的に)
問7 (3)	※(1)で「1」～「3」と回答した施設にお伺いします。 (3)2019年10月1日から開始された介護職員等特定処遇改善加算は何を算定していますか。(〇は1つ) 1. 介護職員等特定処遇改善加算(Ⅰ) 2. 介護職員等特定処遇改善加算(Ⅱ) 3. 算定していない	削除	削除	削除	削除
問7 (4)	※(3)で「3」と回答した施設にお伺いします。 (4)介護職員等特定処遇改善加算の届出をしない理由は何ですか。(〇は1つ) 1. 新加算による資金改善の必要性がない 2. 支給要件を達成できない 3. その他(具体的に)	削除	削除	削除	削除
問8	口腔ケアの実施状況	口腔ケアの実施状況	口腔ケアの実施状況		
問8 (1)	問8 口腔ケアの実施状況についてお伺いします。 (1)口腔衛生管理体制加算の届出をされていますか。(〇は1つ) 1. 届出している 2. 届出していない 一問9へ	問8 口腔ケアの実施状況についてお伺いします。 (1)口腔衛生管理加算の届出をされていますか。(〇は1つ) 1. 届出している 2. 届出していない 一問9へ	問8 口腔ケアの実施状況についてお伺いします。 (1)口腔衛生管理加算の届出をされていますか。(〇は1つ) 1. 届出している 2. 届出していない 一問9へ	問7 口腔ケアの実施状況についてお伺いします。 (1)口腔衛生管理加算の届出をされていますか。(〇は1つ) 1. 届出している 2. 届出していない 一問8へ	※特定施設を設置・運営している場合、問7についてご回答ください。 問7 口腔ケアの実施状況についてお伺いします。 (1)口腔衛生管理加算の届出をされていますか。(〇は1つ) 1. 届出している 2. 届出していない 一問8へ
問8 (2)	※(1)で「1」を選択された施設にお伺いします。 (2)入所者に対し、どのような取り組みを計画されていますか。(〇はいくつでも) 1. 歯科健診 2. 個々人に応じたブラッシング指導 3. 口周部や唾液腺等のマッサージ指導 4. その他(具体的に) 5. 実施していない一問9へ	同左	同左	※(1)で「1」を選択された施設にお伺いします。 (2)入所者に対し、どのような取り組みを計画されていますか。(〇はいくつでも) 1. 歯科健診 2. 個々人に応じたブラッシング指導 3. 口周部や唾液腺等のマッサージ指導 4. その他(具体的に) 5. 実施していない一問8へ	※(1)で「1」を選択された施設にお伺いします。 (2)入所者に対し、どのような取り組みを計画されていますか。(〇はいくつでも) 1. 歯科健診 2. 個々人に応じたブラッシング指導 3. 口周部や唾液腺等のマッサージ指導 4. その他(具体的に) 5. 実施していない一問8へ
問8 (3)	(3)実施している場合、どのような効果を期待していますか。(〇は1つ) 1. 誤嚥防止 2. 咀嚼力の保持 3. 肺炎の予防 4. 口臭予防 5. その他(具体的に)	同左	同左	同左	同左

第8期 介護保険事業計画策定に向けての実績調査		第9期 介護保険事業計画策定に向けての実績調査					
問9	医療が必要な入所者	医療が必要な入所者	医療が必要な入所者				
問9 (1)	問9 医療が必要な入所者についてお伺いします。 (1)貴施設(住宅)では下記のような医療を必要とする入所者がおられますか。おられる場合()内に人数を記入してください。(およそ過去3か月間) 1. 褥瘡処理()名 2. 洗眼・摘眼()名 3. 導尿・膀胱留置カテーテル()名、膀胱ろう()名 4. 人工肛門()名 5. 呼吸吸引()名 6. インスリン注射・血糖測定()名、胃ろう()名 7. 経管栄養療法()名 8. 酸素療法()名 9. 脱水などに対する一時的点滴()名 10. 透析()名 11. ストマケア(パウチの交換を含む)()名 12. 気管切開()名 13. 食運ろう()名 14. ペースメーカー()名 15. その他(具体的に) ()名	同左	同左		問8 医療が必要な入所者についてお伺いします。 (1)貴施設(住宅)では下記のような医療を必要とする入所者がおられますか。おられる場合()内に人数を記入してください。(およそ過去3か月間) 1. 褥瘡処理()名 2. 洗眼・摘眼()名 3. 導尿・膀胱留置カテーテル()名、膀胱ろう()名 4. 人工肛門()名 5. 呼吸吸引()名 6. インスリン注射・血糖測定()名 7. 経管栄養療法()名、胃ろう()名 8. 酸素療法()名 9. 脱水などに対する一時的点滴()名 10. 透析()名 11. ストマケア(パウチの交換を含む)()名 12. 気管切開()名 13. 食運ろう()名 14. ペースメーカー()名 15. その他(具体的に) ()名		問8 医療が必要な入所者についてお伺いします。 (1)貴施設(住宅)では下記のような医療を必要とする入所者がおられますか。おられる場合()内に人数を記入してください。(およそ過去3か月間) 1. 褥瘡処理()名 2. 洗眼・摘眼()名 3. 導尿・膀胱留置カテーテル()名、膀胱ろう()名 4. 人工肛門()名 5. 呼吸吸引()名 6. インスリン注射・血糖測定()名 7. 経管栄養療法()名、胃ろう()名 8. 酸素療法()名 9. 脱水などに対する一時的点滴()名 10. 透析()名 11. ストマケア(パウチの交換を含む)()名 12. 気管切開()名 13. 食運ろう()名 14. ペースメーカー()名 15. その他(具体的に) ()名
問9 (2)	(2)医療処置が必要な人の入所が受け入れられない場合、どのようなことが理由となっていますか。最もあてはまる理由を1つ選択してください。 1. 医師の配置が十分ではない 2. 医療機関との連携が不十分 3. 看護職員の体制が不十分 4. その他(理由) 5. 医療処置が必要な人でも全て受け入れている	同左	同左		(2)医療処置が必要な人の入所が受け入れられない場合、どのようなことが理由となっていますか。最もあてはまる理由を1つ選択してください。 1. 医師の配置が十分ではない 2. 医療機関との連携が不十分 3. 看護職員の体制が不十分 4. その他(理由) 5. 医療処置が必要な人でも全て受け入れている		(2)医療処置が必要な人の入所が受け入れられない場合、どのようなことが理由となっていますか。最もあてはまる理由を1つ選択してください。 1. 医師の配置が十分ではない 2. 医療機関との連携が不十分 3. 看護職員の体制が不十分 4. その他(理由) 5. 医療処置が必要な人でも全て受け入れている
問9 (3)	(3)通院時にどのような対応をしていますか。(〇は1つ) 1. 原則 家族対応 2. 原則 スタッフ対応 3. 協力医療機関を活用している 4. その他(具体的に)	同左	同左		同左		同左
問9 (4)	(4)医療機関と、どのように連携していますか。(〇はいくつでも) 1. 入所者の健康管理や処置について助言を受けている 2. 往診してもらえる医師・医療機関がある 3. 急変時の受け入れを依頼できる病院を確保している 4. 提携病院があり、入院の受け入れられている 5. 認知症の周辺症状について助言を受けている 6. その他() 7. 連携していない	同左	同左		(4)医療機関と、どのように連携していますか。(〇はいくつでも) 1. 入所者の健康管理や処置について助言を受けている 2. 往診してもらえる医師・医療機関がある 3. 急変時の受け入れを依頼できる病院を確保している 4. 提携病院があり、入院の受け入れられている 5. 認知症の周辺症状について助言を受けている 6. その他() 7. 連携していない		(4)医療機関と、どのように連携していますか。(〇はいくつでも) 1. 入所者の健康管理や処置について助言を受けている 2. 往診してもらえる医師・医療機関がある 3. 急変時の受け入れを依頼できる病院を確保している 4. 提携病院があり、入院の受け入れられている 5. 認知症の周辺症状について助言を受けている 6. その他() 7. 連携していない
問10	看取り介護の実施状況	看取り介護の実施状況	看取り介護の実施状況				
問10 (1)	問10 看取り介護の実施状況についてお伺いします。 (1)貴施設は看取り介護加算を算定していますか。(〇は1つ) 1. 算定している 2. 算定していない 3. 施設基準は満たしているが算定していない	同左	同左		※特定施設を設置・運営している場合、問9についてご回答ください。 問9 看取り介護の実施状況についてお伺いします。 (1)貴施設は看取り介護加算を算定していますか。(〇は1つ) 1. 算定している 2. 算定していない 3. 施設基準は満たしているが算定していない		問9 看取り介護の実施状況についてお伺いします。 (1)貴施設は看取り介護加算を算定していますか。(〇は1つ) 1. 算定している 2. 算定していない 3. 施設基準は満たしているが算定していない
問10 (2)	※(1)で「1」とお答えの施設にお伺いします。 (2)この1年間で、看取り介護加算は何件算定されましたか。また死亡された方(退所して1月以内に死亡された方を含む)のうち、およそ何割の方を算定されましたか。 約()件 約()割	同左	同左		同左		同左
問10 (3)	(3)看取り介護を実施するにあたり、どのようなことに力を入れていますか。(〇はいくつでも) 1. 看取りに関する指針の作成・改訂 2. 医療機関との連携 3. 利用者・家族に対する十分な説明と同意の取得 4. 看取りに関する職員の研修 5. 看取りに関わる職員のバックアップ体制の確保 6. 個室の利用など看取りにふさわしい環境の整備 7. 最後までその人らしく「生きる」ことを支えるケアの提供 8. その他(具体的に)	同左	同左		同左		同左
問10 (4)	問10 ターミナルケアの実施状況についてお伺いします。 (1)貴施設はターミナルケア加算を算定していますか。(〇は1つ) 1. 算定している 2. 算定していない 3. 施設基準は満たしているが算定していない	同左	同左				

第8期 介護保険事業計画策定に向けての実績調査		第9期 介護保険事業計画策定に向けての実績調査				
問10	(2) ※(1)で「1」とお答えの施設にお伺いします。 (2)この1年間で、ターミナルケア加算は何件算定されましたか。また死亡された方(退所して1月以内に死亡された方を含む)のうち、および何割の方を算定されましたか。 約()件 約()割	同左				
問10	(3)ターミナルケアを実施するにあたり、どのようなことを入れていきますか。(〇はいくつでも) 1. 利用者・家族に対する十分な説明と同意の取得 2. ターミナルケアに関する職員の研修 3. ターミナルケアに関する職員のバッキング体制の確保 4. 個室の利用などターミナルケアにふさわしい環境の整備 5. 最後までその人らしく「生きる」ことを支えるケアの提供 6. その他(具体的に)	同左				
問11	高齢者の人権擁護・虐待への対応					
問11	(1) 問11 高齢者の人権擁護・虐待の防止等についてお伺いします。 (1)高齢者の人権擁護・虐待の防止等のために実施している対策について、あてはまるものすべてに○をつけてください。 1. 高齢者の人権・虐待に関する職員研修の実施 2. 高齢者の人権・虐待に関する外部の研修への参加 3. 入所者や家族からの苦情処理体制の整備 4. 身体拘束に関する手続き厳守の徹底 5. 職員が虐待を発見した場合の通報窓口の周知 6. 労働環境等の整備 7. その他(具体的に)	同左	同左	問9 高齢者の人権擁護・虐待の防止等についてお伺いします。 (1)高齢者の人権擁護・虐待の防止等のために実施している対策について、あてはまるものすべてに○をつけてください。 1. 高齢者の人権・虐待に関する職員研修の実施 2. 高齢者の人権・虐待に関する外部の研修への参加 3. 入所者や家族からの苦情処理体制の整備 4. 身体拘束に関する手続き厳守の徹底 5. 職員が虐待を発見した場合の通報窓口の周知 6. 労働環境等の整備 7. その他(具体的に)	問10 高齢者の人権擁護・虐待の防止等についてお伺いします。 (1)高齢者の人権擁護・虐待の防止等のために実施している対策について、あてはまるものすべてに○をつけてください。 1. 高齢者の人権・虐待に関する職員研修の実施 2. 高齢者の人権・虐待に関する外部の研修への参加 3. 入所者や家族からの苦情処理体制の整備 4. 身体拘束に関する手続き厳守の徹底 5. 職員が虐待を発見した場合の通報窓口の周知 6. 労働環境等の整備 7. その他(具体的に)	問10 高齢者の人権擁護・虐待の防止等についてお伺いします。 (1)高齢者の人権擁護・虐待の防止等のために実施している対策について、あてはまるものすべてに○をつけてください。 1. 高齢者の人権・虐待に関する職員研修の実施 2. 高齢者の人権・虐待に関する外部の研修への参加 3. 入所者や家族からの苦情処理体制の整備 4. 身体拘束に関する手続き厳守の徹底 5. 職員が虐待を発見した場合の通報窓口の周知 6. 労働環境等の整備 7. その他(具体的に)
問11	(2)施設の中で、職員から虐待を受けたと思われる高齢者を発見した場合に、発見した職員に通報義務があることを知っていますか。(〇は1つ) 1. 知っている(通報連絡先も知っている) 2. 知っている(通報連絡先は知らない) 3. 知らない	同左	同左	同左	同左	同左
問12	ボランティアの状況	ボランティアの状況	ボランティアの状況			
問12	(1) 問12 貴施設でのボランティア活動についてお伺いします。 (1)貴施設ではどのようなボランティア活動が行なわれていますか。(〇はいくつでも) 1. 日常的に行なわれているレクリエーション等の指導、参加支援 2. 施設でのお茶だし、食堂内の配膳・下膳などの補助 3. 喫茶コーナーなどの運営補助 4. 散歩、外出、館内移動の補助 5. イベント等の手伝い(模擬店、会場設営、利用者の移動補助、芸能披露など) 6. 話し相手 7. 洗濯物たたみ 8. その他施設職員と共に行う軽微かつ補助的な活動 9. その他(具体的に) 10. ボランティアはいない 一問12(5)へ	同左	同左	問9 貴施設でのボランティア活動についてお伺いします。 (1)貴施設ではどのようなボランティア活動が行なわれていますか。(〇はいくつでも) 1. 日常的に行なわれているレクリエーション等の指導、参加支援 2. 施設でのお茶だし、食堂内の配膳・下膳などの補助 3. 喫茶コーナーなどの運営補助 4. 散歩、外出、館内移動の補助 5. イベント等の手伝い(模擬店、会場設営、利用者の移動補助、芸能披露など) 6. 話し相手 7. 洗濯物たたみ 8. その他施設職員と共に行う軽微かつ補助的な活動 9. その他(具体的に) 10. ボランティアはいない 一問9(5)へ	問11 貴施設(住宅)でのボランティア活動についてお伺いします。 (1)貴施設(住宅)ではどのようなボランティア活動が行なわれていますか。(〇はいくつでも) 1. 日常的に行なわれているレクリエーション等の指導、参加支援 2. 施設でのお茶だし、食堂内の配膳・下膳などの補助 3. 喫茶コーナーなどの運営補助 4. 散歩、外出、館内移動の補助 5. イベント等の手伝い(模擬店、会場設営、利用者の移動補助、芸能披露など) 6. 話し相手 7. 洗濯物たたみ 8. その他施設職員と共に行う軽微かつ補助的な活動 9. その他(具体的に) 10. ボランティアはいない 一問11(5)へ	問11 貴施設でのボランティア活動についてお伺いします。 (1)貴施設ではどのようなボランティア活動が行なわれていますか。(〇はいくつでも) 1. 日常的に行なわれているレクリエーション等の指導、参加支援 2. 施設でのお茶だし、食堂内の配膳・下膳などの補助 3. 喫茶コーナーなどの運営補助 4. 散歩、外出、館内移動の補助 5. イベント等の手伝い(模擬店、会場設営、利用者の移動補助、芸能披露など) 6. 話し相手 7. 洗濯物たたみ 8. その他施設職員と共に行う軽微かつ補助的な活動 9. その他(具体的に) 10. ボランティアはいない 一問11(5)へ
問12	(2)ボランティアの登録はどのような状況ですか。(わかる範囲でご記入ください) 1. 男性()名 うち65歳以上()名 女性()名 うち65歳以上()名 2. ボランティアの活動度 あり()名 なし()名 不明()名	同左	同左	同左	同左	同左
問12	(3)どのような団体にボランティア活動を依頼していますか。(〇はいくつでも) 1. 個人会等の地域団体 2. 区や市のボランティアセンター 3. ボランティア団体 4. その他(具体的に)	同左	同左	同左	同左	同左
問12	(4)平均すると一日あたりのボランティアに参加されている方はどのような状況ですか。(わかる範囲でご記入ください) 男性()名 うち65歳以上()名 女性()名 うち65歳以上()名	同左	同左	同左	同左	同左
問12	(5)ボランティアポイント制度(※)があれば、ボランティアの推進に効果があると思いますか。(〇は1つ) ※ボランティアに参加すればポイントが付与され、そのポイントに応じて特典が得られる制度 1.効果があると思う 2.多少は効果があると思う 3.ほとんど効果がないと思う 4.分からない	判断	判断	判断	判断	判断
問13	地域への施設開放等	地域への施設開放等	地域への施設開放等			

	第8期 介護保険事業計画策定に向けての実績調査	第9期 介護保険事業計画策定に向けての実績調査			
問13	問13 貴施設では地域や地域住民へ施設開放をされていますか。(○はい(くつでも)) 1. 地域住民や地域団体が喫茶室を利用できる 2. 地域住民や地域団体が会議室や作業スペースを利用できる 3. 『集いの場』(地域住民が主体となって、おしゃべりや、喫茶、体操、季節の行事、手芸、工芸などを行う仲間づくりの場)として利用している 4. 施設の行事の時に地域住民や地域団体を招いている 5. その他(具体的に) 6. していない	同左	同左	問12 貴施設(住宅)では地域や地域住民へ施設(住宅)開放をされていますか。(○はい(くつでも)) 1. 地域住民や地域団体が喫茶室を利用できる 2. 地域住民や地域団体が会議室や作業スペースを利用できる 3. 『集いの場』(地域住民が主体となって、おしゃべりや、喫茶、体操、季節の行事、手芸、工芸などを行う仲間づくりの場)として利用している 4. 施設の行事の時に地域住民や地域団体を招いている 5. その他(具体的に) 6. していない	問12 貴施設では地域や地域住民へ施設開放をされていますか。(○はい(くつでも)) 1. 地域住民や地域団体が喫茶室を利用できる 2. 地域住民や地域団体が会議室や作業スペースを利用できる 3. 『集いの場』(地域住民が主体となって、おしゃべりや、喫茶、体操、季節の行事、手芸、工芸などを行う仲間づくりの場)として利用している 4. 施設の行事の時に地域住民や地域団体を招いている 5. その他(具体的に) 6. していない
問14	事故や災害時等の対応	事故や災害時等の対応	事故や災害時等の対応		
問14	問14 事故や災害等の対応について、あてはまるものすべてに○をつけてください。 1. 事故発生時の職員対応マニュアルを作成している 2. 事故発生時における家族等への連絡先を複数把握している 3. 感染症に関する職員対応マニュアルを作成している 4. 消火・避難訓練を年2回以上実施している 5. 避難の方法など、災害に対するマニュアルを作成している 6. 災害時に要援護者の受け入れ体制を整えている 7. 従事者に対する暴力・セクハラ防止の安全対策マニュアルを作成している	同左	同左	問10 事故や災害等の対応について、あてはまるものすべてに○をつけてください。 1. 事故発生時の職員対応マニュアルを作成している 2. 事故発生時における家族等への連絡先を複数把握している 3. 感染症に関する職員対応マニュアルを作成している 4. 消火・避難訓練を年2回以上実施している 5. 避難の方法など、災害に対するマニュアルを作成している 6. 災害時に要援護者の受け入れ体制を整えている 7. 従事者に対する暴力・セクハラ防止の安全対策マニュアルを作成している	問13 事故や災害等の対応について、あてはまるものすべてに○をつけてください。 1. 事故発生時の職員対応マニュアルを作成している 2. 事故発生時における家族等への連絡先を複数把握している 3. 感染症に関する職員対応マニュアルを作成している 4. 消火・避難訓練を年2回以上実施している 5. 避難の方法など、災害に対するマニュアルを作成している 6. 災害時に要援護者の受け入れ体制を整えている 7. 従事者に対する暴力・セクハラ防止の安全対策マニュアルを作成している
問15	ICT等の活用について	ICT等の活用について	ICT等の活用について		
問15 (1)	問15 介護ロボット・ICTについてお伺いします。 (1)以下の介護ロボット、ICTのなかから導入しているものを選んでください。(○はい(くつでも)) 1. 移乗支援(ロボット技術を用いて介助者のアシスト等を行う装着・非装着の機器) 2. 移動支援(移動をサポートする歩行支援機器や装着型の移動支援機器) 3. 排泄支援(設置位置調節可能なトイレやトイレ誘導する機器、衣服の着脱等の一連の動作を支援する機器) 4. 見守りコミュニケーション(外部通信機能を備えたロボット技術を用いた高齢者のフラットホームや高齢者とのコミュニケーションにロボット技術を用いた生活支援機器) 5. 入浴支援(浴槽に入り易い動作を支援する機器) 6. 介護業務支援(介護業務に伴う情報を収集・蓄積し、それを基に必要な支援に活用する機器) 7. 導入していない	問15 介護ロボット・ICTについてお伺いします。 (1)以下の介護ロボット、ICT機器のなかから導入しているものを選んでください。(○はい(くつでも)) 1. 導入していない 2. 移乗支援 3. 移動支援 4. 排泄支援 5. 見守り支援(見守りセンサー等) 6. コミュニケーション支援(コミュニケーションロボット等) 7. 入浴支援 8. 介護記録から介護保険請求システムまで一括しているソフト 9. 8のように一括していないが、介護記録を管理する単体のソフト 10.職員間で利用者情報を共有するソフトや端末 11.機能訓練支援 12.認知機能低下予防機器 13.その他()	問15 介護ロボット・ICTについてお伺いします。 (1)以下の介護ロボット、ICT機器のなかから導入しているものを選んでください。(○はい(くつでも)) 1. 導入していない 2. 移乗支援 3. 移動支援 4. 排泄支援 5. 見守り支援(見守りセンサー等) 6. コミュニケーション支援(コミュニケーションロボット等) 7. 入浴支援 8. 介護記録から介護保険請求システムまで一括しているソフト 9. 8のように一括していないが、介護記録を管理する単体のソフト 10.職員間で利用者情報を共有するソフトや端末 11.機能訓練支援 12.認知機能低下予防機器 13.その他()	問11 介護ロボット・ICTについてお伺いします。 (1)以下の介護ロボット、ICT機器のなかから導入しているものを選んでください。(○はい(くつでも)) 1. 導入していない 2. 移乗支援 3. 移動支援 4. 排泄支援 5. 見守り支援(見守りセンサー等) 6. コミュニケーション支援(コミュニケーションロボット等) 7. 入浴支援 8. 介護記録から介護保険請求システムまで一括しているソフト 9. 8のように一括していないが、介護記録を管理する単体のソフト 10.職員間で利用者情報を共有するソフトや端末 11.機能訓練支援 12.認知機能低下予防機器 13.その他()	問14 介護ロボット・ICTについてお伺いします。 (1)以下の介護ロボット、ICT機器のなかから導入しているものを選んでください。(○はい(くつでも)) 1. 導入していない 2. 移乗支援 3. 移動支援 4. 排泄支援 5. 見守り支援(見守りセンサー等) 6. コミュニケーション支援(コミュニケーションロボット等) 7. 入浴支援 8. 介護記録から介護保険請求システムまで一括しているソフト 9. 8のように一括していないが、介護記録を管理する単体のソフト 10.職員間で利用者情報を共有するソフトや端末 11.機能訓練支援 12.認知機能低下予防機器 13.その他()
		以下の介護ロボット、ICT機器のなかから導入を検討しているものを選んでください。(○はい(くつでも)) 1. 導入を検討していない 2. 移乗支援 3. 移動支援 4. 排泄支援 5. 見守り支援(見守りセンサー等) 6. コミュニケーション支援(コミュニケーションロボット等) 7. 入浴支援 8. 介護記録から介護保険請求システムまで一括しているソフト 9. 8のように一括していないが、介護記録を管理する単体のソフト 10.職員間で利用者情報を共有するソフトや端末 11.機能訓練支援 12.認知機能低下予防機器 13.その他()	以下の介護ロボット、ICT機器のなかから導入を検討しているものを選んでください。(○はい(くつでも)) 1. 導入を検討していない 2. 移乗支援 3. 移動支援 4. 排泄支援 5. 見守り支援(見守りセンサー等) 6. コミュニケーション支援(コミュニケーションロボット等) 7. 入浴支援 8. 介護記録から介護保険請求システムまで一括しているソフト 9. 8のように一括していないが、介護記録を管理する単体のソフト 10.職員間で利用者情報を共有するソフトや端末 11.機能訓練支援 12.認知機能低下予防機器 13.その他()	以下の介護ロボット、ICT機器のなかから導入を検討しているものを選んでください。(○はい(くつでも)) 1. 導入を検討していない 2. 移乗支援 3. 移動支援 4. 排泄支援 5. 見守り支援(見守りセンサー等) 6. コミュニケーション支援(コミュニケーションロボット等) 7. 入浴支援 8. 介護記録から介護保険請求システムまで一括しているソフト 9. 8のように一括していないが、介護記録を管理する単体のソフト 10.職員間で利用者情報を共有するソフトや端末 11.機能訓練支援 12.認知機能低下予防機器 13.その他()	以下の介護ロボット、ICT機器のなかから導入を検討しているものを選んでください。(○はい(くつでも)) 1. 導入を検討していない 2. 移乗支援 3. 移動支援 4. 排泄支援 5. 見守り支援(見守りセンサー等) 6. コミュニケーション支援(コミュニケーションロボット等) 7. 入浴支援 8. 介護記録から介護保険請求システムまで一括しているソフト 9. 8のように一括していないが、介護記録を管理する単体のソフト 10.職員間で利用者情報を共有するソフトや端末 11.機能訓練支援 12.認知機能低下予防機器 13.その他()
問15 (2)	(2)導入して感じた課題や導入していない理由として、あてはまるものを選んでください。(○はい(くつでも)) 1. 導入費用が高額 2. 費用対効果が不明 3. 利用者の安全面に不安 4. 職員の安全面に不安 5. 技術的に職員が使いこなすのが難しい(難しい) 6. 介護職員が、新しい機器を導入するときに消極的 7. 導入時に、使い方の研修や周知の機会を設けるのが難しい 8. 機器のメンテナンスが大変 9. 介護現場の実態に合う介護ロボットやICT機器がない 10.その他()	導入して感じた課題や導入していない理由として、あてはまるものを選んでください。(○はい(くつでも)) 1. 導入費用が高額 2. 費用対効果が不明 3. 安全面に不安 4. 職員の安全面に不安 5. 技術的に職員が使いこなすのが難しい(難しい) 6. 介護職員が、新しい機器を導入するときに消極的 7. 導入時に、使い方の研修や周知の機会を設けるのが難しい 8. 機器のメンテナンスが大変 9. 介護現場の実態に合う介護ロボットやICT機器がない 10.その他()	導入して感じた課題や導入していない理由として、あてはまるものを選んでください。(○はい(くつでも)) 1. 導入費用が高額 2. 費用対効果が不明 3. 安全面に不安 4. 職員の安全面に不安 5. 技術的に職員が使いこなすのが難しい(難しい) 6. 介護職員が、新しい機器を導入するときに消極的 7. 導入時に、使い方の研修や周知の機会を設けるのが難しい 8. 機器のメンテナンスが大変 9. 介護現場の実態に合う介護ロボットやICT機器がない 10.その他()	導入して感じた課題や導入していない理由として、あてはまるものを選んでください。(○はい(くつでも)) 1. 導入費用が高額 2. 費用対効果が不明 3. 安全面に不安 4. 職員の安全面に不安 5. 技術的に職員が使いこなすのが難しい(難しい) 6. 介護職員が、新しい機器を導入するときに消極的 7. 導入時に、使い方の研修や周知の機会を設けるのが難しい 8. 機器のメンテナンスが大変 9. 介護現場の実態に合う介護ロボットやICT機器がない 10.その他()	導入して感じた課題や導入していない理由として、あてはまるものを選んでください。(○はい(くつでも)) 1. 導入費用が高額 2. 費用対効果が不明 3. 安全面に不安 4. 職員の安全面に不安 5. 技術的に職員が使いこなすのが難しい(難しい) 6. 介護職員が、新しい機器を導入するときに消極的 7. 導入時に、使い方の研修や周知の機会を設けるのが難しい 8. 機器のメンテナンスが大変 9. 介護現場の実態に合う介護ロボットやICT機器がない 10.その他()
問15 (3)	(3)「リーディングケア(※)」をご存知ですか。(○はい(1つ)) ※利用者の状態に合わせ、福祉用具等も活用しながら、人の手で利用者の体を「持ち上げない」「引きずらない」介護技術のことです 1. よく知っているし、施設で取り入れている 2. 知っているが、取り入れてはいる 3. 聞いたことはあるが、内容はわからない 4. 知らない	削除	削除	削除	削除
問16	今後の事業展開	今後の事業展開	今後の事業展開		

第8期 介護保険事業計画策定に向けての実績調査		第9期 介護保険事業計画策定に向けての実績調査					
問16 (1)	問16 今後の施設における事業展開の見込みについてお伺いします。 (1)ショートステイ床の特養床への転換希望はありますか。(○は1つ) 1. ある (転換希望 床) 2. ない	同左					
問16 (2)	(2)デイサービス床の特養床への転換希望はありますか。(○は1つ) 1. ある (転換希望 床) 2. ない	同左					
問12 (1)	問12 今後の施設における事業展開の見込みについてお伺いします。 (1)介護療養病床については、廃止が予定されていますが、今後の方針についてあてはまるもの1つに○をつけてください。現時点では明確な方針がない場合は方向性でも結構です。 1. 介護医療院 2. 存続が可能な時点まで介護療養型医療施設を続ける 3. 一般病床に転換する 4. 回復期リハビリテーション病床に転換する 5. 医療療養病床に転換する 6. 介護療養型老人保健施設に転換する 7. 従来型老人保健施設に転換する 8. 介護老人福祉施設に転換する 9. 有料老人ホーム、軽費老人ホームに転換する 10. その他(具体的に) 11. 現時点では方向性も決められない			問12 介護療養型施設のみご回答ください。今後の施設における事業展開の見込みについてお伺いします。 (1)介護療養病床については、廃止が予定されていますが、今後の方針についてあてはまるもの1つに○をつけてください。現時点では明確な方針がない場合は方向性でも結構です。 1. 介護医療院 2. 存続が可能な時点まで介護療養型医療施設を続ける 3. 一般病床に転換する 4. 回復期リハビリテーション病床に転換する 5. 医療療養病床に転換する 6. 介護療養型老人保健施設に転換する 7. 従来型老人保健施設に転換する 8. 介護老人福祉施設に転換する 9. 有料老人ホーム、軽費老人ホームに転換する 10. その他(具体的に) 11. 現時点では方向性も決められない			
問12 (2)	(2)仮に現時点で転換しなければいけないとしたら、現在の入居者の入院・入所先はどこが適当と考えられますか。おおよそのパーセンテージでお答えください。 1. 介護医療院()% 2. 一般病床、回復期リハビリテーション病床 ()% 3. 医療療養病床 ()% 4. 介護療養型老人保健施設 ()% 5. 従来型老人保健施設 ()% 6. 介護老人福祉施設、有料老人ホームなど ()% 7. 在宅 ()% 8. 適当な入院・入所先はない ()%			(2)介護療養型施設のみご回答ください。仮に現時点で転換しなければいけないとしたら、現在の入居者の入院・入所先はどこが適当と考えられますか。おおよそのパーセンテージでお答えください。 1. 介護医療院()% 2. 一般病床、回復期リハビリテーション病床 ()% 3. 医療療養病床 ()% 4. 介護療養型老人保健施設 ()% 5. 従来型老人保健施設 ()% 6. 介護老人福祉施設、有料老人ホームなど ()% 7. 在宅 ()% 8. 適当な入院・入所先はない ()%			
問15 (1)	問15 特定施設入居者生活介護の指定についてお伺いします。 (1)特定施設の指定を受けていますか。(該当するものに○) 1. 包括型(一般型)特定施設 2. 外部サービス利用型特定施設 3. 特定施設の指定を受けていない				同左		
問15 (2)	※特定施設の指定を受けていない場合、(2)についてご回答ください。 (2)今後、特定施設の指定を受けて介護サービスの提供を行うことを予定(希望を含む)していますか。 1. 包括型(一般型)特定施設の指定を受けることを予定(希望)している。 2. 外部サービス利用型特定施設の指定を受けたいと考えている 3. 特定施設の指定を受けることは考えていない				同左		
問16 (3)	(3)貴施設の改築や改修について、今後、10年以内に必要と考えられているものがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。 1. 全面改築が必要と考えている(移転含む) 2. 施設の老朽化に伴う設備機器の更新が必要と考えている 3. 多床室の閉仕切り等によるプライバシー改修が必要と考えている 4. 従来型居室のユニット型改修が必要と考えている 5. 既存スペースを活用するための増床が必要と考えている 6. その他(具体的に) 7. 特に必要はない	同左	問16 今後の施設における事業展開の見込みについてお伺いします。 (1)貴施設の改築や改修について、今後、10年以内に必要と考えられているものがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。 1. 全面改築が必要と考えている(移転含む) 2. 施設の老朽化に伴う設備機器の更新が必要と考えている 3. 多床室の閉仕切り等によるプライバシー改修が必要と考えている 4. 従来型居室のユニット型改修が必要と考えている 5. 既存スペースを活用するための増床が必要と考えている 6. その他(具体的に) 7. 特に必要はない	同左		(3)貴施設(住宅)の改築や改修について、今後、10年以内に必要と考えられているものがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。 1. 全面改築が必要と考えている(移転含む) 2. 施設の老朽化に伴う設備機器の更新が必要と考えている 3. 多床室の閉仕切り等によるプライバシー改修が必要と考えている 4. 従来型居室のユニット型改修が必要と考えている 5. 既存スペースを活用するための増床が必要と考えている 6. その他(具体的に) 7. 特に必要はない	問15 今後の施設における事業展開の見込みについてお伺いします。 (1)貴施設の改築や改修について、今後、10年以内に必要と考えられているものがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。 1. 全面改築が必要と考えている(移転含む) 2. 施設の老朽化に伴う設備機器の更新が必要と考えている 3. 多床室の閉仕切り等によるプライバシー改修が必要と考えている 4. 従来型居室のユニット型改修が必要と考えている 5. 既存スペースを活用するための増床が必要と考えている 6. その他(具体的に) 7. 特に必要はない
問17	自由意見欄	自由意見欄	自由意見欄				
問17	問17 介護保険制度における貴施設の役割や、施設運営における課題等について、ご自由にご記入ください。	同左	同左	問13 介護保険制度における貴施設の役割や、施設運営における課題等について、ご自由にご記入ください。	問16 介護保険制度における貴施設の役割や、施設運営における課題等について、ご自由にご記入ください。	問16 介護保険制度における貴施設の役割や、施設運営における課題等について、ご自由にご記入ください。	問16 介護保険制度における貴施設の役割や、施設運営における課題等について、ご自由にご記入ください。

第1章 フレイル予防をはじめとした介護予防の推進【重点項目・施策の柱1】		
第1節 フレイル予防と活動・参加の推進		
①普及啓発、多様な活動を促進する環境づくり		
項目	取組状況	今後の課題・取組
1	<p>つどいの場の設置促進</p> <p>【つどいの場支援事業】 地域で自主的に行われるつどいの場に対し、運営費の一部を補助することで高齢者の介護予防と地域での支え合い体制づくりを構築。併せて、生活支援コーディネーターやあんしんすこやかセンターにおいて立ち上げや運営の支援を実施。 【補助団体数(令和3年度交付決定)】 ・運営補助:169件 ・立ち上げ応援:2件 ・合計:171件 ※上記のち、16団体が年度中に廃止</p> <p>【地域拠点型一般介護予防事業】 【実施場所・頻度】 ・小学校区に1ヶ所程度、地域福祉センター等で週1回1日3～5時間程度開催。 【内容】 ・体操、給食、趣味活動や地域交流等地域のつながりなど特色を生かして実施。 ・介護予防強化メニューでは、 ① 介護予防講座を月1回実施。リハビリ専門職、管理栄養士、歯科衛生士、看護師、薬剤師のいづれかを職能団体から派遣し、介護予防に資する内容を提供。 ② 運動、音楽療法などの介護予防教室も地域のニーズに合わせて実施。 ③ 理学療法士を派遣し、体力測定の再開を計画中 【実施箇所数】 ・70小学校区(97箇所)</p> <p>【介護予防カフェ】 これまで立ち上げ支援を行ってきた民間企業との連携による介護予防カフェ(81箇所)について、継続支援として、モチベーションアップなどを目的とした交流会を実施。 兵庫県立大学やNPOとも連携を開始し、PRに努めた。 【介護予防カフェ交流会】 ・19名参加 令和3年度の交流会は、現地とオンライン(zoom)のハイブリッドで実施。15名が現地、4名がオンラインで参加した。</p>	<p>・コロナ禍において感染不安による外出控え、生活様式の変化などにより少しずつではあるがオンラインでの参加のニーズが高まってきているため、会場と自宅をオンラインで中継して開催するハイブリッド型のつどいの場を補助対象として新たに追加したが、169団体のうち実施できたのは1団体のみだった。 ・ITリテラシーの高い高齢者が増加していること等を鑑み、事務手続きの簡略化等により、さらなる団体数の増加に向け、申請様式をHPに掲載し、令和4年度交付申請より各区社会福祉協議会へEメールでの提出も可とした。 ・多くの団体が地域団体であることから、補助金として計上できるものとそうでないものや、領収書管理などの事務手続きを負担に感じているとの声が多く聞かれるため、提出書類の負担軽減などを検討する。 ・新型コロナウイルス感染症の流行により外出控えから高齢者のフレイルが進行していることから、より介護予防に資する内容を提供するよう、団体へ引き続き働きかけを行っていく。 ・民間企業との連携による介護予防カフェについて、新型コロナウイルス感染症の影響により、新規立上のための説明会が開催できていない。引き続き既存のカフェ向けの交流会は開催しつつ、説明会の開催時期を検討し、兵庫県立大学やNPOとも連携しながら地域のつどいの場づくりを支援する。</p>
2	<p>フレイル改善通所サービス</p> <p>要支援者等を対象にフレイル改善のための運動・栄養等のプログラムを行う通所型サービスを、平成30年10月から実施。 【サービス利用実績】 ・148名(令和4年3月時点)</p>	<p>医療機関等と連携し、フレイル状態の市民へサービスの案内をしていく。</p>
3	<p>介護予防・日常生活支援総合事業の推進</p> <p>毎年開催している総合事業ワーキングを、令和4年2月に1回実施した。総合事業の実施状況や、サービス内容について必要な見直しを行った。</p>	<p>コロナ禍で生じた高齢者の状態像等の変化によるサービスの利用状況を注視しながら、1号サービスのうち半分以上の割合を占める通所サービスの介護保険9期計画と同時期の報酬改定に向け、令和4年度ワーキンググループでは委員から広く意見をいただき、必要な見直しを行っていく。</p>

○第8期介護保険事業計画の実施状況(令和4年3月末現在)

第1章 フレイル予防をはじめとした介護予防の推進【重点項目・施策の柱1】		
第1節 フレイル予防と活動・参加の推進		
①普及啓発、多様な活動を促進する環境づくり		
項目	取組状況	今後の課題・取組
4	<p>普及啓発</p> <p>【フレイルチェック】 フレイルについて講習を受けた市民サポーターが、参加者に対して、フレイルに関する講話や測定を実施。 東京大学高齢社会総合研究機構の飯島勝矢教授の研究開発したフレイルチェックやフレイルサポーター養成のプログラムを活用 ・感染対策をとりながらフレイルチェック会を概ね月1回区ごとに実施する。</p> <p>【令和3年度実績】 ・実施回数:7回 ・参加者数:59人</p> <p>国保加入の65歳、70歳に個別案内を送付し、薬局や集団健診会場でフレイルチェックを実施、フレイルのおそれのある者に栄養・運動などの保健指導を実施した。</p> <p>【個別案内送付対象者数】 19,383人 (内訳)65歳:6,263人、70歳:13,120人</p> <p>【実施場所・実施回数】 ・市薬剤師会実施薬局:398ヶ所 ・集団健診会場:528回</p> <p>【実施人数】 1,784人 (内訳)市薬剤師会:696人、集団健診会場:1,088人 ・実施率9.2%(1,784人/19,383人)</p> <p>【フレイル予防支援事業】 あんしんすこやかセンター圏域毎に、フレイル予防の啓発を目的としたイベントを年に1回程度実施。</p> <p>【令和3年度実績】 ・実施回数:103回 ・参加者数:1067人</p> <p>【ICTを活用した啓発】 つどいの場等の地域資源で、情報公開に同意される団体の情報の集約を行っている。</p> <p>【神戸市オリジナル体操(元気！いきいき！！体操)】 放送時間を変更しながら、放送が好評継続中。令和3年度は新しい素材を5本制作した。</p>	<p>今後の課題・取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における運動不足がもたらすフレイル予防の啓発を行い、実施率向上を目指す。 ・フレイルチェック結果に基づき、栄養・運動面等における保健指導を着実に実施していくことにより、フレイルチェックがフレイルの進行に歯止めをかける積極的な役割を果たせるよう、努めていく。 ・フレイル予防支援事業について、建築住宅局と協力し、高齢化が進んでいる市営住宅の集会所をイベント会場として啓発を行う。 ・つどいの場等の地域資源を記載したマップを神戸市情報マップとして市民公開する。 ・ホームページなどの広報媒体を活用しフレイルチェック会やフレイルサポーターについての市民周知を図るとともに、フレイルサポーターが意欲的に活動できるよう働きかけを行っていく。 ・神戸元いきいき体操については、一定の視聴者数を獲得したが、まだ番組を知らない人もいるため、他事業の啓発と併せて紹介を継続していく。
②エビデンスを活用した効果的な介護予防施策の展開		
5	<p>大学等と連携した介護予防の評価</p> <p>日本老年学的評価研究機構(JAGES)プロジェクトや、大学等と連携し、介護予防事業についてPDCAサイクルを回しながら、効果的な事業展開を行っている。</p> <p>【実績】 「健康とくらしの調査」の結果、要介護リスクの高い地域に対して、「介護予防サロン推進事業」を展開。令和元年度までに合計16地区に介入した。上記介入を通じ、いくつかの介護予防に重要な指標(うつ傾向等)の改善が確認され、介入地域と非介入地域の健康格差の縮小の可能性が示唆された。</p>	<p>・介護予防の効果が出るには、長期的なモニタリングが必要。すでに効果が高いとエビデンスがあるつどいの場を介護予防カフェやつどいの場支援事業等を通じて増やしていくことで、健康寿命の延伸に結びつけていく。</p> <p>・介護予防サロン推進事業の効果が確認できれば、健康の指標だけでなく給付費や認定等の指標に良い影響があったか等、分析を進めていく。</p>
6	<p>データを活用した介護予防の取り組み</p> <p>後期高齢者の医療、介護、健診等のデータを分析し、疾病予防・重症化予防とフレイル予防に、一体的に取り組む</p> <p>支援が必要な対象者が多い等課題のある地域を選定し、医療専門職(保健師、看護師、歯科衛生士、管理栄養士)が、つどいの場を活用した健康教育を企画、実施。 ※実績 42回 516名参加 (令和4年3月末現在)</p> <p>重症化予防や低栄養対策が必要な人には個別支援を実施</p>	<p>・感染対策を十分に行いながら、健康課題が多い地域(高齢者の医療、介護、健診等の情報により、各区2か所選定)のつどいの場を活用した健康教育を進め、地域の健康力の向上につなげていく。</p> <p>・「低栄養予防」と「重症化予防」の内容で実施し、理学療法士の出務も検討する</p>
③リハビリテーションの充実		
7	<p>神戸市リハ職種地域支援協議会との連携</p> <p>地域ケア会議には必要時、リハビリ専門職に参画いただいている。</p> <p>【令和3年度実績】 あんしんすこやかセンター主催の地域ケア会議にリハビリ専門職が12名出席。 各区主催の地域ケア会議にリハビリ専門職が3名出席。</p>	<p>引き続き、地域ケア会議のテーマに合わせてリハビリ専門職に参加を依頼する。</p>
8	<p>地域での多職種連携の場への参画</p> <p>ケアプランについて、自立支援・重度化防止や地域資源の有効活用等に向けて多職種で検討。リハビリ専門職も助言者として参加。令和3年度は、3回(8件)のケアプランに助言。</p>	<p>令和4年度も引き続き自立支援・重度化防止に向けて、多職種協働による検証を行っている。</p>

○第8期介護保険事業計画の実施状況(令和4年3月末現在)

第1章 フレイル予防をはじめとした介護予防の推進【重点項目・施策の柱1】		
第2節 健康づくり対策		
項目	取組状況	今後の課題・取組
9	健康創造都市KOB Eの推進(市民PHRシステムの運用) 市民が自分自身の健康データを経年的に管理し、ICTを活用した健康アドバイスを受けることができるほか、健康ポイント制度を付加した市民PHRシステム「MY CONDITION KOBE」を運用。また、健康データを利活用した研究・実証を通じて得られた成果を市の健康施策に反映するため、学術機関等において、研究や実証事業を実施。 【現在のアプリ利用者数】4,595人(令和4年3月末時点)	市民の健康づくりを支援するツールとして活用するとともに、「MY CONDITION KOBE」及びそこから得られた健康データ等を活用した実証事業や学術研究を実施し、得られた成果を市の健康施策に活かすことで市民への還元を目指す。
10	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施(重症化予防・低栄養) KDBを活用した健康課題の分析を行い、75歳以上の高齢者に対し、重症化予防・低栄養防止の個別支援(ハイリスクアプローチ)と、つどいの場等を活用したフレイル予防・啓発と健康教育・健康相談等(ポピュレーションアプローチ)を実施する。 ・ハイリスクアプローチ741人、ポピュレーションアプローチ22か所・546人に実施(令和4年3月末時点)	・引き続き事業を実施し、必要な場合はあんしんすこやかセンター等関係機関と連携を図っていく。 ・令和4年度から集団健診受診者だけでなく、個別医療機関での健診受診者を対象としているが、今後の対象者等については令和4年度の評価等を元に検討を行う。
11	健康教育による普及・啓発 住民に身近な地域福祉センターや集会所等において、健康教育を実施。 【健康教育の実施】 ・8回、673人(令和4年3月末時点) ※オンライン開催含む	引き続き事業を実施するが、実施内容や広報啓発を含め、より効率的・効果的に事業が実施できるように関係部署と方向性を検討していく必要がある。
12	オーラルフレイル対策等の歯科口腔保健の推進 オーラルフレイル対策として、65歳の市民を対象に、地域の歯科医院においてオーラルフレイルチェックを受けることができるオーラルフレイルチェック事業を実施。 【オーラルフレイルチェック事業】 令和3年9月中旬より65歳市民対象に開始 ・利用者数は2,083人(65歳対象者の12.0%) 【啓発事業】 ・オーラルフレイル予防動画のホームページ上で公開 ・オーラルフレイル予防動画啓発カード(市歯科医師会作成)の配布 ・広報紙こうべでの発信 通院困難な方への訪問歯科診療・訪問口腔ケア事業を実施。 【訪問歯科診療・訪問口腔ケア事業】 ・訪問歯科診療利用者:139名 延べ549回訪問 ・訪問口腔ケア:43名 延べ959回訪問	・引き続き、オーラルフレイルチェック事業を実施するとともに、オーラルフレイル予防の啓発を積極的に行い、認知度の向上に努めていく。 ・通院困難な方への訪問歯科診療・訪問口腔ケア事業を引き続き推進していく。

○第8期介護保険事業計画の実施状況(令和4年3月末現在)

第1章 フレイル予防をはじめとした介護予防の推進【重点項目・施策の柱1】		
第3節 生涯現役社会づくり		
項目	取組状況	今後の課題・取組
13	KOBEシニア元気ポイント 令和2年度に引き続き、各区でKOBEシニア元気ポイント説明会を開催するとともに、活動登録者と登録施設の交流会を行い、高齢者の社会参加を促した。また制度の更なる周知を目的に新しい広報媒体としてラジオ・商業施設を中心とするデジタルサイネージでの動画放映を行った。 ・登録者数805人、登録施設118施設、交流会実施回数4回(令和4年3月末時点)	コロナ禍で、登録施設数、活動登録者数の伸びが当初想定よりも小さいが、交流会の開催回数を増やすとともに、デジタルコンテンツを活用した効果的な広報を行い、登録施設数、活動登録者数を増やしていきたい。
14	老人クラブ(KOBEシニアクラブ)への支援 老人クラブが会員の生きがいを高め健康づくりを進める活動や、ボランティア活動をはじめとした地域を豊かにする各種活動を行うために要する経費を補助。 【老人クラブ会員数】 26,426人(クラブ数395)(令和4年4月現在)	令和3年度より、使途がわかれていた複数の補助金を一本化し、さらに補助金手続きの簡素化を実施した。これまで以上に、老人クラブに高齢者が数多く参加できるよう支援を行う。
15	シルバーカレッジによる地域貢献 健康ライフコースの授業に、ADL(フレイルチェック)体力測定を取り入れるとともに認知症サポーター養成講座を行うなど社会課題を取り上げた講座を設けている。 共通授業の中で、「社会貢献講座」を設置し、社会貢献活動の啓発、地域リーダーの養成を図るための講義を提供した。 【社会貢献講座参加人数】 全学生719名参加(令和4年3月現在) シルバーカレッジの活動の成果を示すため、ホームページ上に、社会貢献活動のコーナーを設け、学生や卒業生が取り組んでいる社会貢献活動の具体的な成果を積極的に情報発信している。	時代やニーズに即した地域社会への貢献活動に資するため、継続的に時宜に応じたカリキュラムの見直しを行い、地域リーダーの養成や、地域活動との“つなぎ”を強化するカリキュラムの充実を図り、人材育成や地域貢献活動を一層広げることができるよう取り組んでいく。
16	各区ボランティアセンターにおけるボランティア支援 各区社会福祉協議会のボランティアセンターにおいて、ボランティアに関する相談、情報提供、マッチング調整、養成などを行い、ボランティア活動を支援。 【ボランティアセンターの実績】※令和4年3月末現在 ・ボランティア登録数:団体2,274件、個人2,418件 ・ボランティアマッチング件数:736件	コロナ禍の影響を受けボランティア活動が制限される中、活動上の感染症対策に係る留意事項について広く呼び掛け等安心・安全にボランティア活動を再開できるよう活動支援に取り組む。
17	高齢者の就労活動支援策の検討 介護人材の確保をはじめ、高齢者の就労を推進するため、特にハローワークの人材支援総合コーナー等との連携を強化し、より効果的な高齢者の就労に繋がる仕組みを検討している。	・介護人材の確保をはじめ、高齢者の就労を推進するため、ハローワークの人材支援総合コーナーや神戸市の就労活動支援を行っている所管との連携を強化し、より効果的な高齢者の就労に繋がる仕組みや広報などについて検討する。
18	シルバー人材センター 神戸市シルバー人材センターによる、高齢者に適した臨時的・短期的な仕事を提供します。 【令和4年3月末現在】 ・契約件数:9,556件 ・会員就業率:53.4%	引き続き、シルバー人材センターを運営する(公財)神戸いきいき勤労財団の中期経営計画の目標を達成できるよう、会員確保・就業開拓に取り組んでいく。
19	高齢者の移動支援(敬老優待乗車証の交付) 高齢者の移動を支援し社会参加を促進するため、70歳以上の高齢者に対し敬老優待乗車証を交付。	敬老優待乗車制度を長期的に維持し、引き続き高齢者の移動を支援していく。

○第8期介護保険事業計画の実施状況(令和4年3月末現在)

第2章 地域での生活の継続に向けた支援【重点項目・施策の柱2】

第1節 地域での支援体制づくり、相談体制の充実

項目	取組状況	今後の課題・取組
1 介護家族支援を含めた対応	<p>あんしんすこやかセンターの土日祝日の相談対応の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全76センターが土日祝日のいずれかを開庁している。 ・令和4年度3月現在の相談件数336,714件(うち、認知症に関する相談件数22,190件) ・地域の集まりに向いたり、地域団体と連携したりするなど、あんしんすこやかセンターで広報を実施。 <p>介護リフレッシュ教室の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護家族者同士の交流や情報交換の場として、各あんしんすこやかセンターが「介護リフレッシュ教室」を開催。 <p>【介護リフレッシュ教室】</p> <p>開催回数:311回、参加人数:2,100人(R3年度末時点)</p> <p>子ども・若者ケアラーへの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年6月に相談窓口を開設し、令和4年3月末時点での相談件数は159件となっている。 ・ポスター、チラシによる広報の他、ホームページやSNSを活用した広報を行っている。 ・10月からは月に1回、当事者同士の交流・情報交換の場「ふうのひろば」を開設している。 開催回数 5回、参加人数 12人(R4年3月末現在 新型コロナにより1回中止) 	<p>今後の課題・取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早期相談につながるよう、引き続きあんしんすこやかセンターでの広報を行い、介護リフレッシュ教室の開催を通じて介護に役立つ情報提供や家族同士の情報交換の場としていく。 ・当事者はケアラーである認識が無いことが多いため、関係機関からの相談が多い。このため、当事者への広報啓発を強めるとともに、関係機関への研修が必要。 ・支援には教育現場と福祉現場との連携が必要になるが、支援方法や個人情報の共有などの連携の方策を確立する必要がある。 ・障害福祉サービスの訪問介護では「育児支援」として同居の子どもに対するサービス提供が可能であるが、介護保険サービスの訪問介護では、被介護者以外の家族に対するサービス提供はできない。 ・対象世帯に生活保護世帯の割合が多いため、生活保護受給ケースへの重点的な支援の方法を検討する。 ・18歳以上の若者ケアラーへの支援を行うため、市内・近隣の大学やハローワークとの連携を図る。 ・「ふうのひろば」の対象とならない小中学生の子どもケアラーのため、地域にある子どもの居場所(子ども食堂、学習支援など)とのネットワークを構築する。
2 地域ケア会議の開催	<p>あんしんすこやかセンター主催の地域ケア会議</p> <p>【令和3年度開催実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・76センター中、73センターで172回開催(全センターで計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大により3センターで中止となった。) <p>区主催の地域ケア会議</p> <p>【令和3年度開催実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7区で10回開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策を徹底しながら、引き続き全あんしんすこやかセンターで地域ケア会議を開催し、地域ケア会議を通じて、個別支援と地域支援をバランス良く推進していく。 ・引き続き全区で区主催の地域ケア会議を開催し、各あんしんすこやかセンターの地域課題を受けて、区として取り組むべき地域課題・全市で取り組むべき地域課題・センター圏域で取り組むべき地域課題を整理する。 ・あんしんすこやかセンター圏域で取り組める地域課題についてはあんしんすこやかセンターが中心となり解決に向けて取り組み、区で取り組むべき課題は社会福祉協議会と連携し資源開発につなげる。 ・各区の地域ケア会議で出された意見・課題は市で集約し、市全体の施策や取り組みにつなげていく。
3 消費者被害防止対策	<p>被害の拡大を防ぐため、圏域内で発生した消費者被害(疑い含む)について圏域内の高齢者の方への注意喚起を実施。</p> <p>必要に応じて、消費生活センターや警察等に情報を提供。</p> <p>(再掲)事務職員の雇用等センター職員の支援につなげるため、平成30年度より委託料を1センターあたり180万円増額。</p> <p>業務の効率化のため、他で補完できる会議や報告書の廃止、報告書様式の簡易化を実施。</p> <p>【令和3年度実績】</p> <p>252件(電話:142件/来所:13件/訪問:61件/その他:36件)</p>	<p>引き続き、消費者被害(疑い含む)の防止のための広報啓発を実施。</p>
4 あんしんすこやかセンターにおける業務効率化	<p>オンラインでの研修や会議への参加に活用できるタブレット導入支援として、委託料を1センターあたり15万円増額。</p> <p>研修や説明会のオンライン開催を推進し、時間や費用の負担軽減を実施。</p> <p>オンラインツールを活用した情報発信を実施。</p>	<p>オンラインを活用した会議の効率化や、書面での提出書類の削減を推進していく。</p>

○第8期介護保険事業計画の実施状況(令和4年3月末現在)

第2章 地域での生活の継続に向けた支援【重点項目・施策の柱2】

第1節 地域での支援体制づくり、相談体制の充実

項目	取組状況	今後の課題・取組
5 生活支援 コーディネーターの 活動推進	各区に1名(北区は2名)の第1層(行政区域)生活支援コーディネーターを配置。 あんしんすこやかセンター地域支え合い推進員をはじめとする関係機関と連携し、地域支え合い体制づくりの推進のため、地域での資源開発やネットワーク構築を図っている。	引き続き、地域での資源開発やネットワーク構築を進める。
6 生活困窮 者支援	各区・支所に「くらし支援窓口」を設置し、生活困窮者からの相談に対応。 【全市での新規実相談件数】 ・9,952件(令和4年3月末現在) くらし支援窓口のアウトリーチ機能を専門に担う地域福祉ネットワークを各区社会福祉協議会に配置し、くらし支援窓口と連携して、社会的に孤立しがちな生活困窮者へのアプローチに取組む。 【地域福祉ネットワークによるニーズの掘り起こし件数(新規相談件数)】 ・689件(令和4年3月現在)	・平成27年度の「くらし支援窓口」開設以降、一定の新規相談件数があるが、複雑で多様な課題を抱えている相談者も多く、今後、更なる関係機関等との連携が課題となっている。 ・くらし支援窓口や地域福祉ネットワークを中心として、関係機関等と連携し、社会資源や地域ネットワークを活用することにより、早期発見に努め、自立に向けた支援を実施していく。 ・令和2年度には新型コロナウイルス感染症の影響による失職や休業など、生活困窮世帯からの相談が急増した。現在は令和2年度に比べると落ち着いてきているもののコロナ禍の影響は継続しており、今後も困窮者の自立に向けた支援を実施していく。 ・コロナ禍において多様化・複雑化する住民ニーズや制度の狭間にあるニーズをキャッチし、専門機関と連携して課題解決する仕組みづくりを引き続き推進する。 ・「生きがいややりがいを感じる」、「地域や社会とつながる」ことを目指し、本人や区の特性に合わせ全区に立ち上げた居場所の充実を図る。
7 ひきこもり 支援	地域の支援者向け研修や関係機関職員研修を14回開催 ご本人やご家族をサポートする「ひきこもりサポーター養成講座」を開催し、登録数は140名	・令和4年度以降も引き続き、より多くの地域の支援者向け研修や関係機関職員への研修を行う。 ・また、「ひきこもりサポーター養成講座」を開催して登録数を増やすとともに、ひきこもりサポーターに登録された方々に対しても適宜講習を実施し、ひきこもりサポーターとして継続的に活躍していただく。

第2節 在宅医療・介護連携の推進

8 医療介護 サポートセ ンターの運 営	医療介護サポートセンターにおいて、在宅医療等に関する相談を受け付けるとともに、多職種連携会議等を実施。 【相談件数】 ・1,119件(令和4年3月末現在) 【多職種連携会議等実績】 ・160回(令和4年3月末現在)	令和4年度以降も、引き続き、医療介護サポートセンターの運営を行っていく。
9 医療・介護 の連携ツ ールの普 及、ICT の活用	ICTを活用した退院時カンファレンスを推進するため、多職種連携の研修を実施した。 【ICTを活用した退院時カンファレンスに関する多職種連携研修実績】 ・3回(令和4年3月末現在) ※退院時カンファレンスに関する多職種連携研修実績は10回	・ケアマネジャーと病院との連携ツールである「入退院時連携シート」の活用促進を努めていく。 ・ICTを活用したカンファレンスを推進するため、引き続き、多職種連携の研修を実施する。 ・医療介護連携におけるICTの活用について、今後も課題として取り組んでいく。
10 看取り・ ACPの普 及啓発	神戸市「人生の最終段階における意思決定支援」に関する有識者会議の議論を経て、ACPの普及啓発や意思決定支援などについて盛り込まれた報告書を取りまとめた。	有識者会議の報告書をもとに、具体的な施策について関係者間で合意が得られたものより順次着手していく。

○第8期介護保険事業計画の実施状況(令和4年3月末現在)

第2章 地域での生活の継続に向けた支援【重点項目・施策の柱2】

第3節 権利擁護/虐待防止対策

項目	取組状況	今後の課題・取組
11 福祉サービス利用援助事業の推進	福祉サービス利用援助事業権利擁護に関する相談について各区においても対応できるよう、区社会福祉協議会職員に対する研修を実施。 【福祉サービス利用援助事業の契約件数】 ・574件(令和3年12月末現在)	引き続き、判断能力が充分でない方に対する権利侵害や財産管理に関する不安や困りごとに係る相談に応じるとともに、福祉サービス利用援助事業を実施している市社会福祉協議会において適切な業務執行体制を維持しながら増加する利用ニーズに対応していく。
12 専門職団体との更なる連携	弁護士会や司法書士会などの専門職団体と「成年後見制度の神戸市長申立に関する協定」を締結。研修の充実を図るとともに、区職員からの専門職への相談や、書類作成の業務補助を受けることができる環境を整備。また、専門職団体と連携して成年後見支援センターで専門相談を実施。 【専門相談件数】 ・81件(一般相談件数:1,206件)(令和4年3月現在)	・市長申立に係る連携について、区職員が利用しやすい制度となるよう努め、実績件数の増加を目指していく。 ・成年後見支援センターにおいて、引き続き専門職相談を実施し、近年複雑化する相談に対応していく。
13 市民後見人の養成・支援	第7期市民後見人候補者養成研修を実施し、新たに12名の市民後見人を養成。 令和4年3月末現在、96名が市民後見人として登録されている。 既登録者は、後見人としての活動の他、新たな役割として、相談員として各区で相談に応じたり、実際の後見人受任等の経験を活かして地域で広報・啓発を実施。	市民後見人登録者について、研修の充実等により資質の向上を目指すとともに、地域における活動についてもサポートしていく。
14 成年後見制度利用支援事業の実施	成年後見制度の利用にあたり、必要となる費用(申立て費用及び報酬)を負担することが困難である者に対し、助成を行う。 申立費用助成者数3名 報酬費用助成者数220名(R4.3末時点)	引き続き、成年後見制度の利用にあたり、必要となる費用(申立て費用及び報酬)を負担することが困難である者に対し、助成を行っていく。
15 高齢者虐待	区、あんしんすこやかセンター職員へ的高齢者虐待対応研修を実施するとともに、各区の高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会等を通じた関係機関との連携体制の構築を図っている。 ・高齢者虐待対応研修: 令和3年度実績 延173名参加(年4回) 介護保険事業者に対して、年1回以上の高齢者虐待防止研修を義務付け。事業者説明会で周知するとともに、施設等宿泊を伴うサービスを実施する事業所については、実施報告書の提出を要求。 市主催の虐待防止研修を施設長・研修担当者向けにそれぞれ開催。 【施設長・研修担当者対象研修(R3.11月実施(2回))】 ・参加者:118名	引き続き、区、あんしんすこやかセンター職員を対象とした研修等を行い、高齢者虐待事例への対応力の向上を図っていく。また、関係機関の連携体制の整備に努めていく。 引き続き、介護保険事業者に対し高齢者虐待防止研修の実施を働きかけていく。 虐待防止研修については、要望が多いアップツーデートな内容となるよう、テーマを吟味し今後も継続していく。

○第8期介護保険事業計画の実施状況(令和4年3月末現在)

第2章 地域での生活の継続に向けた支援【重点項目・施策の柱2】

第4節 緊急時の対応

項目	取組状況	今後の課題・取組
16 地域における災害時要援護者支援の取り組み推進	災害時の要援護者情報について、平常時から地域団体と共有することにより、日常での声かけや支え合いなど、要援護者支援の体制づくりを進めます。	取組を行う地域団体を増やしていくため、他団体の活動例を示していくとともに、福祉部局・防災部局が連携して広報を進めていく。
17 基幹福祉避難所・福祉避難所開設訓練の実施	災害時に要援護者の初動受入および生活支援を行う基幹福祉避難所において開設訓練を行います。訓練の実施にあたり、災害時の障害者支援を担う障害者支援センターとも連携していきます。 また、災害時に基幹福祉避難所に続いて順次開設される福祉避難所協定施設においても新たに開設訓練を行います。 ・基幹福祉避難所開設訓練(21施設):毎年実施 ・福祉避難所協定施設:令和2年度から5年程度で開設訓練を実施。 (令和3年度までに38施設で実施済、令和4年度は33施設を予定)	・基幹福祉避難所開設訓練等をふまえ、各種マニュアルの見直しを行い、災害時に要援護者を受入れることができるよう、地震や風水害など様々な災害を想定し、毎年度継続して訓練を実施していく。障害者地域生活支援拠点(旧障害者支援センター)と連携した訓練を進めていく。 ・基幹福祉避難所のコーディネーターを中心に、災害時の備えや避難について、事業者等と連携しながら要援護者への啓発を進めていくとともに、地域で支え合う取組を推進していく必要がある。 ・令和4年度においては、福祉避難所協定施設33施設で訓練実施予定。福祉避難所の運営と施設のBCP計画とを関連付けた上で、できる限り、福祉避難所協定施設に毎年継続的に訓練を実施するよう働きかけていく。
18 あんしんすこやかセンターでの災害時対応、ケアマネジャーの協力推進	災害時に、各あんしんすこやかセンターの開設状況を把握し、被災高齢者やご家族の相談対応等を行えるよう、行政との連絡体制に関するマニュアルを整備。あんしんすこやかセンター、区保健福祉課、介護保険課間で情報共有体制構築を図るため、あんしんすこやかセンターの被災状況報告訓練を年1回実施。 あんしんすこやかセンター区代表者会において、災害時対応について検討を実施。 ケアプラン作成時に、緊急連絡先や避難先の情報を記載することとし、平時より高齢者自身が災害時の対応を考える機会としている。	・災害時の安否確認等、要援護者の支援を行うため、民生委員等地域団体との連携や、居宅介護支援事業所との連携について検討していく。 ・災害時の区や市との連携や、窓口について整理していく。
19 災害・感染症発生時の応援体制の推進	感染症や自然災害が発生した場合であっても、介護サービスが安定的・継続的に提供されることが重要であることから、介護施設・事業所における業務継続計画(BCP)の作成を支援するために国が実施している研修動画等の情報提供を行っている。	BCPは2021年度の介護報酬改定で義務化され、経過措置期間として3年の期間が設けられており、介護サービス事業所は2024年4月までに策定しなければならない。そのため、全事業所に向けた集団指導の場などにおいて引き続き周知を実施していく。
20 災害時の緊急入所推進	震災、風水害、火災等の災害等により、一時的に居宅等において日常生活を営むことに支障が生じた居宅要介護被保険者本人が被災によりショートステイを利用した場合に、保険給付できない利用額について、市独自の上乗せ給付「災害時ショートステイサービス」を創設。 申請 5件(令和4年3月現在)	制度を広く、適切に利用していただけるよう、引き続き、制度の周知を行っていく。

○第8期介護保険事業計画の実施状況(令和4年3月末現在)

第3章 認知症の人にやさしいまちづくりの推進【重点項目・施策の柱3】

①認知症「神戸モデル」の推進(診断助成制度及び事故救済制度)

項目	取組状況	今後の課題・取組
1 診断助成制度	<p>認知症神戸モデルの取組として、地域の医療機関で認知症の疑いの有無を診る「認知機能検診」と、疑いのある方を対象とした、専門の医療機関での「認知機能検査」の2段階の診断を、自己負担無く受診できる「認知症診断助成制度」を平成31年1月28日より開始。</p> <p>令和元年度は、制度周知も含め、75歳以上の市民へ無料受診券を郵送配布。令和2年度、令和3年度は75歳到達者へ無料受診券を郵送配布。</p> <p>【実施医療機関数】(令和4年5月末) 認知機能検診(第1段階) 456箇所 認知機能精密検査(第2段階) 73箇所</p> <p>【受診者数】(制度開始～令和4年3月末時点) 認知機能検診(第1段階)45,781人 認知機能精密検査(第2段階)9,850人</p> <p>認知症の総合電話相談窓口「オレンジダイヤル」を平成31年4月1日より開設し、初期集中支援チームと一体で運営している。</p> <p>【電話相談件数】(令和3年度)690件</p>	<p>必要な方に制度を利用していただけるよう、引き続き制度の周知に努めていく。</p>
2 事故救済制度	<p>認知症神戸モデルの取組として、賠償責任の有無を問わず支給する給付金と賠償責任がある場合の上乗せ支給する賠償責任保険の2階建て方式の救済制度を平成31年4月より実施している。</p> <p>【実施状況】令和4年3月末時点 支給件数:18件(給付金6件、賠償責任保険12件) ※上記のほか、傷害死亡・後遺障害保険(交通事故対象)で1件賠償責任保険加入者数:6,896人</p>	<p>必要な方に制度を利用していただけるよう、引き続き制度の周知に努めていく。</p>
②認知症の人にやさしいまちづくり条例に基づく施策の推進		
3 関係機関と連携した研究開発の推進	<p>介護予防事業の対象者選定に用いる「基本チェックリスト」に回答した約8万人のデータやフレイルチェック結果データと、研究開始から2年後の要介護状態との、認知症関連の比較・分析を実施。本市はデータの提供等による協力・連携。</p>	<p>・令和3(2021)年に全体総括の報告が行われた。 ・基本チェックリストの認知機能を評価する質問(Q18-20)への否定的な数に比例して、3年後の要介護認定が発生していることが確認された。(該当なし3.5%、1つ該当6.4%、2つ該当12.6%、3つ該当29.6%) ・将来の介護認定のリスクを予測する上で有用な指標を確認した。(CFI、GDS、EQ-5D-5L等) ・結果の施策への反映について現在検討している。</p>
4 運転免許自主返納啓発	<p>免許返納の啓発のため、「運転免許証自主返納」、「高齢者運転免許自主返納キャンペーン(自主返納者へのICOCAカード5000円分プレゼント)」のパンフレットを作成し、幅広く市内に配布。令和3年度 申請受付件数:3,304件</p> <p>診断助成制度において、第1段階の認知機能検診を受診された全ての方に対し、「運転免許証自主返納」のパンフレットを配布。また、認知症疾患医療センターにおいて、「高齢者運転免許自主返納キャンペーン」のパンフレットを配布。</p>	<p>・引き続き、高齢者による自動車運転時の事故を防止するため、運転に不安を感じる高齢者の運転免許の自主返納を啓発・促進していく。 ・今後の課題は、運転免許返納後の移手段の確保、地域での生活を支える施策の検討。</p>
5 初期集中支援チーム	<p>認知症初期集中支援チームを全区で実施。</p> <p>【実施件数】(令和3年度) 新規対応件数:186件 ※医療・介護サービスにつながった者の割合(R3年度):74.51% (「認知症施策推進大綱」における目標値:65%)</p>	<p>引き続き、あんしんすこやかセンター等への周知や連携を深め、必要な方への支援に努める。</p>
6 認知症疾患医療センター(市内7箇所設置)	<p>地域の認知症医療提供の拠点として、認知症の鑑別診断に加え、専門医療相談や、診断後の専門医療相談・日常生活支援相談を実施している。令和2年度からは、認知症サロンをすべての疾患医療センターで本格実施している。</p> <p>【実施件数】(令和3年度) 相談件数:6,843件 鑑別診断件数:1,802件</p>	<p>診断後・退院後の相談支援の充実やかかりつけ医など地域との連携強化、困難事案への対応など、地域の認知症医療提供の拠点としての機能強化を図っていく。</p>

○第8期介護保険事業計画の実施状況(令和4年3月末現在)

第3章 認知症の人にやさしいまちづくりの推進【重点項目・施策の柱3】

②認知症の人にやさしいまちづくり条例に基づく施策の推進

項目	取組状況	今後の課題・取組
7	KOBEみまもりヘルパー 認知症または軽度認知障害(MCI)と診断された方を対象に、在宅生活への支援として、自宅に訪問し、見守りや話し相手、外出の付き添い等の見守りサービスを提供。 【利用状況】 32名延べ139.5時間 【実施事業者数】 36箇所	必要な方に制度を利用していただけるよう、引き続き制度の周知に努めていく。
8	医療・介護従事者研修 認知症介護に関する職場において、認知症高齢者のおかれている立場に配慮した質の高い介護と援助が行われ、認知症高齢者が尊厳を持って生活をおくることができるよう、専門職員及び認知症サポート医(推進医師)等の養成を行い、また、かかりつけ医や病院勤務の医療従事者の認知症対応力の向上を図っている。 【令和3年度養成状況】 認知症サポート医養成研修:17名 かかりつけ医認知症対応力向上研修:22名修了 認知症介護実践者研修:207名修了 認知症介護実践リーダー研修:38名修了 認知症介護指導者養成研修:受講申込者なし 認知症介護基礎研修:201名修了(eラーニングのため随時受講)	引き続き、認知症サポート医の養成や専門職への研修を行い、医療・介護人材の認知症対応力の向上を図っていく。 ・新型コロナウイルスの影響で一部オンラインで実施している研修もあるが、今後どのような形で実施していくかについて検討する。
9	軽度認知障害(MCI)の方を対象としたフレイル改善通所サービスの提供 認知症疾患医療センターにおいて、MCI(軽度認知障害)と診断された方に、認知症予防を目的にフレイル改善通所サービスを案内している。 令和3年度案内件数:126件	引き続き、MCI(軽度認知障害)と診断された方への案内を行い、周知に努めていく。
10	市民啓発 世界アルツハイマーデーの普及啓発として、記念講演会や市内のオレンジライトアップの実施、市内図書館での認知症に関する展示を行っている(記念講演会は、今年度、新型コロナウイルスの影響により未実施)。また地域に出向いて、認知症神戸モデル等についての出前トークを行っている。	引き続き、市民に対し、認知症に関しての普及啓発に努めていく。
11	認知症サポーター養成・活躍の場の提供(企業・職域型含む) 地域において認知症に対する正しい理解の浸透を図るため、地域住民や学校、企業などに対して認知症サポーター養成講座を実施している。 【令和3年度養成状況】(令和4年3月末時点) 4,483名(うち、企業・職域型958名)	引き続き、認知症サポーターを養成していくとともに、活躍の場の提供方法について検討する。
12	声かけ訓練 「認知症高齢者等声かけ訓練」を各区のあんしんすこやかセンター圏域毎で実施。 ・あんしんすこやかセンター圏域:78箇所(センター数76) 【実施状況】(令和4年3月末時点) 平成30年度:36センターで実施 令和元年度:38センターで実施(内新規実施:18センター) 令和2年度:15センターで実施(内新規実施:10センター) 令和3年度:29センターで実施	引き続き、令和3年度～5年度で全あんしんすこやかセンター単位で訓練を実施することを目指す。
13	認知症カフェ 認知症の人と家族、地域住民、専門職等の誰もが自由に参加し、気軽に相互交流や相談等ができる地域に開かれた集いの場を登録・紹介 【実施箇所】(令和4年3月1日時点) 34箇所	気軽に認知症の方やご家族、地域住民の方が参加できるよう、認知症カフェの周知に努めていく。
14	若年性認知症の人への支援充実・社会参加促進 若年性認知症支援研修と若年性認知症デイサービス・デイケア研修を実施している。 (支援研修は、オンラインで実施予定。デイサービス・デイケア研修は、今年度、新型コロナウイルスの影響により未実施。)	新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、引き続き研修を実施していく。
15	ICTを活用した見守り 認知症神戸モデルの取組として、GPSの導入のための初期費用とかけつけサービスの費用(年6回まで)を市が負担する「GPS安心かけつけサービス」を平成31年4月1日より開始。※1月28日より受付を開始。 【契約者数】(令和4年3月末時点) 161人	必要な方に制度を利用していただけるよう、引き続き制度の周知に努めていく。

○第8期介護保険事業計画の実施状況(令和4年3月末現在)

第4章 安全・安心な住生活環境の確保【重点項目・施策の柱4】

第1節 多様な住まいの確保、施設・居住系サービスの確保

①多様な住まいの確保

項目	取組状況	今後の課題・取組
1 サービス付き高齢者向け住宅の確保	第2期神戸市高齢者居住安定確保計画(2018-2023)に基づき、良好なサービス付き高齢者向け住宅への誘導を図るため、平成30年12月1日より新たな登録基準を策定。 【新面積基準による登録実績】 ・7棟 新たな基準である『地域交流のためのスペース』の設置基準についても、相談が増えている。 【登録実績】 ・上記7棟のうち3棟	引き続き良好なサービス付き高齢者向け住宅を供給していく。
2 市営住宅の充実	市営住宅定時募集において、シルバーハイツや高齢者世帯向けの特定目的等の市営住宅の提供を実施。 【募集実績】 ・シルバーハイツ(単身向):53戸 ・シルバーハイツ(世帯向):35戸 ・高齢者世帯向住宅:9戸 エレベーターのない住宅に住んでいる入居者で、加齢、病気等によって階段の昇降が困難になった方に対する住宅変更を実施。 【住宅変更の実績】 ・31件	令和4年度以降も引き続き、特定目的住宅の募集を行い、高齢者への市営住宅の提供を続けていく。 ・今後、市営住宅における高齢化及び高齢者の単身世帯化が進展していくにしたいが、階段昇降困難となる入居者は増加していく可能性があると考えられる。このため、公募の制度との均衡・公平性を図りながら、引き続き入居者の安全・安心な住環境の確保に努めていく。

②施設・居住系サービスの確保

3 第8期介護保険事業計画期間における整備目標【特別養護老人ホーム】	第8期計画数:630床 【整備状況】 ・第1回公募数200床 ⇒ 2事業所112床整備中 ・第2回公募数200床 ⇒ 1事業所25床整備中 【既存特別養護老人ホームにおける増床整備】 ⇒ 2事業者25床整備済 【従来施設でのプライバシーに配慮した多床室の整備】 ⇒ 1事業者44床整備済 2事業者51床整備中	・第8期計画の整備目標を達成するよう、引き続き、公募を行っていく。 ・介護人材不足、建設費の高騰などの影響により、応募数の増加に至っていない。このため、実態を踏まえ、介護人材不足への対応・土地確保が困難な既存市街地での整備促進・老朽化した介護保険施設の長寿命化の促進等の取り組みについて検討を進めていく。
4 【介護老人保健施設】	第8期計画数:427床 【整備状況】 ・第1回公募数100床 ⇒ 1事業所100床整備中 ・第2回公募数150床 ⇒ 1事業所48床整備中	第8期計画の整備目標を達成するよう、引き続き、公募を行っていく。
5 【介護医療院】	第8期計画数:73床 【整備状況】 ・転換希望に随時対応 ⇒ 1事業所61床整備中	引き続き、療養病床からの転換を優先して対応していく。
6 【認知症高齢者グループホーム】	第8期計画数:360床 【整備状況】 ・第1回公募数150床 ⇒ 5事業所46床整備中	第8期計画の整備目標を達成するよう、引き続き、公募を行っていく。
7 【特定施設入居者生活介護】	第8期計画数:450床 【整備状況】 ・第1回公募数200床 ⇒ 2事業所150床整備中 ・第2回公募数100床 ⇒ 1事業所100床整備中	第8期計画の整備目標を達成するよう、引き続き、公募を行っていく。
8 【定期巡回・随時対応型訪問介護看護】	・令和3年度は灘区・兵庫区・北区・西区で公募を実施し、2事業者(灘区・西区)を選定。 ・定期巡回サービスの普及・啓発のため、市事業者協議会と連携してケアマネジャー等を対象とした事例検討会を実施 事例検討会:令和4年2月9日開催	・令和4年度以降も、引き続き定期巡回サービスの整備拡大を図っていく。 ・事業者協議会と連携しながら、定期巡回サービスの普及・啓発に向けたセミナー等を引き続き実施していく。

○第8期介護保険事業計画の実施状況(令和4年3月末現在)

第4章 安全・安心な住生活環境の確保【重点項目・施策の柱4】

第2節 安全・安心な住生活環境の整備

項目	取組状況	今後の課題・取組
9 住宅のバリアフリー化	65歳以上の要支援・要介護認定を受けていない高齢者が居住している住宅を対象として、手すりの取り付けや段差解消などのバリアフリー改修工事について工事費用の一部を補助。 【バリアフリー改修工事補助】 ・166件	引き続き補助を実施していく。
10 鉄道駅のバリアフリー化	鉄道駅のホーム柵設置やバリアフリー化の支援を実施。 【鉄道駅ホーム柵設置・バリアフリー化等支援】 (ホーム柵整備予定駅) ・JR 西日本:三ノ宮駅1・4番線(令和2～4年度) ・阪急電鉄:春日野道駅(令和2～4年度) ・阪神電気鉄道:神戸三宮駅(令和元～3年度)整備完了 (バリアフリー化等整備予定駅) ・阪急電鉄:春日野道駅(令和2～4年度) ・阪神電気鉄道:大開駅(令和元～3年度)整備完了 ・神戸電鉄:花山駅(令和元～4年度) ・山陽電気鉄道:東須磨駅(令和2～4年度)	駅のバリアフリー化については、1日平均乗降客数3,000人以上の駅については整備目途が立っているが、3,000人未満の駅については整備未定が15駅残っており、2経路目の整備の要望もある。また、ホーム柵整備も、転落防止のため、今後も引き続き支援していく。

○第8期介護保険事業計画の実施状況(令和4年3月末現在)

第5章 人材の確保・育成【重点項目・施策の柱5】		
項目	取組状況	今後の課題・取組
1 高齢者介護士認定制度	<p>神戸市介護サービス協会において、人材定着につながるよう、原則勤続3年目から5年目の職員を対象に、神戸市高齢者介護士認定制度に係る講習会と認定試験を実施。</p> <p>【講習会実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年7月・8月のうち4日間実施 <p>【令和3年度認定者数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・22名(累計318名) <p>同制度を通じた介護人材のキャリアアップ支援を図るため、同制度合格者に対して、引き続き同じ事務所で介護福祉士を取得するための支援金を支給。</p> <p>【支給件数】</p> <p>89件</p> <p>事業所に対して、職員が同制度を受講する際に必要となる代替職員の確保に係る経費を補助。</p> <p>【令和3年度補助件数】</p> <p>2件</p>	<p>人材定着に向けて、高齢者介護士認定制度、同制度を通じたキャリアアップ支援、同制度の受講支援を引き続き実施していく。</p>
2 外国人材の受入れ促進	<p>兵庫県社会福祉協議会がミャンマー等で外国人介護人材の受け入れを新たに促進するため、各国の送出し機関と連携して実習生受入業務を行う国際専門調整員を配置する経費を県と共同で実施。</p> <p>市内事業所に勤務している在留資格「技能実習」又は「特定技能1号」で在留する外国人が日本語及び介護福祉士国家資格取得のための学習に係る経費や、日本語学習等を行う際に必要となる代替職員確保に係る経費を補助。</p> <p><日本語学習></p> <p>令和3年度申請数:10件(45名)</p> <p>※資格取得・代替職員については申請0件</p>	<p>引き続き、兵庫県社会福祉協議会への補助を実施するとともに、日本語学習等補助を実施することで、働きやすい環境づくりや長期的な就労を実現する。</p>
3 すまいへの支援	<p>外国人材の受け入れ支援のため、神戸市居住支援協議会ホームページにおいて、外国人向けのすまい探しをおこなう企業・法人と不動産業者をマッチングする「外国人受入れ企業・法人のすまい探しサポート」や、既存住宅をシェアハウスとして改修し、雇用企業やNPO法人等が外国人など住宅確保に支援が必要な方に賃貸する場合の改修工事費を補助する「神戸市共同居住型住宅改修補助制度」を実施している。</p> <p>【外国人受入れ企業・法人のすまい探しサポート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力不動産業者:59社 <p>【神戸市共同居住型住宅改修補助制度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2件 <p>「市営住宅の社宅等活用による地域活力向上事業」により、介護・福祉人材を含め企業の社員等、これからの神戸の産業を支えていく人材の定着を図ることを目的とし、押部谷住宅・栄住宅において空き住戸を社宅等に活用する取り組みを実施している。現在、5住戸(押部谷住宅)において介護事業者による活用が決定している。</p>	<p>・介護・福祉人材の住まいの実態やニーズ等を考慮し、引き続き支援策を検討していく。</p> <p>・事業の拡充として、ニーズを確認しながら他地区の住宅での取り組みも検討している。</p>
4 再就職支援、介護現場への就労啓発	<p>潜在介護士に対する再就職支援講習会を外部委託にて実施。</p> <p>【受講人数】</p> <p>第1回:4人 第2回:3人 第3回:4人</p>	<p>潜在介護福祉士の復職を支援するため、再就職支援講習会を引き続き実施していく。</p>
5 介護ロボットの活用	<p>企画調整局医療・新産業本部と共同で、介護ロボット等の開発や導入について、企業と介護保険施設の双方から相談を受ける窓口を開設し、施設が介護ロボットやICT機器等を体験導入する機会を企業の協力により提供するとともに、業務の効率化や職員の負担軽減に向けた検討を支援。</p> <p>令和3年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト(委託先:一般社団法人日本ノーリフト協会) 体験型ワークショップ開催回数:3回 参加:71企業、16事業所 	<p>引き続き本事業を実施することで、介護ロボット等の導入促進を図り、業務効率化や介護職員の負担軽減を推進していく。</p>
6 ICT・AIの活用	<p>インカムによる情報共有や記録作成のシステム等を導入する際の費用を補助することで、介護現場でのICT機器購入やAI導入、ペーパーレス化を促進する。</p> <p>令和3年度申請数:62件</p>	<p>引き続き介護現場でのICT機器購入やAI導入、ペーパーレス化を促進することで業務効率化・生産性向上に繋げていく。</p>
7 ノーリフティングの普及啓発	<p>介護職員の腰への負担を軽減する介護技術「ノーリフティング」について、事業者や市民を対象にした研修会等を通じ、普及啓発に取り組む。(令和3年度は研修実施なし)</p>	<p>引き続きノーリフティングの普及啓発を実施していく。</p>

○第8期介護保険事業計画の実施状況(令和4年3月末現在)

第5章 人材の確保・育成【重点項目・施策の柱5】		
項目	取組状況	今後の課題・取組
8 働きやすい職場づくりの推進	介護人材を確保するため、新たに事業所内保育施設を整備する介護保険施設等に対し、その整備費の一部を助成する。 【整備状況】 ・第1回公募 ⇒ 応募なし	引き続き、各種の取組みを通じて、働きやすい職場づくりを推進していく。
9 資質向上に向けた取組	神戸市介護サービス協会と連携して、介護人材等に関する各種研修を実施。 神戸市社会福祉協議会が運営する市民福祉大学において、介護サービス従事者を対象とした各種研修を実施。 【実施件数】 新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンラインでの実施に切り替え	介護従事者の資質向上に向けて、今後も引き続き、神戸市介護サービス協会、神戸市社会福祉協議会と連携して研修を実施していく。
10 介護現場の理解促進・魅力発信	神戸市老人福祉施設連盟、神戸市介護老人保健施設協会と連携し、中学生を対象としたトライやるウィーク(職業体験)の受け入れ可能施設のリストを作成。 トライやるウィーク、ワークキャンプ(福祉体験学習)による介護現場の体験を通じた啓発。 市内中学校や特別支援学校で、車いすや視力障害体験等を通した福祉教育の実施(神戸市老人福祉施設連盟実施)。 【実施件数】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	引き続き、教育委員会事務局と協力し、トライやるウィークやワークキャンプ等を通じて介護現場の必要性や意義を喚起する啓発を支援する取組みを行っていく。
11 ハラスメント・安全対策	兵庫県と連携し、訪問看護師・訪問介護員の安全確保のための二人訪問に対する費用の補助を実施。 令和3年度:3件	兵庫県と連携して実施している二人訪問補助は、制度周知も含め、引き続き実施していく。

○第8期介護保険事業計画の実施状況(令和4年3月末現在)

第6章 介護保険制度の適正運営【重点項目・施策の柱6】

項目	取組状況	今後の課題・取組
1 自立支援を促進するケアマネジメント	<p>自立支援型ケアマネジメント研修を実施(目標7回/年)</p> <p>(基礎編)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年12月に2日間コースで開催。 ・参加延べ人数:65名 <p>(スキルアップ編)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年1月～2月に主任・現任を対象に2日間開催。 ・参加延べ人数:87名 <p>地域同行型ケアマネジメント研修を実施</p> <p>(実地型研修)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年9月～令和4年1月に計3回開催。 ・参加延べ人数:155名 	<p>・令和4年度以降も継続実施、より広く参加してもらえるよう研修テーマの設定や広報を工夫していく。</p> <p>・地域同行型は、参加者数の確保が課題。研修目的を明確化し事業所理解を得ると共に受講者が翌年のアドバイザーとなる等、人材サイクルの仕組みづくりを定着化する取り組みを検討していく。</p>
2 ケアプラン点検(指導・助言等)	<p>国保連適正化システムから要件抽出率が高い、未実施等の事業所を対象に2段階方式で実施。</p> <p>【委託事業者の点検(1次)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェックリストを用いて介護予防の全プラン、要介護の一部プランを点検。事業所の傾向等を把握し面談等にて指導(67事業所 1,257プラン)。 <p>【介護保険課の点検(2次)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1事業所約4プランを抽出し、状態像に応じたプラン作成か手順と実践面を点検(22事業所 86プラン) ・サ高住等の高齢者向け集合住宅入居者のプラン点検を実施。実地指導に同行し、住環境等を把握し身体状況も含めてケアプランを点検。併せて訪問介護等の併設事業所の状況を確認。(4事業所 70プラン) <p>【実施事業所数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あんしんすこやかセンターを対象に実施している介護予防のケアプランを点検。 介護保険課巡回派遣員 (76事業所 3,033プラン) 介護保険課職員 (6事業所 40プラン) 	<p>・国保連適正化システムによりケアプラン点検効果を確認していく。また、1次と2次点検の業務内容等を明確化し、効果的な体制や仕組みづくりに取り組んでいく。</p> <p>・サ高住等のケアプランについては、実地指導同行の実績も踏まえながら、今後の効果的な実施方法等を検討していく。</p> <p>・自立支援・重度化防止の観点から、介護サービス事業者を含む多職種が参加するケアマネジメント検討会を開催し、アセスメントやモニタリング等を共有化し、適切なケアマネジメントの検討と支援につなげていく。</p> <p>・リハビリ専門職による同行訪問を継続して実施し、ケアプラン作成者の質の向上を目指す。</p>
3 要介護認定の適正化	<p>認定調査の適正化に向けた研修等を実施。</p> <p>①認定調査員研修(目標12回→11回/年)</p> <p>【新規研修(臨時含む)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1.5日コースを6回開催。161人参加 <p>【フォロー研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DVDを用いた実践研修を4回開催。74人参加 新型コロナウイルス感染症の感染拡大(緊急事態宣言発令中)のため2回中止とした。 <p>【現任研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年11～12月に現任研修を開催。636人参加 <p>②調査に市職員が同行し助言指導を行う委託先検査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7事業所実施。 <p>③主治医意見書の充実と適正化に向けた取り組みを実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R3年10月記載充実の取り組みとしてリーフレットを作成配布。 ・総合病院における主治医意見書研修については、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み実施せず。 <p>④認定審査会の平準化を実施。</p> <p>【現任委員研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年11～12月、全95合議体が模擬事例の審査判定を行い、結果を共有することで審査を平準化。 <p>【ワーキング等の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各区事務局向けにワーキング(3回)を開催し、審査会運営を統一化。 事務局研修は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により実施できず。 	<p>・引き続き、適正化に向けた研修など認定調査の適正化に向けた取り組みを実施していく。</p> <p>・主治医意見書の充実と適正化に向けた取り組みについて検討していく。</p> <p>・認定審査会の事務の統一化と効率性について、引き続き検討していく。</p>
4 住宅改修の点検、福祉用具貸与の適正化	<p>給付適正化に向けて、一定の要件のもとに抽出した住宅改修工事の対象となる住宅に当該職員又は建築士の資格を持った調査員が訪問し、住宅改修費支給要件を満たしていることの確認又は申請工事内容と施工内容が相違なく適切に施工されていることの確認をする住宅改修実地調査を実施。</p> <p>見積り合せ導入などの制度改正内容についての制度改正チラシ及び国提示の見積り様式をホームページ掲載により周知。</p> <p>【調査件数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・27件(令和4年3月時点) 	<p>引き続き、実地調査事業を実施し、保険給付の適正化を図っていく。</p>

○第8期介護保険事業計画の実施状況(令和4年3月末現在)

第6章 介護保険制度の適正運営【重点項目・施策の柱6】

項目	取組状況	今後の課題・取組
5 縦覧点検の実施・医療情報との突合	<p>国民健康保険団体連合会に医療情報突合チェック及び縦覧チェックに係る点検結果並びに照会文書の発送を依頼。照会の回答報告を踏まえ、不適正な請求に対し過誤を促す連絡を保険事業係で実施。</p> <p>【点検件数(国保分)】 ・389件(令和4年3月時点実績) 一部縦覧チェックリストを使用し、国保連より詳細な点検を行い、不適正な請求に対して過誤を促す連絡を保険事業係で実施。</p> <p>【過誤件数】 ・595件(令和4年3月時点実績)</p> <p>平成30年8月より、人材派遣を活用し体制を強化。</p>	<p>・保険事業係による縦覧チェックに係る点検を、より効率的かつスピーディに行えるようマニュアル化を図るとともに、各事業所に適正化への協力を促していく。</p> <p>・国保連・監査指導部と連携しながら、引き続き介護給付費の算定要件の明瞭化に努め、各事業所に適正な請求の理解を促していく。</p>
6 介護給付費通知	<p>令和3年度は、8,9月利用分の2ヶ月分を対象として通知を実施。利用者の方に対し、介護サービスの内容を理解していただくこと、保険請求をチェックしていただくことで、不適正な請求に対する事業所への問い合わせを促進。</p> <p>【通知実績】 ・63,324件(令和3年度実績)</p>	<p>・引き続き介護サービスの理解を促し、チェックしてもらうことで事業所の不正請求を防ぎ、給付の適正化を図っていく。</p> <p>・介護給付費通知の作成から発送まで、国保連と連携しながら、よりスピーディに行うとともに、ご利用者にとって分かりやすい通知を目指していく。</p>
7 第三者求償事務の推進	<p>第三者行為求償の届出が被保険者に義務化されたことに伴い、届出義務対象者を把握するため、医療保険者より第三者行為求償の届出をおこなっている介護保険被保険者の情報を入手し、届出義務ある被保険者に対して届出を勧奨。</p> <p>【届出実】 ・14件(令和3年度実績)</p> <p>平成30年8月より、人材派遣を活用し体制を強化。</p>	<p>届出義務対象者の把握をさらに徹底し、介護給付の損害金回収を図っていく。</p>
8 保険料収納対策の強化	<p>・納入通知書に口座振替手続きの用紙を同封し、口座振替での納付を促している。</p> <p>・納付書に同封しているチラシに口座振替推奨の文言を記載している。</p> <p>・コンビニ・スマホアプリでの納付を活用している。</p>	<p>引き続き納付環境の整備を図っていく。</p>
9 制度の持続性を踏まえたサービスの見直し	<p>平成30年4月より、紙おむつ支給事業における対象者および支給品目の変更を行った。また、令和3年度に大量購入防止など事業の適正化のため、利用券の利用期限を四半期ごとに区切り不正利用の防止を図った。令和3年12月に事業者説明会を実施し、同事業の質の更なる向上を図った。</p> <p>【令和3年度実績】 決算見込額:139,453千円/支給決定者数:2,591人</p>	<p>引き続き、必要な方に適切にサービスを提供できるよう、検討を行っていく。</p>
10 公平・公正なあんしんすこやかセンターの運営の確保	<p>令和3年8～9月に各区運営協議会を书面開催。また、令和3年10月に第1回市運営協議会を书面開催、令和4年2月に第2回市運営協議会を開催。それぞれにおいて、センターが介護保険サービスの提供において特定の事業者を勧めていないかなど、公平・中立に運営していることを確認。</p>	<p>・引き続き、運営協議会において公平・中立なセンター運営について有識者との協議を行っていく。</p>
11 施設・事業所の監査指導	<p>介護保険事業者に対する実地指導・集団指導を実施。</p> <p>【実地指導・集団指導実績】※令和4年3月末時点 ・実地指導:115件(※新型コロナウイルス感染症の拡大により減少) ・監査:38件 ・集団指導:令和4年4月 YouTubeでの動画視聴方式で実施。視聴状況について、事業所に対してアンケートを実施。</p>	<p>引き続き、介護保険事業者に対する指導・監督を適切に行うとともに、外部活力を含めた効率的な業務執行体制を構築し、実地指導の実施率向上に努めていく。</p>

令和 3 年度における保険者機能強化推進交付金等について

1. 概要

当財政的インセンティブ制度（保険者機能強化推進交付金等）は、自治体による高齢者の自立支援・重度化防止に関する取り組みを支援するため、国が定める評価指標について、その達成状況に応じて市町村に配分するもの。

平成 30 年度から「保険者機能強化推進交付金」として全国で約 190 億円（別途、都道府県分として約 10 億円）を、令和 2 年度からは新たに「介護保険保険者努力支援交付金」として約 190 億円（別途、都道府県分として約 10 億円）を配分。

2. 評価指標

Ⅰ PDCA サイクルの活用による保険者機能の強化に向けた体制等の構築

Ⅱ 自立支援、重度化防止等に資する施策の推進

- (1) 介護支援専門員・介護サービス事業所等
 (2) 地域包括支援センター・地域ケア会議
 (3) 在宅医療・介護連携 (4) 認知症総合支援 (5) 介護予防／日常生活支援
 (6) 生活支援体制の整備 (7) 要介護状態の維持・改善の状況等

Ⅲ 介護保険運営の安定化に資する施策の推進

- (1) 介護給付の適正化等 (2) 介護人材の確保

3. 本市の結果

(1) 得点

保険者機能強化推進交付金 【得点率 政令市 1 位】

	Ⅰ	Ⅱ							Ⅲ		合計	得点率
		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(1)	(2)		
項目数	7	5	9	6	6	17	4	5	9	9	77	
得点 (満点)	150 (155)	65 (80)	140 (195)	85 (85)	155 (175)	393 (450)	72 (85)	50 (120)	70 (120)	121 (125)	1301 (1590)	81.8%

※平成 30 年度：542 点（満点 612 点） 得点率 88.5% 【政令市 7 位】

令和元年度：633 点（満点 692 点） 得点率 91.4% 【政令市 1 位】

令和 2 年度：1307 点（満点 1575 点） 得点率 82.9% 【政令市 1 位】

介護保険保険者努力支援交付金 【得点率 政令市 1 位】

	I	II							III		合計	得点率
		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(1)	(2)		
項目数	2	0	6	1	2	17	2	5	0	5	40	
点数 (満点)	60 (60)	0 (0)	60 (115)	10 (10)	45 (45)	393 (450)	35 (35)	50 (120)	0 (0)	50 (50)	703 (885)	79.4%

※令和 2 年度：703 点（満点 870 点） 得点率 80.8% 【政令市 1 位】

(2) 交付額

(保険者機能強化推進交付金)

263,048 千円 (全国約 190 億円)

※平成 30 年度：270,372 千円、令和元年度：294,089 千円、令和 2 年度：274,042 千円

(介護保険保険者努力支援交付金)

288,180 千円 (全国約 190 億円)

※令和 2 年度：304,801 千円

4. 未達成又は未実施の項目（0 点だった項目）

○ II - (1) - ③ (5 ページ)

地域支援事業における介護サービス相談員派遣等事業を実施しているか (15 点)

○ II - (2) - ⑤ (6 ページ) 【支援交付金評価項目も兼ねている】

個別事例の検討等を行う地域ケア会議の開催件数割合はどの程度か。

※全国比較 (30 点)

○ II - (2) - ⑥ (6 ページ) 【支援交付金評価項目も兼ねている】

個別事例の検討等を行う地域ケア会議における個別事例の検討件数割合はどの程度か。

※全国比較 (20 点)

○ II - (2) - ⑨ (6 ページ) 【支援交付金評価項目も兼ねている】

地域包括支援センターが、社会保険労務士や都道府県労働局、公共職業安定所、民間企業等と連携（相談会や研修会への協力等）するなど介護離職防止に向けた取組を実施しているか。(10 点)

○ II - (5) - ⑪ (9 ページ) 【支援交付金評価項目も兼ねている】

社会福祉法人・医療法人・NPO・民間サービス等と連携した介護予防の取組を実施しているか。

ウ 参加者の心身改善等の成果に応じて報酬を支払う成果連動型の委託を実施している (5 点)

○Ⅱ - (5) - ⑯ (9 ページ) 【支援交付金評価項目も兼ねている】

高齢者の社会参加を促すため個人へのインセンティブを付与しているか。

イ 高齢者のポイント事業参加率が当該地域の高齢者全体の〇割を超えているか

エ ポイント事業参加者の〇%以上が心身・認知機能等を維持改善している

※全国比較 (各 10 点)

○Ⅱ - (6) - ② (9 ページ)

生活支援コーディネーターに対して市町村としての支援を行っているか。

ウ 活動方針・内容について、生活支援コーディネーターと協議の上で策定し、共有している。(5 点)

○Ⅱ - (6) - ④ (9 ページ)

高齢者の住まいの確保・生活支援、移動に関する支援を実施しているか。

ウ 介護予防・生活支援サービス事業による移動支援を実施している。(8 点)

○Ⅲ - (1) - ③ (12 ページ)

医療情報との突合結果をどの程度点検しているか。 ※全国比較 (5 点)

○Ⅲ - (1) - ⑤ (12 ページ)

福祉用具の利用に関しリハビリテーション専門職が関与する仕組みを設けているか。

ア 地域ケア会議の構成員としてリハビリテーション専門職を任命し、会議の際に福祉用具貸与計画も合わせて点検を行う

イ 福祉用具専門相談員による福祉用具貸与計画の作成時に、リハビリテーション専門職が点検を行う仕組みがある

ウ 貸与開始後、用具が適切に利用されているか否かをリハビリテーション専門職が点検する仕組みがある

※3つ該当：15 点、2つ該当：12 点、1つ該当：10 点

○Ⅲ - (1) - ⑨ (13 ページ)

所管する介護サービス事業所について、指定の有効期間中に一回 (16.6%) 以上の割合で実地指導を実施しているか。(いずれか該当すれば得点)

ア 実地指導の実施率 (実施数 ÷ 対象事業所数) が 33.3% (3 年に 1 回) 以上

イ 実地指導の実施率 (実施数 ÷ 対象事業所数) が 16.6% (6 年に 1 回) 以上

※ア=10 点、イ=5 点

○Ⅲ - (2) - ⑨ (13 ページ)

「社会保障審議会介護保険部会「介護分野の文書に係る負担軽減に関する専門委員会」中間とりまとめを踏まえた対応について」(老発 0306 第 8 号) を踏まえ、文書負担軽減に係る取組を実施しているか。

イ 提出方法 (持参・郵送等) の見直しによる簡素化 (2 点)

カ 介護医療院への移行にかかる文書の簡素化 (1 点)

2021年度保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金(市町村分)
に係る評価指標の該当状況調査表

I PDCAサイクルの活用による保険者機能の強化に向けた体制等の構築

指 標		回答欄	配点	支援交付金 指標	
①	地域包括ケア「見える化」システムを活用して他の保険者と比較する等、当該地域の介護保険事業の特徴を把握しているか。	ア 地域包括ケア「見える化」システムを活用して、他の保険者と比較する等、当該地域の介護保険事業の特徴を把握している。その上で、HPによる周知等の住民や関係者と共通理解を持つ取組を行っている	○	20点	
	【ア～エのいずれかを選択】	イ 地域包括ケア「見える化」システムは活用していないが、代替手段(独自システム等)により当該地域の介護保険事業の特徴を把握している。その上で、HPによる周知等の住民や関係者と共通理解を持つ取組を行っている	×	0点	
		ウ 地域包括ケア「見える化」システムを活用して、他の保険者と比較する等、当該地域の介護保険事業の特徴を把握している	×	0点	
		エ 地域包括ケア「見える化」システムは活用していないが、代替手段(独自システム等)により当該地域の介護保険事業の特徴を把握している	×	0点	
②	認定者数、受給者数、サービスの種類別の給付実績を定期的にモニタリング(点検)し、計画値と実績値との乖離状況とその要因を考察しているか。	ア 定期的にモニタリング・考察を行うとともに、その結果を運営協議会等で公表している	×	0点	
	【ア～エのいずれかを選択】	イ 定期的にモニタリング・考察を行っている	○	5点	
③	【複数選択可】 8期計画作成に向けた各種調査を実施しているか。	ア 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査を実施している	○	5点	
		イ 在宅介護実態調査を実施している	○	5点	
		ウ ア、イ以外の介護保険法第117条第5項に規定する被保険者の心身の状況、置かれている環境その他の事情等を把握するための調査を実施している	○	5点	
④	自立支援、重度化防止等に資する施策についての目標及び目標を実現するための重点施策について、実績を把握して進捗管理の上、目標が未達成であった場合の具体的な改善策や目標の見直し等の取組を実施しているか。	○	40点	●	
⑤	当該地域の介護保険事業の特徴を他の地域と比較して分析の上、介護給付の適正化の方策を策定し、実施しているか。	ア 方策を策定していない。	×	0点	
	【ア又はイのいずれかを選択】	イ 方策を策定し実施している。	○	40点	
⑥	管内の住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅等について、都道府県から提供を受けた情報等を活用して市町村介護保険事業計画の策定等に必要分析を実施しているか。	○	10点		
⑦	市町村介護保険事業計画において、要介護者等に対するリハビリテーション提供体制に関する取組や目標を設定しているか。	ア 取組と目標を設定している。	○	10点	●
	【複数選択可】	イ 取組と目標を設定する際にリハビリテーション指標を活用した分析等を行っている。	○	10点	●

2021年度保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金(市町村分)
に係る評価指標の該当状況調査表

II 自立支援、重度化防止等に資する施策の推進

(1)介護支援専門員・介護サービス事業所等

指 標		回答欄	配点	支援交付金 指標
①	保険者の方針に沿った地域密着型サービスの整備を図るため、保険者独自の取組を行っているか。	ア 地域密着型サービスの指定基準を定める条例に保険者独自の内容を盛り込んでいる	○ 4点	
	【複数選択可】	イ 地域密着型サービスの公募指定を活用している	○ 4点	
		ウ 参入を検討する事業者への説明や働きかけを実施している(説明会の開催、個別の働きかけ等)	○ 4点	
		エ 市町村協働の活用等、必要な地域密着型サービスを確保するための上記以外の取組を行っている	○ 3点	
②	保険者として、ケアマネジメントに関する保険者の基本方針を、介護支援専門員に対して伝えているか。	ア 保険者のケアマネジメントに関する基本方針を事業者連絡会議、研修又は集団指導等において周知している	○ 20点	
		イ 保険者のケアマネジメントに関する基本方針をその他の方法で介護支援専門員に対して伝えている	× 0点	
③	地域支援事業における介護サービス相談員派遣等事業を実施しているか	×	0点	
④	管内の介護事業所に対し、事故報告に関する支援を行っているか。	ア サービス提供により事故が発生した場合に、速やかに事故報告を受けるための報告方法等を策定し、全介護事業所に周知しているか。	○ 5点	
		イ 定期的に管内の介護事業所に対し、事故報告に関する好事例の紹介や事故の分析等の周知等を行うなど事故報告に関するフィードバックを行っているか。	○ 15点	
⑤	危機管理部局及び関係機関と連携し、管内の介護事業所と定期的に災害に関する必要な訓練を行っているか。	○	10点	

(2)地域包括支援センター・地域ケア会議

指 標		回答欄	配点	支援交付金 指標
①	自立支援・重度化防止等に資するケアマネジメントに関する市町村の基本方針を定め、地域包括支援センターに周知しているか。	○	30点	
②	地域包括支援センターの体制充実(※)による適切な包括的支援事業を実施しているか。 ※ 地域包括支援センターの3職種(準ずる者を含む)一人当たり高齢者数(圏域内の第1号被保険者数/センター人員)の状況により評価 【ア又はイのいずれかを選択】 ※ 小規模の担当圏域における地域包括支援センターについては配置基準が異なるため以下の指標を満たした場合アを選択することとする。 担当圏域における第1号被保険者の数が概ね 2,000人以上3,000人未満:1,250人以下 第1号被保険者の数が概ね 1,000人以上2,000人未満:750人以下 第1号被保険者の数が概ね 1,000人未満:500人以下	ア 1,250人以下	○ 30点	●
		イ 1,500人以下	× 0点	
③	地域包括支援センターの体制充実(※)による適切な包括的支援事業・介護予防ケアマネジメントの実施をしているか。 ※ 地域包括支援センターの3職種(準ずる者を含む)の配置を満たしていることに加え、その他専門職や事務職の配置状況 【ア又はイのいずれかを選択】	ア 全ての地域包括支援センターに配置	○ 20点	●
		イ 半数以上の地域包括支援センターに配置	× 0点	●
④	個別事例の検討等を行う地域ケア会議の開催にあたり、会議の目的に照らして対象事例や参加者を選定し、対象事例の抱える課題や会議における論点を整理するなどの事前準備を行っているか。 【ア又はイ・ウのいずれかを選択】	ア 事例提供者との事前打ち合わせ	× 0点	●
		イ 事例の課題や会議で検討すべき論点の整理 ウ 課題解決に向けた議論に必要な参加者の選定や調整	○ 10点	●

2021年度保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金(市町村分)
に係る評価指標の該当状況調査表

II 自立支援、重度化防止等に資する施策の推進

(2)地域包括支援センター・地域ケア会議

指 標		回答欄	配点	支援交付金 指標
⑤	個別事例の検討等を行う地域ケア会議の開催件数割合はどの程度か。 (地域ケア個別会議の開催件数/受給者数)	(注)これらの指標については、厚生労働省において全保険者の上位1割・3割・5割・8割を決定する	0点	●
⑥	個別事例の検討等を行う地域ケア会議における個別事例の検討件数割合はどの程度か。 (個別事例の検討件数/受給者数)		0点	●
⑦	地域ケア会議において複数の個別事例から地域課題を明らかにし、これを解決するための政策を市町村へ提言しているか。 【複数選択可】	ア 地域ケア会議において複数の個別事例から地域課題を明らかにし、これを解決するための政策を市町村に提言している	○	25点
		イ 市町村が地域ケア会議から提言された内容に対応している	○	15点
⑧	地域包括支援センターが夜間・早朝又は平日以外の窓口(連絡先)を設置し、窓口を住民にパンフレットやホームページ等で周知しているか。 【複数選択可】	ア 夜間・早朝の窓口(連絡先)の設置・周知	○	5点
		イ 平日以外の窓口(連絡先)の設置・周知	○	5点
⑨	地域包括支援センターが、社会保険労務士や都道府県労働局、公共職業安定所、民間企業等と連携(相談会や研修会への協力等)するなど介護離職防止に向けた取組を実施しているか。	×	0点	●

(3)在宅医療・介護連携

①	地域の医療・介護関係者等が参画する会議において、市町村が所持するデータのほか、都道府県等や郡市区等医師会等関係団体から提供されるデータ等も活用し、在宅医療・介護連携に関する課題を検討し、対応策が具体化されているか。 【ア又はイのいずれかを選択】	ア 市町村が所持するデータに加え、都道府県等や郡市区等医師会等関係団体から提供されるデータ等も活用し、課題を検討し、対応策を具体化している	○	15点
		イ 市町村が所持するデータを活用して課題を検討し、対応策を具体化している	×	0点
②	住民のニーズや事業継続を含めた医療・介護関係者の課題を把握し、医療・介護関係者の協力を得ながら、切れ目なく在宅医療と在宅介護が一体的に提供される体制の構築に向けて、地域の実情に応じた目指すべき姿を設定し、必要に応じて、都道府県等からの支援を受けつつ、(3)①での検討内容を考慮して、必要となる具体的取組を企画・立案した上で、具体的に実行するとともに、実施状況の検証や取組の改善を行っているか(PDCAサイクルに沿った取組を想定)。 【ア〜ウのいずれかを選択】	ア 実施状況の検証を行ったうえで取組の改善を行っている	○	15点
		イ 実施状況の検証を行っている	×	0点
		ウ 地域の目指すべき姿を設定している	×	0点
③	医療・介護関係者間の情報共有ツールの整備又は普及について具体的な取組を行っているか。	○	15点	
④	地域の医療・介護関係者、地域包括支援センター等からの在宅医療・介護連携に関する相談に対応するための相談窓口を設置し、在宅医療・介護連携に関する相談内容を、郡市区等医師会等の医療関係団体との会議等に報告しているか。	○	15点	
⑤	医療・介護関係の多職種が合同で参加するグループワークや事例検討など参加型の研修会を、保険者として開催又は開催支援しているか。	○	10点	●
⑥	【複数選択可】 庁内や郡市区等医師会等関係団体、都道府県等と連携し、退院支援ルール等、広域的な医療介護連携に関する取組を企画・立案し、実行しているか。	ア 行政内の他部門(医療や健康づくり部門等)と一体的企画・立案し、実施している施策がある	○	5点
		イ 事業立案時から郡市区等医師会等関係団体と連携し、実施している施策がある	○	5点
		ウ 事業立案時から都道府県(保健所)と連携し実施している施策がある	○	5点

2021年度保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金(市町村分)
に係る評価指標の該当状況調査表

II 自立支援、重度化防止等に資する施策の推進

(4) 認知症総合支援

指 標		回答欄	配点	支援交付金	
①	市町村介護保険事業計画又は市町村が定めるその他の計画等において、認知症施策の取組(「介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施を確保するための基本的な指針」第二の三の1の(二)に掲げる取組)について、各年度における具体的な計画(事業内容、実施(配置)予定数、受講予定人数等)を定め、毎年度その進捗状況について評価しているか。 【ア～ウのいずれかを選択】	ア 計画に定めており、かつ、進捗状況の評価にあたり、認知症当事者(認知症の人やその家族)の意見を聞いている	○	30点	
		イ 計画に定めており、かつ、進捗状況の評価にあたり、第三者の意見を聞いている	×	0点	
		ウ 計画に定めており、かつ、進捗状況の評価を行っている(第三者の意見は聞いていない)	×	0点	
②	認知症の理解促進に関する住民への普及啓発活動を認知症当事者の声を踏まえながら実施しているか。	ア 認知症当事者が普及啓発活動の企画運営に参加している。	○	10点	
		イ 認知症当事者からの発信の機会を普及啓発活動に設けている。	○	10点	
③	認知症初期集中支援チームは、認知症地域支援推進員に支援事例について情報提供し、具体的な支援方法の検討を行う等、定期的に情報連携する体制を構築し、支援を必要とする者への対応を行えているか。	○	15点	●	
④	郡市区等医師会等の医療関係団体と調整し、認知症のおそれがある人に対して、かかりつけ医や認知症サポート医、認知症疾患医療センター等専門医療機関との連携により、早期診断・早期対応に繋げるための体制を構築しているか。 【複数選択可】	ア 認知症に対応できるかかりつけ医や認知症サポート医、認知症疾患医療センター等の認知症の医療に関する相談窓口の周知を行っている	○	10点	●
		イ もの忘れ相談会などの実施によりスクリーニングを行っている	○	10点	●
		ウ 認知症ケアパスを作成し、関係者間で連携ルールを策定し、活用している。	○	10点	●
⑤	地域における認知症高齢者支援に係る以下の取組を行っているか。 【イを選択した場合は、a又はbのいずれかを選択】 【ウを選択した場合は、a又はbのいずれかを選択】 【複数選択可】	ア 認知症カフェの設置、運営の推進	○	10点	
		イ 認知症の人の見守りネットワークなどの体制の構築	△	△	
		a 認知症地域支援推進員が事業の開始又は実施にかかわる企画・立案・調整を行っている	○	10点	
		b 認知症地域支援推進員が事業の開始又は実施にかかる企画・立案・調整を行っていない	×	0点	
		ウ 本人ミーティング、家族介護者教室の開催やピアサポーターによる活動の支援	△	△	
		a 認知症地域支援推進員が事業の開始又は実施にかかる企画・立案・調整を行っている	○	20点	
		b 認知症地域支援推進員が事業の開始又は実施にかかる企画・立案・調整を行っていない	×	0点	
⑥	認知症サポーターを活用した地域支援体制の構築が行えているか。 【ア又はイのいずれかを選択】 【アを選択した場合は、a又はbのいずれかを選択】	ア 認知症サポーター養成講座の受講者のうち希望者を具体的な活動に繋げる仕組みの構築	△	△	
		a 認知症地域支援推進員が事業の開始又は実施にかかる企画・立案・調整を行っている。	○	20点	
		b 認知症地域支援推進員が事業の開始又は実施にかかる企画・立案・調整を行っていない。	×	0点	
		イ ステップアップ講座を受講した認知症サポーター等が支援チームを作り、認知症の人やその家族の支援ニーズに合った具体的な支援につなげる仕組み(チームオレンジ等)の構築	×	0点	

2021年度保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金(市町村分)
に係る評価指標の該当状況調査表

II 自立支援、重度化防止等に資する施策の推進

(5)介護予防/日常生活支援

指 標		回答欄	配点	支援交付金	
①	関係機関との意見交換や都道府県等による継続的な支援等を踏まえ、介護予防・生活支援サービス事業における多様なサービス及びその他の生活支援サービスを推進するための課題を明らかにした上でそれに対応する方針を策定・公表するとともに、実現に向けた具体的な方策を設定・実施しているか。 【複数選択可】	ア 多様なサービス及びその他の生活支援サービスを推進するための課題を明らかにした上でそれに対応する方針を策定・公表している	○	20点	●
		イ 課題への対応方針の実現に向けた具体策を設定・実施している	○	10点	●
②	サービスC(短期集中予防サービス)を実施し、かつ、サービス終了後に通いの場へつなぐ取組を実施しているか。	○	30点	●	
③	通いの場への65歳以上の方の参加者数ほどの程度か (【通いの場への参加率＝通いの場の参加者実人数／高齢者人口】等)	ア 週一回以上の通いの場への参加率 【a～dのいずれかに該当すれば得点】			●
		a 全保険者の上位1割	×	0点	
		b 全保険者の上位3割	×	0点	
		c 全保険者の上位5割	○	10点	
		d 全保険者の上位8割	×	0点	
		イ 週一回以上の通いの場への参加率の変化 【a～dのいずれかに該当すれば得点】			●
		a 全保険者の上位1割	×	0点	
		b 全保険者の上位3割	×	0点	
		c 全保険者の上位5割	×	0点	
		d 全保険者の上位8割	○	5点	
		ウ 月一回以上の通いの場への参加率 【a～dのいずれかに該当すれば得点】			●
		a 全保険者の上位1割	×	0点	
		b 全保険者の上位3割	○	8点	
		c 全保険者の上位5割	×	0点	
d 全保険者の上位8割	×	0点			
エ 月一回以上の通いの場への参加率の変化 【a～dのいずれかに該当すれば得点】			●		
a 全保険者の上位1割	×	0点			
b 全保険者の上位3割	×	0点			
c 全保険者の上位5割	○	5点			
d 全保険者の上位8割	×	0点			
④	通いの場への参加促進のためのアウトリーチを実施しているか。	○	30点	●	
⑤	行政内の他部門と連携しているか。 【複数選択可】	ア 行政内の他部門と連携して介護予防を進める体制を構築している	○	5点	●
		イ 他部門が行う通いの場等の取組・参加状況を把握している	○	5点	●
⑥	介護予防と保健事業を一体的に実施しているか。 【複数選択可】	ア 通いの場における健康チェックや栄養指導・口腔ケア等を実施している	○	10点	●
		イ 通いの場での健康チェック等の結果を踏まえて医療機関等による早期介入(個別支援)につなげる仕組みを構築している	○	10点	●
⑦	現役世代の生活習慣病対策と連携した取組を実施しているか。	○	20点	●	
⑧	関係団体との連携による専門職の関与の仕組みが構築されているか。 【複数選択可】	ア 医師会等の関係団体と連携して介護予防を進める体制を構築している	○	20点	●
		イ 医療機関等が通いの場等への参加を促す仕組みを構築している	○	10点	●
⑨	医師会等の関係団体との連携により、介護予防の場にリハビリテーション専門職等が関与する仕組みを設け実行しているか。(地域リハビリテーション活動支援事業等)	○	20点	●	

これらの指標については、厚生労働省において全保険者の上位〇を決定するため、回答欄は市町村において入力不要。

2021年度保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金(市町村分)
に係る評価指標の該当状況調査表

II 自立支援、重度化防止等に資する施策の推進

(5) 介護予防/日常生活支援

指 標		回答欄	配点	支援交付金 指標
⑩	地域の多様な主体と連携しているか。 【複数選択可】	ア 地域の多様な主体と連携して介護予防を進める体制を構築している	○ 10 点	●
		イ 多様な主体が行う通いの場等の取組・参加状況を把握している	○ 10 点	●
⑪	社会福祉法人・医療法人・NPO・民間サービス等と連携した介護予防の取組を実施しているか。 【複数選択可】	ア 多様な主体の提供する予防プログラムを通いの場等で提供している	○ 10 点	●
		イ 参加前後の心身・認知機能等のデータを管理・分析している	○ 10 点	●
		ウ 参加者の心身改善等の成果に応じて報酬を支払う成果運動型の委託を実施している	× 0 点	●
	【〇%は分布を踏まえ、厚生労働省において設定】	エ 参加者の〇%以上が心身・認知機能等を改善している	5 点	●
⑫	介護予防におけるデータ活用により、介護予防の取組に係る課題の把握を行っているか。 【複数選択可】	ア 介護予防のケアプランや要介護認定の調査表等を確認して課題の把握を行っている	○ 8 点	●
		イ KDBや見える化システム等の利用を含め既存のデータベースやシステムを活用して課題の把握を行っている	○ 7 点	●
⑬	経年的な分析が可能となるよう、通いの場の参加者の健康状態等をデータベース化しているか。	○	20 点	●
⑭	通いの場の参加者の健康状態等の把握・分析により、通いの場の効果分析を実施しているか。	○	15 点	●
⑮	自立支援・重度化防止に取り組む介護サービス事業所に対する評価を実施しているか。	○	20 点	●
⑯	高齢者の社会参加を促すため個人へのインセンティブを付与しているか。 【複数選択可】	ア 参加ポイント事業を実施しているか	○ 10 点	●
		イ 高齢者のポイント事業参加率が当該地域の高齢者全体の〇割を超えているか	0 点	●
	〇割及び〇%は、分布を踏まえ、厚生労働省において設定 【〇%は分布を踏まえ、厚生労働省において設定】	ウ ポイント事業参加者の健康状態等のデータベース化を実施しているか	○ 10 点	●
		エ ポイント事業参加者の〇%以上が心身・認知機能等を維持改善している	0 点	●
⑰	2020年度予算において、介護予防・健康づくり関係の新規事業を導入している。	ア 被保険者一人当たり新規事業費が上位5割以上	40 点	●
		イ 新規事業を実施(ア以外)	0 点	●

これらの指標については、厚生労働省において全保険者の上位5割

(6) 生活支援体制の整備

指 標		回答欄	配点	支援交付金 指標
①	生活支援コーディネーターを専従で配置しているか。	厚生労働省において保険者を規模別に区分。上位〇割に得点(厚労省が設定)	20 点	●
②	生活支援コーディネーターに対して市町村としての支援を行っているか。 【複数選択可】	ア 生活支援コーディネーターからの相談を受け付けるとともに、活用可能な制度等の情報提供を行っている。	○ 5 点	
		イ 地域の関係者への説明(同行等の支援を含む)	○ 5 点	
		ウ 活動方針・内容について、生活支援コーディネーターと協議の上で策定し、共有している	× 0 点	
		エ 生活支援コーディネーターの活動の進捗を定期的に確認し、必要な支援策を講じている	○ 5 点	
③	生活支援コーディネーターが地域ケア会議へ参加しているか。 【ア又はイのいずれかを選択】	ア 全ての生活支援コーディネーターが1回以上参加している	○ 15 点	●
		イ 半数以上の生活支援コーディネーターが1回以上参加している	× 0 点	●
④	高齢者の住まいの確保・生活支援、移動に関する支援を実施しているか。 【複数選択可】	ア 生活に困難を抱えた高齢者等に対する住まいの確保と生活の一体的な支援を市町村として実施している	○ 10 点	
		イ 市町村において居住支援協議会を設置している。	○ 5 点	
		ウ 介護予防・生活支援サービス事業による移動支援を実施している。	× 0 点	
		エ 介護保険担当職員や生活支援コーディネーターが公共交通に関する協議の場に参加し、把握している高齢者の移動ニーズを共有している。	○ 7 点	

2021年度保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金(市町村分)
に係る評価指標の該当状況調査表

II 自立支援、重度化防止等に資する施策の推進

(7)要介護状態の維持・改善の状況等

指 標		回答欄	配点	又採交付金指標	
①	軽度【要介護1・2】 (要介護認定等基準時間の変化) 一定期間における、要介護認定者の要介護認定等基準時間の変化率の状況はどのようになっているか。 【アとイを比較しより上位となった方で得点】	ア 変化率の状況	—	—	●
		a 全保険者の上位1割	×	0点	
		b 全保険者の上位3割	×	0点	
		c 全保険者の上位5割	×	0点	
		d 全保険者の上位8割	×	0点	
		イ 変化率の差	—	—	●
		a 全保険者の上位1割	×	0点	
		b 全保険者の上位3割	×	0点	
		c 全保険者の上位5割	×	0点	
		d 全保険者の上位8割	○	5点	
②	軽度【要介護1・2】 (平均要介護度の変化) 一定期間における要介護認定者の平均要介護度の変化率の状況はどのようになっているか。 【アとイを比較しより上位となった方で得点】	ア 変化率の状況	—	—	●
		a 全保険者の上位1割	×	0点	
		b 全保険者の上位3割	×	0点	
		c 全保険者の上位5割	×	0点	
		d 全保険者の上位8割	○	5点	
		イ 変化率の差	—	—	●
		a 全保険者の上位1割	×	0点	
		b 全保険者の上位3割	×	0点	
		c 全保険者の上位5割	×	0点	
		d 全保険者の上位8割	×	0点	
③	中重度【要介護3～5】 (要介護認定等基準時間の変化) 一定期間における、要介護認定者の要介護認定等基準時間の変化率の状況はどのようになっているか。 【アとイを比較しより上位となった方で得点】	ア 変化率の状況	—	—	●
		a 全保険者の上位1割	×	0点	
		b 全保険者の上位3割	○	15点	
		c 全保険者の上位5割	×	0点	
		d 全保険者の上位8割	×	0点	
		イ 変化率の差	—	—	●
		a 全保険者の上位1割	×	0点	
		b 全保険者の上位3割	×	0点	
		c 全保険者の上位5割	×	0点	
		d 全保険者の上位8割	×	0点	

2021年度保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金(市町村分)
に係る評価指標の該当状況調査表

II 自立支援、重度化防止等に資する施策の推進

(7)要介護状態の維持・改善の状況等

指 標		回答欄	配点	支援交付金指標	
④	中重度【要介護3～5】 (平均要介護度の変化) 一定期間における要介護認定者の要介護度の変化率の状況はどのようになっているか。 【アとイを比較しより上位となった方で得点】	ア 変化率の状況	—	—	●
		a 全保険者の上位1割	×	0点	
		b 全保険者の上位3割	○	15点	
		c 全保険者の上位5割	×	0点	
		d 全保険者の上位8割	×	0点	
		イ 変化率の差	—	—	●
		a 全保険者の上位1割	×	0点	
		b 全保険者の上位3割	×	0点	
		c 全保険者の上位5割	×	0点	
		d 全保険者の上位8割	×	0点	
⑤	健康寿命延伸の実現状況 要介護2以上の認定率、認定率の変化の状況はどのようになっているか。 【アとイを比較しより上位となった方で得点】	ア 認定率	—	—	●
		a 全保険者の上位1割	×	0点	
		b 全保険者の上位3割	×	0点	
		c 全保険者の上位5割	×	0点	
		d 全保険者の上位8割	○	10点	
		イ 認定率の変化率	—	—	●
		a 全保険者の上位1割	×	0点	
		b 全保険者の上位3割	×	0点	
		c 全保険者の上位5割	×	0点	
		d 全保険者の上位8割	×	0点	

2021年度保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金(市町村分)
に係る評価指標の該当状況調査表

Ⅲ 介護保険運営の安定化に資する施策の推進
(1)介護給付の適正化等

指 標		回答欄	配点	支援交付金	
①	介護給付の適正化事業の主要5事業のうち、いくつ実施しているか。 【いずれか選択】	ア 5事業	○	20点	
		イ 4事業	×		
		ウ 3事業	×		
②	ケアプラン点検をどの程度実施しているか。	これらの指標については、厚生労働省において全国平均以上と平均未満を確定するため、市町村において回答欄への入力は不要。		15点	
③	医療情報との突合結果をどの程度点検しているか。 (全保険者の上位を評価)			0点	
④	縦覧点検10帳票のうち、いくつの帳票の点検を実施しているか。			ア 5帳票以上	×
		イ 4帳票	×		
		ウ 3帳票	○		
⑤	福祉用具の利用に関しリハビリテーション専門職が関与する仕組みを設けているか。	0	0点		
	【複数選択可】	ア 地域ケア会議の構成員としてリハビリテーション専門職を任命し、会議の際に福祉用具貸与計画も合わせて点検を行う	×		
	イ 福祉用具専門相談員による福祉用具貸与計画の作成時に、リハビリテーション専門職が点検を行う仕組みがある	×			
⑥	住宅改修の利用に際して、建築専門職、リハビリテーション専門職等が適切に関与する仕組みを設けているか。	1	10点		
		【複数選択可】	ア 被保険者から提出された住宅改修費支給申請書の市町村における審査の際に、建築専門職、リハビリテーション専門職等により点検を行う仕組みがある		×
		イ 住宅改修の実施前又は実施の際に、実際に改修を行う住宅をリハビリテーション専門職が訪問し、点検を行わせる仕組みがある	○		
⑦	有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅において、家賃や介護保険外のサービス提供費用等の確認や、介護相談員等の外部の目による情報提供等に基づき、不適切な介護保険サービスの提供の可能性がある場合は、利用者のケアプランの確認等を行い、必要な指導や都道府県への情報提供を行っているか。	○	10点		
⑧	介護ワンストップサービスの対象手続を「びったりサービス」上で検索できるように登録している、又は、各保険者の介護ワンストップサービスの対象手続を1以上、「びったりサービス」上でオンライン申請対応しているか。	○	10点		

2021年度保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金(市町村分)に係る評価指標の該当状況調査表

Ⅲ 介護保険運営の安定化に資する施策の推進

(1)介護給付の適正化等

指 標		回答欄	配点	支援交付金
⑨	所管する介護サービス事業所について、指定の有効期間中に一回(16.6%)以上の割合で実地指導を実施しているか。	×	0点	
	【ア又はイのいずれかを選択】	×	0点	

(2)介護人材の確保

指 標		回答欄	配点		
①	介護保険事業計画に、介護人材の確保・資質の向上、業務の効率化・質の向上に関する事項を位置付けているか。	○	20点		
②	介護人材の確保に向け、介護サービス事業者・教育関係者等と連携して行う取組等の実施	○	20点		
③	介護人材の定着に向けた取組の実施	○	20点		
④	介護に関する入門的研修を実施しているか。	○	10点	●	
⑤	ボランティアポイントの取組を実施しているか。	○	10点	●	
⑥	介護施設と就労希望者とのマッチングに取り組んでいるか。	○	10点	●	
⑦	介護助手等の元気高齢者の就労活動の促進に取り組んでいるか。	○	10点	●	
⑧	高齢者の就労活動への参加者の伸び率が○ポイント以上	こちらの指標については、第1号被保険者数の規模と全体の分布を踏まえ、厚生労働省において決定するため、市町村において入力は不			
⑨	「社会保障審議会介護保険部会「介護分野の文書に係る負担軽減に関する専門委員会」中間とりまとめを踏まえた対応について」(老発0306第8号)を踏まえ、文書負担軽減に係る取組を実施しているか。 【複数選択可】	ア 押印及び原本証明の見直しによる簡素化	○	1点	
		イ 提出方法(持参・郵送等)の見直しによる簡素化	×	0点	
		ウ 人員配置に関する添付資料の簡素化	○	1点	
		エ 施設・設備・備品等の写真の簡素化	○	1点	
		オ 介護職員処遇改善加算/特定処遇改善加算の申請様式の簡素化	○	1点	
		カ 介護医療院への移行にかかる文書の簡素化	×	0点	
		キ 実地指導に際し提出する文書の簡素化及びICT等の活用	○	3点	
		ク 指定申請関連文書の標準化	○	1点	
		ケ 実地指導の「標準化・効率化指針」を踏まえた標準化	○	2点	
		コ 申請様式のホームページにおけるダウンロード	○	1点	

令和4年度第1回総合事業サービスワーキンググループにおける主なご意見
(令和4年7月22日開催)

1. 通所サービスの利用者負担の見直しについて

内容：通所サービスの利用者負担の見直しについて、総合事業の事業費の推移や他都市の実施状況をふまえ、見直し案を提示した。

(サービス提供回数での見直し)

- ・通所サービスの事業所は、月額包括報酬のなかで収支を合わせる経営をしてきたため、1回あたり単価になれば経営が成り立たなくなる。その点で何を削減するかとなると人員の配置基準の緩和・事務（書類）の緩和をしていかなないと事業所の総合事業への取り組みは消極的になる。それは本当に神戸市にとってよいことなのか。コロナ禍で総合事業の対象者は大きな影響をうけている。神戸市は要支援者が多い、介護人材が少ないなど、そういった神戸市の現状に合わせた計画を立てるべき。
- ・1回あたり単価で平等性は担保できるのかもしれないが、元々、介護予防の観点から見て、その回数必要だろうということで回数が決まっている。1回当たりにすると節約をしたいから行かないという人が発生することにもつながるのではないか。
- ・1回あたり単価を設けることで利用者負担が下がることは明らかだが、運営者側でみると、人員の配置基準の緩和等をしてどのくらいのコストカットになるのかシミュレーションして示すべき。
- ・ある回数を超えたら包括報酬を導入している市もあり、回数プラス包括報酬といった考え方もあり得るのではないか。

(時間・サービス提供内容での見直し)

- ・工夫して短時間でも効果的なデイを行っている事業所もある。元々、介護予防はレスパイト目的ではないので、3時間サービスを提供している事業所と7時間サービスを提供している事業所を比較することや、入浴提供しているかどうかで評価される報酬は違和感がある。事業所が、経営的な事情から報酬維持のためにサービスの提供時間を長くしたり、入浴を提供するようになってしまうのは本末転倒になってしまう。
- ・時間・サービス提供内容での見直しは、通所サービスの趣旨には合わない。

(その他・通所サービスC型)

- ・通所サービスのC型も神戸市では委託で実施しているが、従来の通所とC型を使う人の振り分けがきちんとできているのか。分けることで不効率になっていないか。事業所が区に1箇所程度で、通える人だけ通うというような制度は、むしろ一人当たりの単価は高くなっているのではないか。
 - ・専門職も配置されているのに、少ししか利用者が行けないのは、勿体ない。もっといいサービスになるよう、通所サービスのC型も見直しも検討すべき。
- (事務局) 神戸市の現状や、利用者の介護予防に必要なサービス量の担保といった観点からも、事業所側の事務負担軽減や、基準の緩和について、所管課等と調整の上、より具体的な見直し案等をお示ししていきたい。